

第二號書式ノ一

月 日	求職番號	求人番號	求人者名	船種船名	職名	給料	備考	月 日	求職番號	就職者名	備考	月 日	自	年	年	月	月	日	備考

備考 1. 紙質強靱ナルモノ
2. 縦 26 種 横 38 種

第二號書式ノ二 (表)

求職番號	第 號	求 職 票
氏 名	年 月 日生	
現 住 所		
本 籍		
免狀又ハ 證書ノ種類	前雇主氏名 (名 稱)	
船員手帖 番 號	第 號	前 職
教育程度	前 給 料	給 料 手 當
經驗技能	年 月 日	最後下船又ハ離職 年月日及原因
扶養家族數	配 偶 者 其 ノ 他 人	他ノ紹介所ニ申込 タルトキハ其ノ 紹介所名
希望 條件	職 務 給 料	船舶ノ用途 航 路 其 ノ 他
申込年月日	年 月 日	紹介所名 及取扱者印
就 職 願 末		
求人者名	求人番號	第 號
船種船名 航 路	船 丸	總噸數 船舶用途 噸
職 務	雇入期間	
給料及手當	給 料 手 當	食 料 金給品給
就職年月日	年 月 日	乘 船 地
備 考		

備考 1. 紙質強靱ナルモノ
2. 縦 22 種 横 15 種

船員職業紹介法施行規則

(裏)

求職申込年月日	年 月 日		
更新ノ意思ヲ 更 確 メタル年月日	右回答アリタル日 年 月 日	更新ノ意思ヲ 更 確 メタル年月日	右回答アリタル日 年 月 日
年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
<p>記</p> <p>事</p>			

求職票記載心得

- 一、求職者女子ナルトキハ氏名欄ニ其ノ旨ヲ記入スヘシ
- 二、免狀又ハ證書ノ種類欄ニハ求職者ノ受有スル海技免狀ノ種類、水夫適任證書又ハ救命艇手適任證書等ノ別ヲ記入スヘシ
- 三、前雇主氏名(名稱)欄及前職欄ニハ其ノ海上勤務タルト否トニ拘ラス求職直前ノ雇主及職業又ハ職務ニ付記入スヘシ
求職直前船員タリシ者ニ付テハ例ヘハ淺間丸水夫ノ如ク前職欄ニ乗船名ヲ併記スルヲ妨ケス
- 四、船員手帖番號欄ニハ例ヘハ東京第一號ノ如ク手帖交付廳ノ所在地名ヲ冠附スヘシ
- 五、教育程度欄ニハ小學校卒、同中途退學、高等小學校卒、同中途退學、中等學校卒、同中途退學、專門學校以上卒、同中途退學等ノ例ニ依リ記入スヘシ
- 六、經驗技能欄ニハ海上實歷何年、水夫何年等、其ノ他ノ特殊經驗技能者ニ付テハ機關工場油差何年等ト記入スヘシ
最後ノ下船又ハ離職年月日及原因欄ニハ海上勤務タルト否トニ拘ラス最後ノ職ヲ離レタル年月日及其ノ原因ヲ記入スヘシ但シ前職船員ニシテ下船後一定ノ職業又ハ職務ヲ有セシ者ニ付テハ下船及離職年月日ヲ併記スルハ妨ケナキモ此ノ場合ハ前職欄モ同様併記スルコト
- 八、船舶ノ用途欄ニハ旅客船、貨客船、貨物船、漁船等ノ區別ニ依リ記入スヘシ
- 九、航路欄ニハ實際航路、航行區域又ハ從業制限ヲ記入スヘシ
- 十、帆船乗組ヲ希望スル者ニ付テハ希望條件中其ノ他ノ欄ニ記入スヘシ
- 十一、食料欄ニハ金額ノ外金額ノ別ヲ記入スヘシ
- 十二、就職年月日欄ニハ紹介所ニ於テ紹介成立シタル年月日ヲ記入スヘシ
- 十三、備考欄ニハ紹介手数料幾何、金品ノ授受ヲ爲シタルトキ例ヘハ紹介所ニ於テ金錢ノ立替ヲ爲シタルトキハ其ノ金額、使途及年月日、償還シタルトキハ其ノ金額及年月日ヲ記入シ授受關係ヲ明カナラシムルコト、其ノ他紹介申込ノ取消、失効アリタルトキハ其ノ旨及年月日ヲ朱書スル等必要事項ヲ適宜記入スヘシ
- 十四、各欄中該當事項ナキトキハ斜線ヲ施シ不明ナルトキハ不明ト記入スヘシ

船員職業紹介法施行規則

船員職業紹介業務規則

(昭和十五年十月 遞信省令第五十二號)

- 第一條 船員職業紹介法第三條第一項ノ規定ニ依リ政府ノ行フ船員職業紹介ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條 求人ノ申込ハ求人者ノ事務所所在地又ハ船舶入港地ノ最寄船員職業紹介所ニ之ヲ爲スヘシ
- 第三條 求人ノ申込ハ本人又ハ其ノ代理人出頭シ左ノ事項ヲ具シ之ヲ爲スヘシ但シ出頭シ難キ場合又ハ急ヲ要スル場合ニハ書面又ハ電話ヲ以テ申込ムコトヲ得
 - 一 求人者ノ氏名又ハ名稱及事務所所在地
 - 二 雇傭セントスル船員ノ乗組船舶(船舶ノ種類、名稱、總噸數、用途、航行區域等)又ハ勤務地
 - 三 雇傭セントスル船員ノ職務、員數、資格、年齡、技能經驗ノ要否及學歷
 - 四 給料手當其ノ他ノ待遇
 - 五 雇傭期間
 - 六 採用地

- 七 採用方法(銓衡方法、銓衡旅費支給ノ有無等)
- 八 紹介期限
- 九 其ノ他求人ニ付參考ト爲ルヘキ事項
- 第四條 求職ノ申込ハ本人自ラ出頭シ左ノ事項ヲ具シ船員職業紹介所ニ之ヲ爲スヘシ但シ已ムコトヲ得サル事由ニ因リ出頭シ難キ場合ニハ書面ヲ以テ申込ムコトヲ得
 - 一 求職者ノ氏名及年齡
 - 二 求職者ノ現住所及本籍地
 - 三 學歷、經歷及技能經驗
 - 四 就職先、職務、給料手當其ノ他希望事項
 - 五 其ノ他求職ニ付參考ト爲ルヘキ事項
- 前項ノ場合ニ於テ船員手帳ヲ受有スル者ハ之ヲ提出スヘシ
- 二以上ノ船員職業紹介所ニ求職ノ申込ヲ爲ス場合ニハ申込ニ際シ其ノ旨ヲ申出ツヘシ
- 第五條 求職ノ申込ハ之ヲ受理シタル日ヨリ翌翌月末日迄ノ間之ヲ有効トス
- 第六條 求職ノ申込ヲ爲シタル者ハ前條ノ有効期間滿了前ニ期間ノ更新ヲ爲スコトヲ得
- 第七條 船員職業紹介所ハ求人者又ハ求職者ニ對シ出頭ヲ

- 求メ又ハ必要ナル書類ヲ提出セシムルコトアルヘシ
- 第八條 求人者又ハ求職者紹介ヲ受ケル必要ナキニ至リタルトキ又ハ求人者ハ求職ノ申込ノ内容ヲ變更セントスルトキハ直ニ取消ノ旨又ハ變更ノ内容ヲ船員職業紹介所ニ届出ツヘシ
- 第九條 船員職業紹介所紹介ヲ爲サントスルトキハ求職者ニ紹介狀ヲ交付ス
 - 求職者紹介狀ノ交付ヲ受ケタルトキハ紹介セラレタル求人者ニ之ヲ提示スヘシ
- 第十條 求人者求職者ノ採否決定ヲ爲シタルトキハ直ニ其ノ願末ヲ船員職業紹介所ニ報告スヘシ
- 第十一條 船員職業紹介所必要アリト認ムルトキハ求人者又ハ求職者ニ對シ求人申込ノ員數、紹介期限、希望就職先其ノ他ノ事項ニ付變更ヲ求ムルコトアルヘシ
- 第十二條 求人者又ハ求職者ノ申込ハ其ノ内容法令ニ違反スルトキ若ハ著シク不適當ト認メラルルトキ又ハ前條ノ變更ノ要求ニ應セサルトキハ之ヲ受理セサルモノトス
 - 求人者又ハ求職者ノ申込ヲ受理シタル後ト雖モ前項ノ場合ニ該當スルニ至リタルトキハ之ヲ受理ヲ取消スコトアルヘシ

船員職業紹介業務規則・船員職業紹介法取扱心得

- 第十三條 求人者又ハ求職者本令ノ規定ニ違反シ又ハ正當ノ事由ナクシテ船員職業紹介所ノ指示ニ従ハサルトキハ其ノ紹介ヲ拒ムコトアルヘシ
- 第十四條 船員職業紹介所ハ紹介ヲ受ケタル求人者ニ對シ紹介シタル船員ニ關シ必要ナル報告ヲ求ムルコトアルヘシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

船員職業紹介法取扱心得

(大正十一年十一月 公達第千二百八十一號)

改正 昭和十五年十月 公達第千四十六號

- 第一條 遞信局ハ船員需要供給ノ狀況其ノ他參考トナルヘキ事項ヲ調査シ臨時遞信省ニ報告スヘシ
- 第二條 遞信局ハ求人及求職ノ調節其ノ他事業ノ聯絡統一ニ關シ隔機必要ナル措置ヲ講スヘシ此ノ場合ニ於テハ遲滯ナク遞信省ニ報告スヘシ
- 第三條 求人者又ハ求職者ノ特別依頼ニ依リ支出シタル費

用ニシテ償還ヲ求ムヘキモノハ船員職業紹介ニ關スル諸規程中ニ之ヲ記載セシムヘシ
前項ノ費用ハ通常紹介ノ爲ニ要スル費用又ハ手数料其ノ他報酬ト認ムヘカラサルモノニ限ルモノトス

第四條 削除

第五條 遞信局船員職業紹介法施行規則(以下單ニ規則ト稱ス)第四條ノ許可申請書ヲ受理シタルトキハ許可申請者(法人共ノ他ノ團體ナル場合ニ在リテハ理事其ノ他ノ代表者)ニ付左ノ事項ヲ取調ヘ許否ノ意見ヲ附シ遞信省ニ進達スヘシ
一 規則第五條第一項各號ノ一ニ該當スル者ニ非サルヤ

否

二 素行、資産状態、信用ノ程度其ノ他參考トナルヘキ事項

民法第三十四條ノ規定ニ依リ遞信大臣ノ許可ヲ得テ設立シタル法人ニ在リテハ規則第四條第二項ノ規定ニ依ル書面ノ添附ヲ免除シ且前項ノ取調ヲ爲スコトヲ要セス

第六條 事業所ノ設備ハ左ノ各號ニ依ラシムヘシ

一 事業所ハ成ルヘク專用ノ場屋ニ之ヲ設ケシメ若他ノ場屋ノ一部ヲ以テ之ニ充ツルトキハ區劃ヲ施サシムル

其ノ滅失アリタルコトヲ知リタルトキハ遞信局ハ遲滞ナク左ノ各號ノ事項ヲ遞信省ニ報告スヘシ

一 當該證票ノ番號、事業所名及交付年月日
二 滅失ノ年月日及場所
三 滅失ノ事由

紹介從業者證票ヲ返還スヘキ場合ニ於テ之ヲ返還セサルトキハ遞信局ハ遲滞ナク前項第一號ノ事項ヲ遞信省ニ報告スヘシ

第九條 遞信局長從業者ノ解任ヲ命ジタルトキハ事實ヲ具シ遞信省ニ報告スヘシ

第十條 遞信局規則第十條第一項ノ認可申請書ヲ受理シタルトキハ意見ヲ附シ遞信省ニ進達スヘシ

第十一條 規則第十條第二項第二號及第四號並規則第十一條ノ届出(從業者死亡シタル場合ヲ除ク)ニハ其ノ事由ヲ記載セシムヘシ

第十二條 規則第十二條ノ規定ハ朝鮮、臺灣又ハ關東州ニ船籍港ヲ有スル船舶ニハ之ヲ適用セサルモノトス

規則第十二條第二項ノ就職許可書ハ外國船舶ニ就職スルコトヲ許可シタル旨ヲ明ニシ得ルモノナルコトヲ要ス
遞信局規則第十二條ノ書面ヲ受理シタル場合ニ於テ必要

船員職業紹介法取扱心得

コト

二 事業所ニハ必要アリト認ムルトキハ待合室ヲ設ケシムルコト

三 事業所ニハ見易キ場所ニ看板ヲ掲ケ之ニ無料ナル旨ヲ明記セシムルコト

四 船員職業紹介ニ關スル法令、諸規程類ヲ見易キ場所ニ掲ケ又ハ備付シムルコト

第七條 遞信局規則第五條第二項又ハ第六條ノ規定ニ依リ許可ヲ取消シ又ハ事業ノ經營ヲ停止スヘキ必要アリト認メタルトキハ遲滞ナク事實ヲ具シ遞信省ニ進達スヘシ

第八條 遞信局長事業所ノ増設又ハ所在地若ハ設備ノ變更ヲ認可シ又ハ設備ノ改善ヲ命ジタルトキハ其ノ事項ヲ遞信省ニ報告スヘシ

第八條ノ二 規則第八條ノ三ニ依リ紹介從業者證票ノ交付ノ申請アリタルトキハ遞信局ハ當該事業所ノ紹介事務ノ實情ヲ考慮シ必要ト認ムル枚數ノ證票ヲ交付スヘシ

第八條ノ三 規則第八條ノ四第一項ニ依リ紹介從業者證票ノ再交付ヲ爲ス場合ニハ新證票ノ番號ハ原證票ノ番號ニ依リ何號ノ二何號ノ三等ト爲スヘシ

第八條ノ四 紹介從業者證票滅失ノ届出アリタルトキ又ハ

アリト認ムルトキハ就職者ヲ呼出シ契約ノ内容ヲ讀聞カセタル上異議ナキヤ否ヲ確ムヘシ

第十三條 規則第十五條ニ依リ許可ヲ受ケムトスル場合ニハ左ノ事項及其ノ事由ヲ記載シタル許可申請書ヲ提出セシムヘシ

一 授受又ハ貸借セムトスル金額、物品、其ノ見積價額、返済方法、利子又ハ使用料

二 買入又ハ賣却セムトスル物品及其ノ價格

三 擔保物品又ハ質入物品、其ノ見積價格、受戻方法
遞信局前項ノ許可申請書ヲ受理シタルトキハ事情ヲ調査シ許可ヲ受クヘキ事項カ當事者ノ自由意志ニ由テ且又一方ノ損失ニ於テ不正又ハ不當ノ利益ヲ受クルコトナキヤ否ヲ調査シタル上許可ヲ決定スヘシ

遞信局公益法人其ノ他適當ト認ムル者ニ對シ特定ノ事項ヲ限リ豫メ包括的許可ヲ與ヘムトスル場合ニハ意見ヲ具シ遞信大臣ニ經伺スヘシ

第十四條 規則第十六條ニ依リ許可ヲ受ケムトスル場合ニハ業務ノ種類、營業所所在地等ヲ記載シタル許可申請書ヲ提出セシムヘシ
遞信局長前項ノ許可申請書ヲ受理シタルトキハ弊害ナキ

二、漁船ニ在リテハ從業制限第一種ニ屬スルモノハ沿海、第二種乙及第三種乙ニ屬スルモノハ近海、又第二種甲及第三種甲ニ屬スルモノハ遠洋ノ欄ニ包括シテ之ヲ記入スヘシ

- 二 求人未済者統計表
 - 三 就職未済者統計表
- 備考 二及三ノ書式ハ船員職業紹介法施行規則第二十三條第三號書式ノ一及二ニ同シ

船員職業紹介業務取扱規程

(昭和十五年十月)
逓信省公達第四十八號

改正 昭和十五年十月
逓信省公達第九十號

第一章 總 則

第一條 船員職業紹介所ニ於ケル職業紹介事務ノ取扱手續ハ本規程ノ定ムル所ニ依ルヘシ
逓信局長ハ事務ノ狀況ニ依リ本規程ニ依ルヲ不便ト認ムルトキハ逓信大臣ノ承認ヲ經テ別段ノ取扱方ヲ定ムルコトヲ得

船員職業紹介所ハ逓信局長ニ於テ別段ノ取扱方ヲ定メタルトキハ其ノ定ムル所ニ依ルヘシ

第二條 船員職業紹介所ハ其ノ執務時間外、休日又ハ休暇日ト雖モ當該所長ニ於テ特別ノ事情アリト認ムルトキハ事務ヲ取扱フヘシ

第三條 船員職業紹介所ノ業務ニ從事スル者ハ懇切ヲ旨トシ公正且迅速ナル取扱ヲ爲シ職務上知得セル他人ノ身分又ハ秘密ヲ故ナク他ニ漏洩スヘカラス

第四條 船員職業紹介所ニハ業務日誌ヲ備ヘ所員ノ服務狀況、職務上ノ重大ナル事項其ノ他必要ト認メラルル事項ヲ記載スヘシ

第五條 船員職業紹介所ニ第一號様式ノ求人者原票ヲ備ヘ常時之ヲ現狀ニ即應セシムヘシ

第六條 船員職業紹介所中別表ニ定ムルモノヲ聯絡船員職業紹介所トス

第二章 求人申込ノ處理

第七條 求人ノ申込ヲ受理シタルトキハ直ニ第二號様式ノ求人票ニ登錄スヘシ

第八條 求人者ハ雇傭主又ハ其ノ人事擔當責任者ニ限ルヘシ但シ船舶ヨリノ求人申込ニ在リテハ船長ナルモ妨ケス

第九條 求人者ノ代理人カ求人ノ申込ヲ爲ス場合ニ於テハ求人者トノ關係ヲ充分確ムヘシ

第十條 求人ノ申込ヲ受理シタル場合ニ於テ處理困難ナルトキハ直ニ聯絡船員職業紹介所ニ通報シ指揮ヲ受クヘシ
求人ノ通報ニ際シテハ成ルヘク求人者ニ面接シタル上申込内容ヲ明ラカニシ特ニ必要ト認ムルトキハ採用條件、銓衡方法、採用者ノ赴任方法、求職者アリタル場合ノ措置其ノ他紹介ニ付必要ナル事項ヲ明ラカニシタル求人要綱ヲ作成スヘシ

第一項ノ通報ハ第三號様式ノ通報票ニ依リ必要ナル文書其ノ他ノ書類ヲ之ニ添附スヘシ但シ急ヲ要スルトキハ電信電話ノ方法ニ依ルヲ妨ケス

第十一條 前條ノ通報ヲ爲シタル船員職業紹介所ハ當該求人ニ付テハ求人票ニ登錄スヘカラス

第十二條 聯絡船員職業紹介所第十條ノ通報ヲ受ケタルトキハ管内各船員職業紹介所ニ於ケル職業紹介狀況ニ照シ管内船員職業紹介所ニ通報ヲ受ケタル求人員數ヲ割當聯絡スヘシ

前項ノ割當聯絡ハ第四號様式ノ割當聯絡票ニ依ルヘシ
聯絡船員職業紹介所ハ通報シタル船員職業紹介所ニ其ノ

船員職業紹介業務取扱規程

旨通知スヘシ

第十三條 聯絡船員職業紹介所前項ノ割當聯絡困難ナルトキハ他ノ適當ナル船員職業紹介所ニ聯絡スヘシ

第十四條 聯絡船員職業紹介所前條ノ聯絡ヲ受ケタルトキハ第十二條ニ準シ其ノ管内船員職業紹介所ニ割當聯絡スヘシ

第十五條 聯絡船員職業紹介所第十三條ノ聯絡困難ナルトキハ所轄逓信局ニ報告シ指揮ヲ受クヘシ

第十六條 船員職業紹介所聯絡船員職業紹介所ヨリ割當聯絡ヲ受ケタルトキハ求人票ニ登錄スヘシ

第十七條 船員職業紹介所ハ聯絡船員職業紹介所ニ通報セル求人ニ付求人者ヨリ求人申込ノ變更其ノ他ノ届出アリタルトキハ電信電話其ノ他適當ナル方法ニ依リ速ニ之ヲ聯絡船員職業紹介所ニ通知スヘシ

文書ニ依ル場合ニハ第六號様式ニ依ルヘシ

聯絡船員職業紹介所ハ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ割當聯絡シタル船員職業紹介所又ハ聯絡シタル聯絡船員職業紹介所ニ前項ニ準シ通知スヘシ

第三章 求職申込ノ處理

第十八條 求職ノ申込ヲ受理シタルトキハ第七號様式ノ求職票ニ登録スヘシ

第十九條 求職者ヨリ船員手帳ノ提出ヲ受ケタルトキハ本人ノ所有ニ相違ナキハ本人ノ所有ニ相違ナキコトヲ確メタル上紹介成立ニ至ル迄之ヲ保管スヘシ

前項ノ船員手帳ヲ保管スルトキハ第八號様式ノ船員手帳保管證ヲ交付スヘシ

第二十條 求職者ヨリ他ノ船員職業紹介所ニ求職ヲ申込みタル旨ノ申出アリタルトキハ其ノ旨求職票ニ記載スヘシ

前項ノ場合ニ於テ求職者ヨリ求職申込ノ變更其ノ他ノ届出アリタルトキハ速ニ第九號様式ニ依リ他ノ船員職業紹介所ニ通知スヘシ

第四章 不良求人又ハ不良求職

第二十一條 求人又ハ求職ニシテ其ノ申込ノ内容船員職業紹介法、船員法、船舶職員法其ノ他ノ法令ニ違反スル場合ニハ之ヲ受理スヘカラス

第二十二條 求人又ハ求職ノ申込ニシテ其ノ内容著シク不適當ト認めラルルトキ、事實ヲ虚構シ又ハ不實ノ申込ヲ爲スト認めラルルトキ、雇傭條件ヲ履行セサル虞アリト認めラルルトキ其ノ他申込カ著シク適當ナラズト認めラ

ルトキハ之ヲ受理スヘカラス

第二十三條 求職者ノ提出セル船員手帳ニ不正ノ事實アルトキハ求職申込ノ受理ヲ拒絶シタル上告發スル等必要ナル措置ヲ爲スヘシ

第二十四條 不良求人者又ハ不良求職者ハ船員職業紹介所相互ニ第十號様式ニ依リ之ヲ通報スヘシ

第五章 求人又ハ求職ノ開拓

第二十五條 船員職業紹介所ノ業務ニ従事スル者ハ必要ニ應ジ求人開拓又ハ求職開拓ヲ行フヘシ

第六章 紹介

第二十六條 紹介ヲ爲サントスルトキハ第十一號様式ノ紹介狀ヲ求職者ニ交付スヘシ

第二十七條 求人者ヨリ紹介シタル求職者ノ採否其ノ他ノ事項ノ申出ヲ受ケタルトキハ求職票頭末欄ニ記載スヘシ

第二十八條 第二十条第一項ノ求職者ニ付紹介成立シタルトキハ同條第二項ヲ準用ス

第七章 報告

第二十九條 船員職業紹介所ハ第十二號様式ニ依リ求人、求職及紹介成立狀況ヲ日日聯絡船員職業紹介所ニ報告スヘシ

第三十條 聯絡船員職業紹介所ハ遲滞ナク前條ノ報告ヲ集計シ第十二號様式ニ依リ他ノ聯絡船員職業紹介所及所轄遞信局ニ報告スヘシ

第三十一條 遞信局ハ前條ノ報告ヲ集計シ毎旬ノ事業報告ヲ第十三號様式ニ依リ遲滞ナク管船局ニ報告スヘシ

第八章 書類及帳簿

第三十二條 船員職業紹介所ニハ左ノ帳簿ヲ備ヘ之ニ必要ナル事項ヲ記載スヘシ

一 文書受付簿及文書發行簿

二 通報記録簿

三 船員手帳保管證發行簿

四 不良求人求職者名簿

第三十三條 保存スヘキ書類及帳簿ノ種類及保存期間左ノ如シ但シ遞信局長ニ於テ遞信大臣ノ承認ヲ受ケ保存期間ヲ延伸シ又ハ短縮シタルトキハ其ノ定ムル所ニ依ルヘシ

書類

名 稱

保存期間

求人票 五年

通報票 二年

路當聯絡票 二年

船員職業紹介業務取扱規程

ルルトキハ之ヲ受理スヘカラス

第二十三條 求職者ノ提出セル船員手帳ニ不正ノ事實アルトキハ求職申込ノ受理ヲ拒絶シタル上告發スル等必要ナル措置ヲ爲スヘシ

第二十四條 不良求人者又ハ不良求職者ハ船員職業紹介所相互ニ第十號様式ニ依リ之ヲ通報スヘシ

第五章 求人又ハ求職ノ開拓

第二十五條 船員職業紹介所ノ業務ニ従事スル者ハ必要ニ應ジ求人開拓又ハ求職開拓ヲ行フヘシ

第六章 紹介

第二十六條 紹介ヲ爲サントスルトキハ第十一號様式ノ紹介狀ヲ求職者ニ交付スヘシ

第二十七條 求人者ヨリ紹介シタル求職者ノ採否其ノ他ノ事項ノ申出ヲ受ケタルトキハ求職票頭末欄ニ記載スヘシ

第二十八條 第二十条第一項ノ求職者ニ付紹介成立シタルトキハ同條第二項ヲ準用ス

第七章 報告

第二十九條 船員職業紹介所ハ第十二號様式ニ依リ求人、求職及紹介成立狀況ヲ日日聯絡船員職業紹介所ニ報告スヘシ

第三十條 聯絡船員職業紹介所ハ遲滞ナク前條ノ報告ヲ集計シ第十二號様式ニ依リ他ノ聯絡船員職業紹介所及所轄遞信局ニ報告スヘシ

第三十一條 遞信局ハ前條ノ報告ヲ集計シ毎旬ノ事業報告ヲ第十三號様式ニ依リ遲滞ナク管船局ニ報告スヘシ

第八章 書類及帳簿

第三十二條 船員職業紹介所ニハ左ノ帳簿ヲ備ヘ之ニ必要ナル事項ヲ記載スヘシ

一 文書受付簿及文書發行簿

二 通報記録簿

三 船員手帳保管證發行簿

四 不良求人求職者名簿

第三十三條 保存期間ノ異ナル書類及帳簿ニシテ合綴シ又ハ一ノ書類ヲ他ノ書類若ハ帳簿ニ添付整理シタルモノノ保存期間ハ其ノ内ノ最長ノモノニ依ルヘシ

附 則

本規程ハ本日ヨリ之ヲ施行ス

一九三

備考	福利慰安施設	宿泊施設
----	--------	------

記載心得

- 一、人事取扱主任者欄ニハ海務課長、勞務課長、人事課長、海務監督其ノ他人事ヲ取扱フ責任者ヲ記入スルコト
- 二、事業ノ種類欄ニハ營業種目、營業航路等ヲ記入スルコト
- 三、事業ノ規模欄ニハ資本金額、保有船腹數量等ヲ記載スルコト
- 四、常時雇傭船員ノ概數欄ニハ雇傭船員ノ高敎、普通別並ニ甲板、機關、事務部別ヲ記入スルコト
- 五、豫備員制度欄ニハ其ノ有無並ニ豫備員ノ種類、待遇等ヲ記入スルコト
- 六、公暇制度欄ニハ其ノ有無並ニ一年間ニ於ケル休暇日數、有給無給ノ別等大綱ヲ記入スルコト
- 七、共濟、宿泊、福利慰安施設欄ニハ設置場所別ニ其ノ概略ヲ記入スルコト

第二號様式「第七條關係」(用紙ノ大サハ日本標準規格A5)

求人番號	第	號	求人票			
申込年月日	昭和年月日					
紹介期限			採用地			
求人者名			取扱主任者			
事務所			電話			
雇傭條件	船舶又ハ勤務地	船種船名 船丸	總噸數 (公噸馬力) ()	用途	航行區域 (航路) ()	勤務地
	職務					履所ノ要否 履歴書等類
	員數					
	年齡					
	給料					旅料有無 支給ノ度
	手当					
	雇傭期間					聯絡狀況
	免狀、證書種類					割當 通稱 年 月 日
	技能、經驗					
	學歷					
其ノ他						
採用方法						
備考						
處理經過						
紹介月日	求職番號	求職者名	紹介顛末	不調理由	取扱者印	

船員職業紹介業務取扱規程

記載心得

- 一、取扱主任者欄ニハ海務課長、勞務課長、人事課長、海務監督其ノ他人事ヲ取扱フ責任者ヲ記入スルコト
- 二、用途欄ニハ旅客船、貨客船、貨物船、漁船ノ區別ニ依リ記入スルコト
- 三、航行區域(航路欄)ノ航行區域ハ平水區域、沿海區域、近海區域、遠洋區域、漁船ニ在リテハ從業制限及漁業ノ種類ノ區別ニ依リ、航路ハ實際就航航路ヲ記入スルコト
- 四、勤務地欄ハ豫備員ノ場合ニ記入スルコト
- 五、免狀、證書種類欄ニハ求人者ノ希望スル海技免狀ノ種類、無線通信士資格證明書、水夫適任證書又ハ救命艇手適任證書等ノ別ヲ記入スルコト
- 六、技能、經驗欄ニハ海上實歴ヲ、水夫何年、大工何年等ノ例ニ依リ記入スルコト
- 七、學歷欄ニハ小學校卒、同中途退學、高等小學校卒、同中途退學、養成所卒、商船學校卒等ノ例ニ依リ記入スルコト
- 八、採用方法欄ニハ面會場所、日時、銓衡方法等ヲ記入スルコト
- 九、聯絡狀況欄ニハ聯絡船員職業紹介所ヨリ聯絡ヲ受ケタル場合ニ記入スルコト
- 十、處理經過各欄ニハ求職者ヲ紹介シタル場合ニ記入スルコト
- 十一、各欄中該當事項ナキトキハ斜線ヲ施シ不明ナルトキハ不明ト記入スルコト

第三號様式(第十條關係)(用紙ノ大サハ葉書大)

通報票		通報番號	
昭和 年 月 日發		船員職業紹介所	
申込年月日		採用地	
紹介期限		取扱主任者	
求人者名		事務所	
電話		電話	
雇	船舶又ハ	船種船名	總噸數(公噸馬力)
	勤務先	船丸	()
備	職務		
	員數		
條	年齡		
	給料		
件	手當		
	雇傭期間		
免	狀、類		
	證書種類		
技	能、經驗		
	學歷		
其	ノ		
	他		
採用方法			
割當聯絡先	職務	員數	備考
聯絡先			
遞信局報告			

記載心得

- 一、本票中各欄記入事項ハ第二號様式ノ記載心得ニ準シ記入スルコト
- 二、二重線以下各欄ハ通報ヲ受ケタル聯絡船員職業紹介所ニ於テ割當聯絡、聯絡又ハ遞信局報告ノ控トシテ之ヲ記入スルコト

船員職業紹介業務取扱規程

第四號様式〔第十二條關係〕（用紙ノ大サハ葉書大）

割當聯絡票		割當番號	
		通報番號	
		聯絡番號	
昭和 年 月 日發		船員職業紹介所	
申込年月日			
紹介期限	採用地		
求人者名	取扱主任者		
事務所	電話		
船舶又ハ 勤務地	船種船名	總噸數 (公稱馬力)	用途
	船丸	()	()
職務			
員數			
年齡			
給料			
手当			
雇傭期間			
免狀、 證書種類			
技能、 經驗			
學歷			
其ノ他			
採用方法			
紹介所名	職務	割當員數	備考

記載心得
本票中各欄記入事項ハ第二號様式ノ記載心得ニ準シ記入スルコト

第五號様式〔第十三條關係〕（用紙ノ大サハ葉書大）

聯絡票		聯絡番號	
		昭和 年 月 日發	
申込年月日		船員職業紹介所	
紹介期限	採用地		
求人者名	取扱主任者		
事務所	電話		
船舶又ハ 勤務地	船種船名	總噸數 (公稱馬力)	用途
	船丸	()	()
職務			
員數			
年齡			
給料			
手当			
雇傭期間			
免狀、 證書種類			
技能、 經驗			
學歷			
其ノ他			
採用方法			
路當聯絡先	職務	員數	備考

記載心得
一、本票中各欄記入事項ハ第二號様式ノ記載心得ニ準シ記入スルコト
二、二重線以下各欄ハ聯絡ヲ受ケタル聯絡船員職業紹介所ニ於テ割當聯絡ノ控トシテ之ヲ記入スルコト
船員職業紹介業務取扱規程

船員職業紹介業務取扱規程

求職番號	第 號	求 職 票	
申込年月日	昭和年月日	通 知 先	
氏 名		就職シ得ル時期	
生年月日(歳)	年月日(歳)		
現 住 所			
本 籍			
船員手帳番號	第 號	戸 主 名	
免狀、證書種類		職 業	
技 能、經 驗		續 柄	
學 歷		世 帯 主	
兵 役 關 係		家 父 母	
希 望 條 件	職 務	配 偶 者	有 無
	給 料	其 他 族	
	手 當	扶 養 家 族	
條 件	雇 傭 期 間	前	雇 氏 名
	船 舶 種 類		主 職 業
	航 路		乘 船 船 舶 地
	其 他		職 務
健 康 狀 況	健 康 良 否		雇 傭 期 間
	既 往 症		給 料
	其 他		手 當
訂 正 通 知		職	年 月 日
紹 介 通 知		下 船 又 上 船	事 由
就 職 順 末		紹 介 先	不 調 理 由
就 職 年 月 日			
紹 介 先 名			
求 人 番 號	第 號		
乘 船 地 務			
船 種 船 名	船 丸		
總 噸 數			
職 務		備	
雇 傭 期 間		考	
給 料			
手 當			

第七號様式「第十八條關係」(用紙ノ大サハ日本標準規格A5)

二〇二ノ一

求 人 聯 絡 訂 正 票	
昭和 年 月 日 發	船員職業紹介所
聯絡訂正番號	
通報番號	
割當番號	
求人者名	
求人條件變更	
割當員數變更	
其 他	

第六號様式「第十七條關係」(用紙ノ大サハ葉書大)

海事法令集

二〇二

記載心得

- 一、求職者女子ナルトキハ氏名欄ニ其ノ旨ヲ記入スルコト
- 二、通知先欄ニハ求職者ニ通知ヲ爲スニ最モ便利ナル場所ヲ記入スルコト
- 三、船員手帳番號欄ニハ例ヘハ東京第一號ノ如ク記入スルコト
- 四、技能、經驗欄ニハ海上實歴ヲ水夫何年、大工何年等、其ノ他ノ特殊經驗技能者ニ付テハ機關工場油差何年等ト記入スルコト
- 五、學歷欄ニハ小學校卒、同中途退學、高等小學校卒、同中途退學、養成所卒、商船學校卒等ノ例ニ依リ記入スルコト
- 六、兵役關係欄ニハ陸海軍別ニ歸休、豫備役、後備兵役、第一補充兵役、第二補充兵役、第一國民兵役等ノ區別ニ依リ記入スルコト
- 七、船舶種類欄ニハ客船、貨物船、漁船、帆船等ノ區別ニ依リ記入スルコト
- 八、航路欄ニハ實際航路、航行區域又ハ從業制限ヲ記入スルコト
- 九、訂正通知欄ニハ他ノ船員職業紹介所ニ求職ノ申込ヲ爲シ居ル求職者ヨリ求職申込ノ内容ノ變更其ノ他届出アリタルトキ當該紹介所ニ其ノ旨ヲ通知済ト記入スルコト
- 十、紹介通知欄ニハ他ノ船員職業紹介所ニ求職ノ申込ヲ爲シ居ル求職者ニ付紹介成立シタル場合ニ於テ當該紹介所ニ其ノ旨通知済ト記入スルコト
- 十一、前職欄ニハ求職直前ノ狀況ニ付記入スルコト
- 十二、就職願末各欄ニハ紹介所ニ於テ求人者ニ紹介ヲ爲シ就職シタルトキノ狀況ヲ記入スルコト
- 十三、紹介年月日、求人番號、紹介先、不調理由欄ニハ紹介ヲ爲シタルモ不成立トナリタルトキノ狀況ヲ記入スルコト
- 十四、備考欄ニハ紹介申込ノ取消失効、期間更新アリタルトキノ旨及年月日ヲ朱書スル等必要事項ヲ適宜記入スルコト

十五、各欄中該當事項ナキトキハ斜線ヲ施シ不明ナルトキハ不明ト記入スルコト
 十六、求職者新海員ナルトキハ求職票ノ上ニ[○]ノ印ヲ、募集海員ナルトキハ求職票ノ上ニ[●]ノ印ヲ捺捺スルコト
 第八號様式「第十九條關係」(用紙ノ大サハ日本標準規格A8)

(表)

第 號	氏 名	船員手帳番號	第 號
昭和 年 月 日	船 員 手 帳 保 管 證		
船員職業紹介所長印			

- (裏)
- 一、本證ハ他人ニ貸與シ又ハ讓渡スヘカラス
 - 二、本證ヲ紛失シタルトキハ直ニ發行者ニ届出ツヘキモノトス
 - 三、船員手帳ノ返還ハ本證ト引換ニ之ヲ爲スヘキモノトス

第九號様式〔第二十八條關係〕（用紙ノ大サハ葉書大）

求 職 訂 正 通 知 票			
昭和 年 月 日發		船員職業紹介所	
求職訂正 通知番號		受付年月日	
求 職 者 名			
住 所			
變 更 成 立 其 ノ 他 事 項			

記載心得
 一、第二十條第二項ノ場合ニハ本票中紹介ナル字句ヲ抹消スルコト
 二、第二十八條ノ場合ニハ本票中求職訂正ナル字句ヲ抹消スルコト

第十號様式〔第二十四條關係〕（用紙ノ大サハ葉書大）

不 良 求 職 者 通 報 票			
昭和 年 月 日發		船員職業紹介所	
氏 名	生 年 月 日		
	船員手帳番號	第	號
住 所			
本 籍			
言 語 容 貌 服 裝 其 ノ 他			
被 害 經 過			
處 理 顛 末			
其 ノ 他			

記載心得
 一、不良求人者ノ場合ニハ求職ナル字句ヲ抹消シタル上船員手帳番號欄ニ斜線ヲ施シ、不良求職者ノ場合ニハ求人ナル字句ヲ抹消スルコト
 二、言語容貌服裝其ノ他、被害經過、處理顛末欄ハ簡單明瞭ニ記入スルコト
 三、船員手帳番號欄ニハ例ヘハ東京第一號ノ如ク記入スルコト

船員職業紹介業務取扱規程

第十一號様式「第二十六條關係」(用紙ノ大サハ往復葉書大)

氏名	生年月日	年齢	本籍	現住所	職務
	年 月 日	年			
備考					
御申込給料其ノ他事項					

(表)

(船員職業紹介所住所)

船員職業紹介所長殿

郵便はがき



(裏)

被紹介者名	紹介職務	紹介年月日	探 乗船地	否	昭和 年 月 日
			船種船名	不 探	切
			總噸數	用	取
			職務	ノ	リ
			雇傭期間	事	線
			給料	由	
			手当	其	
			其ノ他	ノ	
				他	

探 否 通 知 書
求人者名 事務所

船員職業紹介所長印
(電話 番)

船員紹介ノ件 殿
御申込ニ依リ左記ノ者御紹介申上候
追而探否ハ別紙通知書ニ御記入ノ上折返シ御送付相成度候
(探否ノ通知ハ電話又ハ本人持参ニテモ可)

船員職業紹介業務取扱規程

(裏裏面ツツク)

普通船員職業紹介成績日報

紹介所名

昭和 年 月 日現在

船員職業紹介業務取扱規程

職務別	求人数		求職者数		就職者数	取消及失効数				未済者数		備考
	本日申込	前日未済計	本日申込	前日未済計		求人取消	求職取消	求人	求職	求職即乗船不可	求職即乗船不可	
	計		計			計		計		計		
甲板部												
計												
機関部												
計												
事務部												
計												
合計												

二〇二ノ九

高級船員職業紹介成績日報

紹介所名

昭和 年 月 日現在

第十二號様式〔第二十九條・第三十條關係〕（用紙ノ大サハ日本標準規格A4）

海事法令集

職務別	求人数		求職者数		就職者数	取消及失効数				未済者数		備考
	本日申込	前日未済計	本日申込	前日未済計		求人取消	求職取消	求人	求職	求職即乗船不可	求職即乗船不可	
	計		計			計		計		計		
甲板部												
計												
機関部												
計												
事務部												
計												
合計												

二〇二ノ八

高級船員職業紹介成績旬報

逕信局名

昭和 年 月 日現在

船員職業紹介業務取扱規程

職務別	求人数	求職者数	取消及失効数				未済者数			備考
			求人		求職		求職 即日乗船 不可	計		
			取消	失効	取消	失効		人	計	
甲										
板										
部										
計										
機										
關										
部										
計										
事										
務										
部										
計										
合計										

第十三號様式「第三十一條關係」(用紙ノ大サハ日本標準規格A4)

二〇二ノ二

免狀別高級船員職業紹介成績日報

紹介所名

昭和 年 月 日現在

記載心得 数字ハ「アラビア」数字ヲ以テ記入スルコト

海事法令集

免狀別	求人数			求職者数			取消及失効数				未済者数			備考
	本日 申込	計		本日 申込	計		求人		求職		求職 即日 不可	計		
		前日 未済	計		前日 未済	計	取消	失効	取消	失効		人	計	
甲														
板														
部														
計														
機														
關														
部														
計														
無														
線														
部														
計														
合計														

二〇二ノ二

船員職業紹介業務取扱規程

免狀別	求人数	求職者数	就職者数	取消及失効数				未済者数		備考
				求人		求職		求人	求職	
				取消	失効	取消	失効			
甲										
板										
部										
計										
機										
關										
部										
計										
無										
線										
部										
計										
合計										

記載心得 数字ハ「アラビア」数字ヲ以テ記入スルコト

二〇二ノ三

職務別	求人数	求職者数	就職者数	取消及失効数				未済者数		備考
				求人		求職		求人	求職	
				取消	失効	取消	失効			
甲										
板										
部										
計										
機										
關										
部										
計										
專										
務										
部										
計										
合計										

合計

二〇二ノ三

船員職業紹介所官制

(昭和十五年九月)
勅令第六百二十八號

第一條 船員職業紹介所ハ逓信大臣ノ管理ニ屬シ船員職業

紹介事業其ノ他船員ノ職業紹介ニ關スル事務ヲ掌ル

第二條 各船員職業紹介所ノ名稱及位置ハ逓信大臣之ヲ定

第三條 船員職業紹介所ニ通シテ左ノ職員ヲ置ク

所長

主事

主事補

所長ハ主事又ハ主事補ヲ以テ之ニ充ツ

第四條 所長ハ逓信局長ノ指揮監督ヲ承ケ所務ヲ掌理ス

第五條 主事補ハ所長タル者ヲ除クノ外上官ノ指揮ヲ承ケ

事務ニ従事ス

第六條 逓信大臣必要アリト認ムルトキハ船員職業紹介所

ノ出張所ヲ設クルコトヲ得

附 則
本令ハ昭和十五年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

船員職業紹介所及同出張所ノ名稱及位置ノ件

(昭和十五年九月)
逓信省告示第二千六百三十六號

改正
昭和十五年十月
逓信省告示第二千七百六十七號

昭和十五年十月
逓信省告示第二千七百八十八號

船員職業紹介所及同出張所ノ名稱及位置左ノ通定ム

名稱	位置
東京船員職業紹介所	東京市
横濱船員職業紹介所	横濱市
清水船員職業紹介所	清水市
新潟船員職業紹介所	新潟市
名古屋船員職業紹介所	名古屋市
敦賀船員職業紹介所	敦賀市
伏木船員職業紹介所	富山縣射水郡伏木町
大阪船員職業紹介所	大阪市
神戸船員職業紹介所	神戸市

船員職業紹介所紹介就職者運賃割引證交付規程

(大正十二年十二月)
告示第八百二十七號

改正
昭和十五年十月
逓信省告示第二千六百四十九號

第一條 船員職業紹介法ニ依ル船員職業紹介所ノ紹介ニ依

リ就職ノ爲現在地ヨリ就職地ヘ旅行セムトスル者ニシテ

左ノ各號ニ該當スルトキハ當該船員職業紹介所長ニ就職

者旅客運賃割引證(以下單ニ割引證ト稱ス)ノ交付ヲ申

請スルコトヲ得但シ小兒ハ此ノ限ニ在ラス

一 三月以上船員トシテ就職セムトスルトキ

二 賃金又ハ俸給及之ニ準スヘキモノノ月収百圓以下ノ

者

前項ノ割引證ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ書面又ハ口頭ヲ

以テ申請ヲ爲スヘシ

第二條 割引證ヲ携帯スル者ハ鐵道省所管鐵道汽船及之ト

連帶運輸ヲ爲ス鐵道汽船三等ニ限リ賃金ノ五割引ヲ以テ

高知船員職業紹介所	高知市
廣島船員職業紹介所	廣島市
木ノ江船員職業紹介所	廣島縣豊田郡木ノ江町
門司船員職業紹介所	門司市
戸畑船員職業紹介所	戸畑市
若松船員職業紹介所	福岡縣若松市
長崎船員職業紹介所	長崎市
三池船員職業紹介所	大牟田市
鹿兒島船員職業紹介所	鹿兒島市
石卷船員職業紹介所	石卷市
青森船員職業紹介所	青森市
函館船員職業紹介所	函館市
小樽船員職業紹介所	小樽市
室蘭船員職業紹介所	室蘭市
大阪船員職業紹介所	大阪市
安治川出張所	大阪市
門司船員職業紹介所	門司市
下關出張所	下關市
三池船員職業紹介所	大牟田市
大牟田川口出張所	大牟田市

船員職業紹介所官制・船員職業紹介所及同出張所ノ名稱及位置ノ件・船員職業紹介所紹介就職者運賃割引證交付規程

乗車船スルコトヲ得

第三條 割引證、割引乗車船券又ハ就職者旅行證明書ハ他人ニ讓渡シ又ハ他人之ヲ使用スルコトヲ得ス

第四條 割引證ハ發行ノ日ヨリ一月ヲ經過シタルトキハ其ノ效力ヲ失フ

第五條 割引乗車船券ヲ購求スル場合ハ鐵道係員ニ割引證ヲ提出スヘシ

第六條 乗車船賃ノ割引ヲ受クル者ハ船員職業紹介所長ニ於テ發行シタル就職者旅行證明書ヲ携帶シ何時ニテモ船員職業紹介所員又ハ鐵道係員ノ請求アルトキハ之ヲ呈示スヘシ

第七條 船員職業紹介所職員割引證又ハ就職者旅行證明書ヲ記名人以外ノ者ニ於テ携帶セルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ回收スルコトヲ得

第八條 割引證又ハ就職者旅行證明書ハ已ムヲ得サル事由ニ依リ亡失又ハ毀損シタル場合ノ外再ヒ之ヲ交付セス割引證又ハ就職者旅行證明書ヲ亡失シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ遲滞ナク交付ヲ受ケタル船員職業紹介所ニ届出ツヘシ

第九條 就職者旅行證明書ノ交付ヲ受ケタル者就職地ニ到

着シタルトキ其ノ他之カ必要ナキニ至リタルトキハ遲滞ナク交付ヲ受ケタル船員職業紹介所ニ之ヲ返付スヘシ割引證ノ交付ヲ受ケタル者其ノ必要ナキニ至リタルトキ亦同シ

第十條 就職者旅行證明書ハ別記書式ニ依ル

附 則 本規程ハ昭和十五年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

(別記書式)

就職者旅行證明書

本籍	何
現住所	生 年 月 日 某
右ハ何紹介所ニ於テ何地何所何職(船主、船種、船名、職名)ニ紹介就職セシムル爲旅行スルモノナルコトヲ證明ス	船員職業紹介所長 氏 名
年 月 日	職印

七・五種

(裏)

一 本證明書ハ他人ニ貸與シ又ハ讓渡スヘカラス
一 本證明書ハ乗車船中必ス之ヲ携帶シ鐵道係員ノ請求アリタルトキハ何時ニテモ之ヲ呈示スヘキモノトス
一 本證明書ヲ紛失シタルトキハ直ニ發行者ニ届出スヘキモノトス
一 本證明書ハ旅行ヲ終ヘタルトキハ直ニ發行者ニ之ヲ返付スヘキモノトス

船員職業紹介所紹介就職者運賃割引證交付規程

船員職業紹介所紹介就職者運賃割引證交付規程取扱手續

(大正十二年十二月 遞信省公達第千九百九十三號)

改正 昭和十五年十月 公達第千四十七號

第一條 船員職業紹介所ハ船員職業紹介所紹介就職者運賃割引證交付規程(以下單ニ規程ト稱ス)第一條ニ依リ割引證ノ交付ヲ申請スル者アルトキハ同條第一項各號ノ事實ヲ調査シ割引證ヲ交付スヘシ

第二條 前條ノ規定ニ依リ割引證ヲ交付スル場合ハ同時ニ就職者旅行證明書ヲ交付スヘシ

就職者旅行證明書ヲ交付シタルトキハ申請人ニ對シ規程第九條ノ規程ニ依リ之ヲ返付スヘキ旨ヲ特ニ說示スヘシ

第三條 就職者旅行證明書ヲ發行シタル船員職業紹介所ニ於テ發行後二月ヲ經過スルモ之カ返付ヲ受ケサルトキハ

隨時當該船舶ニ就キ被紹介所カ就職シタルヤ否ヤヲ調査スヘシ

前項ノ調査ヲ爲シタル場合ニ於テ被紹介者ニ不正ノ所爲アリト認ムルトキハ遞信省管船局ニ報告スヘシ

第四條 遞信局ハ管内船員職業紹介所ノ交付スヘキ割引證ノ每三ヶ月分ノ所要數ヲ豫定シ第一號書式ニ依リ遞信省管船局ニ請求スヘシ但シ臨時必要ノ場合ハ其ノ都度請求スルコトヲ得

船員職業紹介所ハ前項ニ準シ所轄遞信局ニ請求スヘシ

第五條 船員職業紹介所ニハ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

一 割引證受拂簿(第二號書式)

二 割引證及就職者旅行證明書交付簿(第三號書式)

遞信局ニハ前項第一號ノ帳簿ヲ備フヘシ

第六條 船員職業紹介所ハ毎月十日迄ニ前月中ニ於ケル割引證ノ受拂狀況ヲ第四號書式ニ依リ所轄遞信局ニ報告スヘシ遞信局ハ毎年一月末日迄ニ前年中ニ於ケル割引證ノ交付狀況(月別交付數及書損返納數)ヲ遞信省管船局ニ報告スヘシ

附 則

本公達ハ昭和十五年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式

就職者割引證請求書

年 月 日	現 在 數	自 月 至 月	所 要 見 込 數	差 引 不 足 數	備 考
年 月 日					

右 及 請 求 候 也

遞 信 省 管 船 局 宛

第二號書式

割引證受拂簿

年 月 日	受 入 員 數	拂 出 員 數	事 由	現 在 差 引 高	備 考

(遞 信 局 名 印)

注意 拂出ノ欄事由ハ「交付」又ハ「書損」等拂出ノ事由ヲ記入スヘシ

船員職業紹介所紹介就職者運賃割引證交付規程取扱手續

旅客及荷物運送規則(拔萃)

(昭和七年六月) 鐵道省告示第七十九號

第八十一條 職業紹介法ニ依ル職業紹介所又ハ船員職業紹介法ニ依ル船員職業紹介所ノ紹介ニ依リ就職スル賃金月額百圓以下ノ者旅行ノ場合ニ於テハ所定ノ割引證ヲ收受シ三等片道旅客運賃ノ五割ヲ低減ス但シ三箇月未滿ニテ移動スル短期ノ雇傭者及小兒ニ對シテハ之カ低減ヲ爲サス前項ノ規定ハ有料ニテ又ハ營利ヲ目的トシテ職業紹介事業ヲ行フ者ノ紹介ニ依リ旅行ヲ爲ス旅客ニ對シテハ之ヲ適用セス

改正 昭和十三年三月 法律第六十二號

入營者職業保障法

(昭和六年四月) 法律第五十七號

アリタルトキハ何時ニテモ之ヲ呈示スヘキモノトス (様式省略)

第一條 何人ト雖モ被傭者ヲ求メ又ハ求職者ノ採否ヲ決スル場合ニ於テ入營(應召ノ場合ヲ含ム以下之ニ同シ)ヲ命セラレタル者又ハ入營ヲ命セララルコトアルヘキ者ニ對シ其ノ故ヲ以テ不利益ナル取扱ヲ爲スヘカラス

第二條 雇傭者入營ヲ命セラレタル被傭者ヲ解雇シタトキ又ハ被傭者ノ入營中雇傭期間ノ滿了シタルトキハ其ノ者カ退營(入營ノ際行フ身體検査ノ結果歸郷ヲ命セラレタル場合ヲ含ム)シタル日ヨリ三月以内ニ更ニ之ヲ雇傭スルコトヲ要ス但シ左ノ各號ニ掲クル事由ノ一ニ該當シタルニ因リ解雇シ又ハ現ニ左ノ各號ニ掲クル事由ノ一ニ該當スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八十二條 前條ノ割引證ハ監督官廳ヲ經テ職業紹介所、遞信局海軍部又ハ同出張所ヨリ本人ニ之ヲ交付ス其ノ様式ハ左ノ如シ

(様式省略)

第八十三條 第八十一條ニ依リ旅行ヲ爲ス旅客ハ當該職業紹介所長又ハ遞信局海軍部長若ハ遞信局海軍部出張所長發行ノ左記様式ノ就職者旅行證明書ヲ携帶シ係員ノ請求

前ノ勞務及給與ト同等ノモノナルコトヲ要ス但シ被傭者カ疾病又ハ傷痕ニ因リ入營直前ノ勞務ニ堪ヘサルトキ其ノ他已ムヲ得サル事由アルトキハ之ト異ル勞務及給與ヲ與フルコトヲ妨ケス

第四條 前二條ノ規定ハ入營ヲ命セラレタル被傭者カ解雇セラレサル場合ニ於ケル退營後ノ復職及取扱ニ付之ヲ準用ス

第五條 前三條ノ規定ハ雇傭者ガ常時三十人以上ノ被傭者ヲ使用スル場合ニ之ヲ適用ス

第五條ノ二 職業紹介事業ヲ行フ行政廳(船員職業紹介法第三條第二項ノ規定ニ依リ船員職業紹介事業ヲ行フ者ヲ含ム)ハ退營者ニシテ原職ナキモノ又ハ原職ニ復歸スルコト困難ナリト認ムルモノノ職業紹介ニ付テハ被傭者ヲ求メントスル者ニ對シ其ノ被傭者タルニ適スト認ムル退營者ヲ優先シテ雇傭スルコトヲ優先スルコトヲ得

第六條 當該官吏又ハ公吏ハ第二條乃至第五條ノ規定ノ施行ニ關シ必要アリト認ムルトキハ當事者ニ對シ勸解ヲ爲スコトヲ得

第六條 當該官吏又ハ公吏ハ第二條乃至第五條ノ規定ノ施行ニ關シ必要アリト認ムルトキハ當事者ニ對シ勸解ヲ爲スコトヲ得

一 被傭者カ入營ノ日ヨリ陸軍ニ在リテハ二年、海軍ニ在リテハ三年ヲ超ニル期間服役ヲ志願シ採用セラレタルトキ
二 被傭者カ第二項ニ規定スル通知ヲ爲サス又ハ雇傭者ヨリ同項ニ規定スル通知ニ於テ勞務ニ就クヘキ旨ヲ指定セラレタル日ヨリ故ナク二十日以内ニ勞務ニ就カサルトキ
三 被傭者カ疾病又ハ傷痕ニ因リ勞務ニ堪ヘサルトキ
四 被傭者カ著シク其ノ職務ヲ怠リタルトキ
五 被傭者ニ著シキ不良行爲アリタルトキ
六 雇傭ノ目的タル事業ノ廢止、終了又ハ著シキ整理縮少其ノ他之ニ準スル事由アルトキ

雇傭者及被傭者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ニ規定スル雇傭ニ關シ必要ナル事項ヲ相互ニ通知スルコトヲ要ス雇傭者ハ第一項各號ニ掲クル場合ヲ除クノ外同項ノ規定ニ依リ雇傭シタル被傭者ヲ其ノ雇傭ノ日ヨリ三月以内ニ於テ民法第六百二十七條又ハ第六百二十八號ノ規定ニ依リ解雇スルコトヲ得

第三條 前條第一項ノ規定ニ依リ退營者ヲ雇傭スル場合ニ於テ之ニ與フヘキ勞務及給與ハ少クトモ其ノ者ノ入營直

旅客及荷物運送規則拔萃・入營者職業保障法

前項ノ當該官吏又ハ公吏ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 本法ノ適用ニ付テハ國道府縣、市町村其ノ他之ニ準スルモノノ被備者ニシテ官吏又ハ公吏ニ準シ取扱フコトヲ要スル者ニ付勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和六年十一月一日ヨリ施行)

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

入營者職業保障法施行令

(昭和六年十月 勅令第二百六十一號)

改正 昭和十三年三月 勅令第三百三十五號

第一條 入營者職業保障法第六條第二項ニ規定スル官吏又ハ公吏左ノ如シ
一 國ノ被備者ニ關スル勅令ニ付テハ當該被備者ヲ雇傭

附 則

本令ハ入營者職業保障法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

入營者職業保障法施行規則

規 則

(昭和六年十月 內務、陸軍、海軍、遞信省令)

改正 昭和十一年八月 內務、陸軍、海軍、遞信省令

第一條 被備者(入營者職業保障法ノ適用アル被備者ヲ謂フ以下之ニ同シ)ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ遲滞ナク其ノ旨ヲ書面ヲ以テ雇傭者ニ通知スヘシ

- 一 入營スヘキ期日及部隊定マリタルトキ
- 二 入營ノ日ヨリ陸軍ニ在リテハ二年、海軍ニ在リテハ三年ヲ超ユル期間服役ヲ志願シ採用セラレタルトキ
- 三 傷疾疾病其ノ他ノ事由ニ因リ退營後再ヒ雇傭セララルコト又ハ復職スルコトヲ希望セサルトキ

第二條 被備者ハ退營豫定期日前三月ヨリ退營後二十日以内(入營又ハ應召ノ際行フ身體検査ノ結果歸郷ヲ命セラ

入營者職業保障法施行令・入營者職業保障法施行規則

シタル者ノ直接上級ノ監督官廳又ハ直接上級ノ部局ノ長但シ朝鮮總督、臺灣總督又ハ樺太廳長官ノ雇傭シタル者ニ關スル勅令ニ付テハ朝鮮總督、臺灣總督又ハ樺太廳長官ノ定ムル官吏

二 道府縣又ハ市町村ノ被備者ニ關スル勅令ニ付テハ當該被備者ヲ雇傭シタル者ノ直接上級ノ監督官廳、直接上級ノ部局ノ長又ハ職業紹介事務局長

三 前二號ノ適用アル場合ヲ除キ船員法ノ適用アル船員

ニ關スル勅令ニ付テハ遞信局長(朝鮮船員令ノ適用アル船員ニ關スル勅令ニ付テハ朝鮮總督府遞信局長)又

ハ船員法第四十五條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長、鑛業法ノ適用アル鑛夫又ハ砂鑛業ニ従事

スル鑛夫ニ關スル勅令ニ付テハ鑛山監督局長又ハ第四

號ニ掲ケル官吏若ハ公吏

四 前三號ニ掲ケル者以外ノ被備者ニ關スル勅令ニ付テ

ハ地方長官、職業紹介事務局長、市町村長又ハ職業紹介所長

第二條 本令中道府縣、市町村又ハ地方長官、市町村長ニ

關スル規定ハ道府縣、市町村又ハ地方長官、市町村長ニ

準スルモノニ之ヲ適用ス

レタル者並ニ臨時ニ退營ヲ命セラレタル者ニ在リテハ退營後二十日以内)ニ左ノ事項ヲ書面ヲ以テ雇傭者ニ通知スヘシ

一 退營豫定期日又ハ退營シタル日

二 退營後再ヒ勞務ニ就キ得ヘキ豫定期日

三 退營後ノ受信場所

被備者前項ノ通知ヲ爲シタル後退營豫定期日ニ變更アリタルトキ又ハ前項第二號及第三號ノ事項ヲ變更スル必要ヲ生シタルトキハ遲滞ナク之ヲ雇傭者ニ通知スヘシ

第三條 被備者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル事由ニ因リ雇傭者ヨリ勞務ニ就クヘキ旨ヲ指定セラレタル日ヨリ二十日以内ニ勞務ニ就クコト能ハサルトキハ速ニ其ノ事由ノ要旨ヲ書面ヲ以テ雇傭者ニ通知スヘシ

一 疾病ニ罹リ又ハ傷疾ヲ受ケタルトキ

二 直系尊屬、妻又ハ直系卑屬カ死亡シタルトキ又ハ重

態ナルトキ

三 本人ト同一戸籍又ハ同一世帯内ニ在ル者死亡シ他ニ

後始末ヲ爲ス者ナキトキ

四 本人ト同一戸籍又ハ同一世帯内ニ在ル者重態ニシテ

他ニ看護ヲ爲ス者ナキトキ

五 本人ノ住家ノ火災、流失又ハ倒壊其ノ他重大ナル災害ヲ蒙リ他ニ後始末ヲ爲ス者ナキトキ
 六 其ノ他前各號ニ掲クル事由ニ準スル已ムヲ得サル事由アルトキ

第四條 雇傭者ハ第二條第一項ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク左ノ事項ヲ書面ヲ以テ被傭者ニ通知スヘシ

一 再ヒ勞務ニ就カシメ得ヘキ期日
 二 入營直前ノ勞務又ハ給與ト異ナル勞務又ハ給與ヲ與フル場合ニ於テハ當該事項
 三 其ノ他必要ト認ムル事項

第五條 雇傭者ハ入營者職業保障法第二條第一項第二號乃至第六號ノ一ニ該當スル事由ニ因リ被傭者ヲ解雇シタルトキ又ハ被傭者ヲ再雇傭シ若ハ復職セシメ得サルトキハ遲滞ナク其ノ事由ノ要旨ヲ書面ヲ以テ被傭者ニ通知スヘシ

第六條 雇傭者ハ地方長官（船員法ノ適用アル船員ニ付テハ所轄通信局長）ニ對シ遲滞ナク左ノ事項ヲ書面ヲ以テ届出ツヘシ
 一 被傭者ニシテ入營ヲ命セラレタル者アルトキハ其ノ氏名、住所、勞務及給料

二 第四條又ハ第五條ノ規定ニ依リ通知シタル事項前項第一號ノ届出ニハ事業ノ種類及被傭者ノ總數ヲ附記スヘシ
 第七條 雇傭者又ハ被傭者ニシテ入營者職業保障法第六條ノ規定ニ依リ勸解ヲ求メントスル者ハ入營者職業保障法施行令ノ定ムル所ノ當該官吏又ハ公吏ニ書面又ハ口頭ヲ以テ申出ツヘシ
 附 則
 本令ハ入營者職業保障法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三章 船員保險

船員保險法

（昭和十四年四月法律第七十三號）

第一章 總 則

第一條 船員保險ニ於テハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ疾病、負傷、老齡、癡疾、脱退又ハ死亡ニ關シ保險給付ヲ爲スモノトス

第二條 船員保險ハ政府之ヲ管掌ス

第三條 本法ニ於テ報酬ト稱スルハ船員カ職務執行ノ對價トシテ船舶所有者ヨリ受クル給料及之ニ準スヘキモノヲ謂フ

給料ニ準スヘキモノノ範圍及評價ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 報酬ノ額ニ基キ保險料又ハ保險給付ノ額ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬ニ依リ之ヲ算定ス
 標準報酬ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

船員保險法

船員保險

第五條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ヲ徵收シ又ハ其ノ還付ヲ受クル權利及療養費、傷病手當金、癡疾手當金又ハ死亡手當金ヲ受クル權利ハ一年ヲ經過シタルトキ、養老年金、癡疾年金、脱退手當金又ハ第三十六條、第三十七條、第四十二條若ハ第四十九條ノ規定ニ依ル一時金ヲ受クル權利ハ五年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス
 第六條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定スル期間ノ計算ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外民法ノ期間ノ計算ニ關スル規定ヲ準用ス

第七條 船員保險ニ關スル書類ニハ印紙稅ヲ課セス

第八條 行政官廳又ハ保險給付ヲ受クヘキ者ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ戶籍ニ關シ戶籍事務ヲ管掌スル者又ハ其ノ代理者ニ對シ無償ニテ證明ヲ求ムルコトヲ得

第九條 行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ被保險者ヲ雇傭スル船舶所有者ヲシテ其ノ雇傭スル者ノ異動及報酬ニ關シ報告ヲ爲サシメ、文書ヲ提示セシメ其ノ他船員保險ノ施行ニ必要ナル事務ヲ行ハシムルコトヲ得

第十條 本法又ハ本法ニ基キテ登録スル命令中船舶所有者トアルハ船舶共有ノ場合ニ在リテハ船舶管理人、船舶貸借ノ場合ニ在リテハ船舶借入人トス

第十一條 船舶ガ滅失又ハ沈没シタル際現ニ其ノ船舶ニ乗組ム被保險者又ハ其ノ船舶ニ乗組中中被保險者ノ資格ヲ喪失シ引續キ船舶内ニ在ル者カ滅失又ハ沈没ノ日ヨリ三月間其ノ生死分明ナラサルトキハ本法ノ適用ニ付テハ其ノ期間満了ノ日ニ死亡シタルモノト推定ス
船舶ノ存否カ一月間分明ナラサルトキハ船舶ハ滅失シタルモノト推定ス

第十二條 保險料ヲ滯納スル者アルトキハ行政官廳ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ
前項ノ規定ニ依リ督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ督促手數料及延滯金ヲ徵收ス
第一項ノ規定ニ依ル督促ヲ受ケタル者其ノ指定ノ期限迄ニ保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ヲ納付セザルトキハ行政官廳ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分シ又ハ滯納者若ハ其ノ者ノ財産ノ在ル市町村ニ對シ之ガ處分ヲ請求スルコトヲ得

第十三條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ徵收金ニ次キ他ノ公課ニ先ツモノトス
第十四條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ニ關スル書類ノ送達ニ付テハ國稅徵收法第四條ノ七及第四條ノ八ノ規定ヲ準用ス
第十五條 國、北海道、府縣、市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ所有ニ屬スル船舶ニ乗組ム船員ニ關シテハ本法ノ適用ニ付勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得
第十六條 本法中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準スヘキモノトス
第二章 被保險者
第十七條 船員法第一條ニ規定スル帝國臣民タル船員ニシ

テ本法施行地ニ船籍港ヲ定ムル船舶ニ乗組ムモノハ船員保險ノ被保險者トス但シ左ニ掲クル者ハ此ノ限ニ在ラズ

一 船舶所有者ニ雇傭セラレサル者
二 官吏又ハ待遇官吏(俸給給料ヲ受ケサル者ヲ除ク)
三 前二號ニ掲クル者ノ外勅令ヲ以テ指定スル者

第十八條 被保險者ハ船舶ニ乗組ミタル日、前條各號ノ規定ニ該當セザルニ至リタル日又ハ日本ノ國籍ヲ取得シタル日ヨリ其ノ資格ヲ取得ス

第十九條 被保險者ハ死亡シタル日、船舶ニ乗組マサルニ至リタル日、第十七條各號ノ一ニ該當スルニ至リタル日又ハ日本ノ國籍ヲ失ヒタル日ノ翌日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス但シ其ノ事實アリタル日ニ更ニ前條ノ規定ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス

第二十條 十年以上十五年未満被保險者タリシ者カ被保險者タラサルニ至リタル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ繼續シテ被保險者ト爲ルコトヲ得但シ其ノ者カ日本ノ國籍ヲ失ヒタルトキハ此ノ限ニ在ラズ
前項ノ規定ニ依ル被保險者ニ對シテハ老齡又ハ脱退ニ關スル保險給付ニ限り之ヲ爲スモノトス

第二十一條 前條ノ規定ニ依ル被保險者ハ第十七條ノ規定

若ハ其ノ者ノ財産ノ在ル市町村ニ對シ之ガ處分ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ市町村ニ對シ處分ノ請求ヲ爲シタルトキハ市町村ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テハ行政官廳ハ徵收金額ノ百分ノ四ニ相當スル金額ヲ當該市町村ニ交付スヘシ

第十三條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ徵收金ニ次キ他ノ公課ニ先ツモノトス

第十四條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ニ關スル書類ノ送達ニ付テハ國稅徵收法第四條ノ七及第四條ノ八ノ規定ヲ準用ス

第十五條 國、北海道、府縣、市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ所有ニ屬スル船舶ニ乗組ム船員ニ關シテハ本法ノ適用ニ付勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第十六條 本法中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準スヘキモノトス
第二章 被保險者
第十七條 船員法第一條ニ規定スル帝國臣民タル船員ニシ

ニ依ル被保險者タリシ期間ト前條ノ規定ニ依ル被保險者タリシ期間トヲ合算シテ十五年ニ達シタルトキ其ノ他勅令ヲ以テ定ムル事由ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ資格ヲ喪失ス
第十九條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依ル被保險者死亡シタル場合及日本ノ國籍ヲ失ヒタル場合ニ之ヲ準用ス

第三章 保險給付
第一節 總則

第二十二條 被保險者タリシ期間ハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル月ヨリ之ヲ起算シ其ノ資格ヲ喪失シタル月ノ前月ヲ以テ終ル但シ十六日以後ニ於テ被保險者ノ資格ヲ取得シタルトキハ其ノ月ハ半月トシテ之ヲ計算ス
十六日以後ニ於テ被保險者ノ資格ヲ喪失シタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス其ノ月ハ半月トシテ之ヲ被保險者タリシ期間ニ加算ス

被保險者ノ資格ヲ喪失シタル後更ニ其ノ資格ヲ取得シタル者ニ對シテ保險給付ヲ爲ス場合ニ於テハ前後ノ被保險者タリシ期間ハ之ヲ合算ス但シ脱退手當金ノ支給ヲ受ケタル場合ニ於テハ其ノ計算ノ基礎ト爲リタル期間ハ之ヲ合算セス

前項但書ノ規定ハ第四十九條ノ規定ニ依リ差額ノ支給ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條 第三十六條、第三十七條若ハ第四十二條ノ規定ニ依ル一時金又ハ死亡手當金ヲ受ケヘキ遺族ノ範圍及順位ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十四條 養老年金及癱疾年金ノ支給ハ之ヲ支給スヘキ事由ノ生シタル月ノ翌月ヨリ之ヲ始メ權利消滅ノ月ヲ以テ終ル

第二十五條 政府ハ事故カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル場合ニ於テ保險給付ヲ爲シタルトキハ其ノ給付ノ價額ノ限度ニ於テ保險給付ヲ受ケヘキ者カ第三者ニ對シテ有スル損害賠償請求ノ權利ヲ取得ス

第二十六條 保險給付トシテ支給ヲ受ケタル金品ヲ標準トシテ租税其ノ他ノ公課ヲ課セス但シ養老年金ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條 保險給付ヲ受ケタル權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ差押フルコトヲ得ス

第二節 療養ノ給付及傷病手當金

第二十八條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ疾病又ハ負傷ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ療養ノ給付ヲ爲ス但

第二十八條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
第三十一條 診療所ニ收容シタル被保險者タリシ者ニ對シテ支給スヘキ傷病手當金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ減額スルコトヲ得

第三十二條 療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ハ同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付其ノ保險給付ヲ始メタル日ヨリ起算シ六月ヲ經過シタルトキハ之ヲ爲サス主務大臣ノ指定スル疾病ニ關シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ期間ヲ超エ尙六月以内繼續シテ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲ス事ヲ得但シ其ノ保險給付ヲ始メタル日前勅令ノ定ムル期間引續キ被保險者タリシ者ニ限ル傷病手當金ハ其ノ支給期間ヲ經過セサルトキト雖モ療養ノ給付ヲ爲シ得ル期間ヲ經過スルニ至リタルトキハ之ヲ支給セス

第三十三條 船員法第十七條又ハ第二十九條ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ扶助又ハ手當ノ支給ヲ受ケル被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ疾病又ハ負傷ニ關シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ受クルコトヲ得ヘキ期間經過後療養ノ給付又ハ傷病手當金ノ支給ヲ開始ス

第三節 養老年金

船員保險法

シ被保險者ノ資格喪失前ノ疾病又ハ負傷ニ因リ發シタル疾病ヲ除クノ外被保險者ノ資格喪失後ニ發シタル疾病又ハ負傷ニ關シ、此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ報酬年額千八百圓ヲ超ユル船舶職員、被保險者ノ資格喪失當時報酬年額千八百圓ヲ超ユル船舶職員タリシ者及勅令ヲ以テ指定スル者ノ疾病又ハ負傷ニハ之ヲ適用セス

第一項ノ場合ニ於テ療養上必要アリト認ムルトキハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ヲ診療所ニ收容スルコトヲ得

第二十九條 療養ノ給付ヲ爲スコト困難ナル場合又ハ被保險者若ハ被保險者タリシ者ノ申請アリタル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ療養ノ給付ニ代ヘテ療養費ヲ支給スルコトヲ得

第三十條 被保險者タリシ者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルトキハ其ノ期間傷病手當金トシテ一日ニ付被保險者ノ資格喪失當時ノ報酬日額ノ百分ノ六十二相當スル金額ヲ支給ス

- 一 療養ノ給付ヲ受クルトキ
- 二 船員法第十七條又ハ第二十九條ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ疾病又ハ負傷ニ關シ扶助ヲ受クルトキ

第三十四條 十五年以上被保險者タリシ者カ其ノ資格ヲ喪失シタル後五十歳ヲ超エタルトキ又ハ五十歳ヲ超エ其ノ資格ヲ喪失シタルトキハ其ノ者ノ死亡ニ至ル迄養老年金ヲ支給ス

第三十五條 養老年金ノ額ハ被保險者タリシ期間十五年以上十六年未滿ニ對シ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬年額ノ百分ノ二十五ニ相當スル金額トシ被保險者タリシ期間十五年以上一年ヲ増ス毎ニ其ノ一年ニ對シ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬年額ノ百分ノ一二相當スル金額ヲ加ヘタル金額トス

被保險者タリシ期間四十年ヲ超ユル者ニ支給スヘキ養老年金ノ額ハ之ヲ被保險者タリシ期間四十年トシテ計算ス
第三十六條 養老年金ノ支給ヲ受ケル者カ死亡シタル場合ニ於テ既ニ支給ヲ受ケタル養老年金ノ總額カ養老年金ノ五分分ニ相當スル金額ニ滿タサルトキハ其ノ差額ヲ一時金トシテ其ノ遺族ニ支給ス

第三十七條 十五年以上被保險者タリシ者カ養老年金ノ支給ヲ受ケルコトヲ得ヘカリシ場合ニ於テハ其ノ者カ支給ヲ受クルコトヲ得ヘカリシ養老年金ノ五分分ニ相當スル金額ヲ一時金トシテ其ノ遺族ニ支給ス

第三十八條 傷病手當金又ハ船員法第十七條若ハ第二十九條ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ手當ノ支給ヲ受クル者ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ受クルコトヲ得ヘキ期間養老年金ノ支給ヲ停止ス

第三十九條 養老年金ノ支給ヲ受クル者被保險者ト爲リタルトキハ其ノ月ヨリ養老年金ノ支給ヲ停止ス

前項ノ規定ニ依リ養老年金ノ支給ヲ停止セラレタル被保險者カ其ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ於テハ前後ノ被保險者タリシ期間ヲ合算シテ養老年金ノ額ヲ改定ス

前項ノ規定ニ依リ養老年金ノ額ヲ改定スル場合ニ於テ其ノ額カ従前ノ養老年金ノ額ヨリ少キトキハ従前ノ養老年金ノ額ヲ以テ改定養老年金ノ額トス

第四節 癱疾年金及癱疾手當金

第四十條 被保險者ノ資格喪失前ニ發シタル疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病カ勅令ノ定ムル期間内ニ治癒シタル場合又ハ治癒セサルモ其ノ期間ヲ經過シタル場合ニ於テ勅令ノ定ムル程度ノ癱疾ノ状態ニ在ル者ニハ其ノ程度ニ應ジテ癱疾手當金ヲ支給ス

ニ相當スル金額ニ滿タサルトキハ其ノ差額ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ一ヲ支給ス

第四十四條 癱疾年金ヲ受クル權利ヲ有スル者カ癱疾年金ヲ受クル程度ノ癱疾ノ状態ニ該當セサルニ至リタルトキハ爾後癱疾年金ヲ支給セス

第四十五條 養老年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ニハ癱疾手當金ヲ支給セス

第五節 脱退手當金

第四十六條 三年以上十五年未満被保險者タリシ者カ死亡シタルトキ又ハ其ノ資格ヲ喪失シタル後更ニ被保險者ト爲ルコトナクシテ一年六月ヲ經過シタルトキハ脱退手當金ヲ支給ス但シ其ノ者カ癱疾手當金ヲ受クル權利ヲ有スルトキハ一年六月ヲ經過セサル場合ト雖モ之ヲ支給ス

第四十七條 脱退手當金ノ額ハ左ノ區別ニ依ル但シ癱疾手當金ノ支給ヲ受クル者ニ支給スヘキ額ハ癱疾手當金ノ額ト合算シタル被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ十分三分ニ相當スル金額ヲ超ユルコトヲ得ス

一 被保險者タリシ期間三年以上四年未満ナル者ニ對シテハ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ一月半分

第四十一條 癱疾年金ノ額ハ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ百分ノ二十五ニ相當スル金額トシ被保險者タリシ期間十五年以上一年ヲ増ス毎ニ其ノ一年ニ對シ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ百分ノ一ニ相當スル金額ヲ加ヘタル金額トス

第三十五條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

癱疾手當金ノ額ハ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ七分分ニ相當スル金額トス

第四十二條 癱疾年金ノ支給ヲ受クル者カ死亡シタル場合ニ於テハ左ノ區別ニ依ル金額ヲ一時金トシテ其ノ遺族ニ支給ス

一 被保險者タリシ期間カ十五年未満ナル場合ニ於テ既ニ支給ヲ受ケタル癱疾年金ノ總額カ被保險者ノ資格喪失ノ際支給ヲ受ケルコトヲ得ヘカリシ脱退手當金及被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ七分分ノ合算額

(被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ十三分分ヲ超ユルトキハ十三分分ニ止ム)ニ相當スル金額ニ滿タサルトキハ其ノ差額

二 被保險者タリシ期間カ十五年以上ナル場合ニ於テ既ニ支給ヲ受ケタル癱疾年金ノ總額カ癱疾年金ノ五年分

ニ相當スル金額

二 被保險者タリシ期間四年以上九年未満ナル者ニ對シテハ其ノ期間三年以上一年ヲ増ス毎ニ前號ノ金額ニ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ半月分ニ相當スル金額ヲ加ヘタル金額

三 被保險者タリシ期間九年以上ナル者ニ對シテハ其ノ期間八年以上一年ヲ増ス毎ニ前號ノ規定ニ依リ其ノ期間八年以上九年未満ノ者ノ支給ヲ受クヘキ金額ニ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ一月分ニ相當スル金額ヲ加ヘタル金額

第四十八條 癱疾年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ニハ脱退手當金ヲ支給セス

第四十九條 癱疾年金ヲ受クル權利ヲ有スル者カ第四十四條ノ規定ニ依リ癱疾年金ノ支給ヲ受ケサルニ至リタル場合ニ於テ既ニ支給ヲ受ケタル癱疾年金ノ總額カ其ノ者カ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル際支給ヲ受クル事ヲ得ヘカリシ脱退手當金ノ額ニ滿タサルトキハ其ノ差額ヲ支給ス

第六節 死亡手當金

第五十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ被保險者又ハ被保險者タリシ者カ三年以上被保險者タリシトキハ其

ノ遺族ニ對シ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ三
 月分ニ相當スル死亡手當金ヲ支給ス但シ其ノ金額カ百圓
 ニ滿タサルトキハ之ヲ百圓トス

- 一 被保險者カ死亡シタルトキ
- 二 被保險者タリシ者カ其ノ資格喪失後三月以内ニ死亡
シタルトキ
- 三 被保險者タリシ者ニシテ療養ノ給付ヲ受クルモノカ
死亡シタルトキ

第七節 保險給付ノ制限

第五十一條 被保險者又ハ被保險者タリシ者カ自己ノ故意
 ノ犯罪行爲ニ因リ又ハ故意ニ事故ヲ生セシメタルトキハ
 療養ノ給付又ハ傷病手當金、癱疾年金、癱疾手當金若ハ
 死亡手當金ノ支給ヲ爲サス

第三十六條、**第三十七條**若ハ**第四十二條**ノ規定ニ依ル一
 時金又ハ死亡手當金ノ支給ヲ受クヘキ者カ被保險者又ハ
 被保險者タリシ者ヲ故意ニ死ニ致シタルトキハ其ノ者ニ
 對シテハ支給ヲ爲サス此ノ場合ニ於テ後順位者アルトキ
 ハ其ノ者ニ支給ヲ爲ス

第五十二條 被保險者又ハ被保險者タリシ者カ闘争、泥酔
 若ハ著シキ不行跡ニ因リ、故意ニ危害業務ニ關スル業務

第五十四條 正當ノ理由ナクシテ療養ニ關スル指揮ニ從ハ
 サル者ニ對シテハ傷病手當金ノ一部ヲ支給セサルコトヲ
 得

第五十五條 詐欺其ノ他不正ノ行爲ニ依リ保險給付ヲ受ケ
 又ハ受ケントシタル者ニ對シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ
 期間ヲ定メ保險給付ノ全部又ハ一部ヲ爲ササルコトヲ得

第五十六條 療養ノ給付又ハ傷病手當金ノ支給ヲ受クル者
 ニ付必要アリト認ムルトキハ診斷ヲ行フコトヲ得

正當ノ理由ナクシテ前項ノ診斷ヲ受ケサル者ニ對シテハ
 療養ノ給付ノ全部若ハ一部又ハ傷病手當金、癱疾年金若
 ハ癱疾手當金ノ全部若ハ一部ノ支給ヲ爲ササルコトヲ得

第五十七條 養老年金又ハ癱疾年金ヲ受クル者ニ付必要ア
 リト認ムルトキハ其ノ身分關係ノ異動及癱疾狀態ノ繼續
 ノ有無ニ關シ其ノ者ヲシテ必要ナル書類ヲ提出セシムル
 コトヲ得

前項ノ場合ニ於テ書類ヲ提出セサル者ニ對シテハ養老年
 金又ハ癱疾年金ノ支給ヲ一時差止ムルコトヲ得

第四章 費用ノ負擔

第五十八條 國庫ハ療養ノ給付及傷病手當金ヲ除クノ外保
 險給付ニ要スル費用ノ五分ノ一ヲ負擔ス

船員保險法

上ノ監督者ノ指揮ニ從ハサルニ因リ又ハ正當ノ理由ナク
 シテ療養ニ關スル指揮ニ從ハサルニ因リ事故ヲ生セシメ
 タルトキハ傷病手當金、癱疾年金又ハ癱疾手當金ノ全部
 又ハ一部ヲ支給セサルコトヲ得

第五十三條 被保險者又ハ被保險者タリシ者カ左ノ各號ノ
 一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ期間療養ノ給付又ハ傷病
 手當金ノ支給ヲ爲サス但シ命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ
 限ニ在ラス

- 一 陸海軍ニ徵集又ハ召集セラレタルトキ
- 二 本法施行地外ニ在ルトキ
- 三 船舶内ニ在ルトキ
- 四 矯正院其ノ他之ニ準スヘキモノニ入院セシメラレタ
ルトキ
- 五 監獄、留置場又ハ勞役場ニ拘禁又ハ留置セラレタル
トキ
- 六 健康保健又ハ職員健康保險ニ於テ之ニ相當スル保險
給付ヲ受クルトキ

他ノ法令ニ依リ國又ハ公共團體ノ負擔ニ於テ診療所ニ收
 容セラレタル者ニ對シテハ療養ノ給付ヲ爲サス

第三十一條ノ規定ハ前項ニ掲グル者ニ之ヲ準用ス

國庫ハ前項ニ規定スル費用ノ外毎年度豫算ノ範圍内ニ於
 テ船員保險事業ノ事務ノ執行ニ要スル費用ヲ負擔ス

第五十九條 政府ハ船員保險事業ニ要スル費用ニ充ツル爲
 保險料ヲ徵收ス

第六十條 被保險者及被保險者ヲ雇傭スル船舶所有者ハ各
 保險料額ノ二分ノ一ヲ負擔ス但シ**第二十條**ノ規定ニ依ル
 被保險者ハ其ノ全額ヲ負擔ス

第六十一條 船舶所有者ハ其ノ雇傭スル被保險者ノ負擔ス
 ヘキ保險料ヲ納付スル義務ヲ負フ但シ**第二十條**ノ規定
 ニ依ル被保險者ノ負擔スル保險料ニ付テハ此ノ限ニ在ラ
 ス

第六十二條 船舶所有者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規
 定ニ依リ納付スヘキ保險料ヲ被保險者ニ支拂フヘキ報酬
 ヨリ控除スルコトヲ得

第五章 審査ノ請求、訴願及訴訟

第六十三條 保險給付ニ關スル決定ニ不服アル者ハ第一次
 船員保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アルトキ
 ハ第二次船員保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服
 アルトキハ通常裁判所ニ訴ヲ提起スルコトヲ得

前項ノ審査ノ請求ハ時効ノ中斷ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ請求ト看做ス

第六十四條 保険料其ノ他本法ニ依ル徵收金ノ賦課若ハ徵收ノ處分又ハ第十二條ノ規定ニ依ル處分ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第六十五條 保険料其ノ他本法ニ依ル徵收金ノ賦課又ハ徵收ノ處分ニ關シ訴願ノ提起アリタルトキハ主務大臣ハ第二次船員保險審査會ノ審査ヲ經テ裁決ヲ爲スヘシ

第六十六條 本法ニ規定スルモノノ外船員保險審査會ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十七條 審査ノ請求、訴ノ提起又ハ訴願若ハ行政訴訟ノ提起ハ處分ノ通知又ハ決定書ノ交付ヲ受クタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テ審査ノ請求ニ付テハ訴願法第八條第三項ノ規定ヲ、訴ノ提起ニ付テハ民事訴訟法第五十八條第二項及第百五十九條ノ規定ヲ準用ス

第六章 罰 則

第六十八條 第九條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ報告ヲ爲サス、虚偽ノ報告ヲ爲シ又ハ文書ノ提示ヲ爲ササル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

依ル被保險者ト爲ルヘキ資格ヲ有スル船員トシテ五年以上船員ニ乗組ミタル者カ四十五歳ヲ超エ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ於テ同日前十五年間ニ於テ船舶ニ乗組ミタル期間ト被保險者タリシ期間トヲ合算シ十五年以上ニ達スルモ十五年以上被保險者タリシ者ニ非サルトキハ其ノ者ニ對スル脱退手當金ノ支給條件及其ノ額ニ付テハ第四十六條及第四十七條ノ規定ニ拘ラス勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

船員保險法ノ一部施行期

日ノ件

(昭和十五年二月 勅令第六十四號)

船員保險法ハ保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ヲ除クノ外昭和十五年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

船員保險法ノ一部施行期日ノ件・船員保險法ヲ朝鮮及臺灣ニ施行スルノ件

第六十九條 船舶所有者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者カ其ノ業務ニ關シ前條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第七十條 第六十八條ノ罰則ハ其ノ者カ法人ナルトキハ理事、取締役其他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第七章 雜 則

第七十一條 本法ヲ朝鮮又ハ臺灣ニ施行スル場合ニ於テ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十二條 關東州船員令ニ依ル船員タリシ者カ被保險者ト爲リタル場合又ハ被保險者タリシ者カ關東州船員令ニ依ル船員ト爲リタル場合ノ保險給付ニ關シテハ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

附 則

本法施行ノ期日ハ保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定並ニ其ノ他ノ規定ニ付各別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
勅令ヲ以テ指定スル日以前十五年間ニ於テ第十七條ノ規定ニ

船員保險法ノ一部施行期

日ニ關スル件

(昭和十五年五月 勅令第三百六十三號)

船員保險法中保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ハ昭和十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

船員保險法ヲ朝鮮及臺灣

ニ施行スルノ件

(昭和十五年二月 勅令第六十五號)

船員保險法ハ第十六條及第五章ノ規定ヲ除クノ外之ヲ昭和十五年三月一日ヨリ朝鮮及臺灣ニ施行ス但シ保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ハ此等ノ規定ノ内地ニ於ケル施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

船員保險法施行令

(昭和十五年二月)
勅令第六十六號

第一章 總 則

第一條 船員保險法第三條第一項ノ給料ニ準スヘキモノノ

範圍ハ左ニ掲クルモノトス

一 職長手當

二 勤續手當
三 機關部手當

四 其ノ他厚生大臣ノ指定スルモノ

第二條 給料ニ準スヘキモノノ全部又ハ一部カ金錢以外ノ給與其ノ他ノ利益ナル場合ニ於テハ其ノ價額ハ保險院長官ノ定ムル標準價格ニ依リ之ヲ算定ス

第三條 船員保險法第四條第一項ノ標準報酬ハ被保險者ノ報酬月額ニ基キ左ノ區別ニ依リ之ヲ定ム

標準報酬ノ等級	標準			報 酬 月 額
	年 額	月 額	日 額	
第一級	百八十圓	十五圓	五十錢	二十圓未滿
第二級	三百圓	二十五圓	八十圓	二十圓以上三十圓未滿
第三級	四百二十圓	三十五圓	一圓二十錢	三十圓以上四十圓未滿
第四級	五百四十圓	四十五圓	一圓五十錢	四十圓以上五十圓未滿
第五級	六百六十圓	五十五圓	一圓八十錢	五十圓以上六十圓未滿
第六級	七百八十圓	六十五圓	二圓二十錢	六十圓以上七十圓未滿

第七級	九百圓	七十五圓	二圓五十錢	七十圓以上八十圓未滿
第八級	千二百圓	八十五圓	二圓八十錢	八十圓以上九十圓未滿
第九級	千二百圓	百圓	三圓三十錢	九十圓以上百十圓未滿
第十級	千四百四十圓	百二十圓	四圓	百十圓以上百三十圓未滿
第十一級	千六百八十圓	百四十圓	四圓七十錢	百三十圓以上百五十圓以下
第十二級	千八百圓	百五十圓	五圓	百五十圓ヲ超ユルモノ

第四條 標準報酬ハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日ノ現在

ニ依リ之ヲ定ム

被保險者ノ報酬カ其ノ増減アリタルニ因リ從前ノ報酬月額ニ基キ定メラレタル標準報酬ニ該當セサルニ至リタル場合ニ於テハ其ノ報酬ニ増減アリタル月ノ翌月(報酬ニ増減アリタル日カ月ノ初日ナルトキハ其ノ月)ヨリ其ノ標準報酬ヲ變更ス

船員保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ニ付テハ引續キ從前ノ標準報酬ニ依ル但シ其ノ者ノ申請ニ依リ標準報酬ヲ減額スルコトヲ得

第二項ノ規定ハ前項但書ノ規定ニ依リ標準報酬ヲ減額ス

船員保險法施行令

ル場合ニ之ヲ準用ス

第五條 第三條ニ規定スル被保險者ノ報酬月額ハ左ノ各號

ノ規定ニ依リ之ヲ算定ス

- 一 年ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬決定ノ日ノ現在ニ於ケル年額ノ十二ノ一
- 二 月ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬決定ノ日ノ現在ニ於ケル月額
- 三 日ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬決定ノ日ノ現在ニ於ケル日額ノ三十倍
- 四 前三號ノ外一定ノ期間ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬決定ノ日ノ現在ニ於ケル其ノ報酬ノ額ヲ

其ノ期間ノ日數ヲ以テ除シテ得タル額ノ三十倍
 五 歩合ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ同様ノ船舶ニ
 於テ同様ノ勞務ニ従事スル者カ通常ノ場合ニ於テ受ク
 ヘキ額ヲ標準トシテ算定シタル額
 六 前各號ノ二以上ニ該當スル報酬ヲ受クル場合ニ於テ
 ハ其ノ各ニ付前各號ノ規定ニ依リ算定シタル額ノ合算
 額
 被保險者ノ報酬月額カ前項ノ規定ニ依リ算定シ難キトキ
 又ハ前項ノ規定ニ依リテ算定シタル額カ著シク不當ナル
 トキハ前項ノ規定ニ拘ラス保險院長官ノ定ムル方法ニ依
 リ之ヲ算定ス

第六條 船員保險法第十二條第一項ノ規定ニ依リ保險料納
 付ノ督促ヲ爲サントスルトキハ保險院長官ハ納付義務者
 ニ對シ督促狀ヲ發スヘシ
 督促狀ヲ發シタルトキハ督促手数料トシテ二十錢ヲ徵收
 ス
 船員保險法第十二條第三項及第四項ノ規定中行政官廳ト
 アルハ保險料滯納者ノ住所又ハ其ノ者ノ財産ノ在ル地
 ヲ管轄スル地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下之
 ニ同シ)トス

ナルコト

二 被保險者タル組合員ニ對スル給付ノ中保險給付ニ相
 當スル給付ニ要スル費用ニ付國カ船員保險法ニ依リ國
 庫及船舶所有者トシテ爲ス負擔ト同一ノ割合ヲ下ラサ
 ル負擔ヲ爲スコト

第九條 前條ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受ケサル者ニ付テハ
 保險料ハ之ヲ徵收セス

第十條 第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合ノ組合員
 タル被保險者若ハ被保險者タリシ者カ第八條ノ規定ニ依
 リ指定シタル共濟組合ノ組合員タラサル被保險者ト爲リ
 タル場合又ハ第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合ノ
 組合員タラサル被保險者若ハ被保險者タリシ者カ第八
 條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合ノ組合員タル被保險
 者ト爲リタル場合ニ於テ必要ナル規定ハ厚生大臣之ヲ定
 ム

第十一條 管海官廳及船員法第四十五條ノ規定ニ依リ管海
 官廳ノ事務ヲ行フ市町村長又ハ之ニ準スル者ハ命令ノ定
 ムル所ニ依リ船員保險ニ關スル事務ノ一部ヲ行フ

第二章 被保險者

第十二條 漁船ニ乗組ム船員ニシテ左ニ掲クル者以外ノ者

船員保險法施行令

第七條 前條ノ規定ニ依リ督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ徵
 收金額百圓ニ付一日三錢ノ割合ヲ以テ納期限ノ翌日ヨリ
 徵收金完納又ハ財産差押ノ日ノ前日迄ノ日數ニ依リ計算
 シタル延滞金ヲ徵收ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合
 又ハ滯納ニ付酌量スヘキ情狀アリト認ムル場合ハ此ノ限
 ニ在ラス

- 一 納入ノ告知書一通ノ徵收金額十圓未滿ナルトキ
- 二 納期ヲ繰上ケ徵收ヲ爲ストキ
- 三 納付義務者ノ住所及居所カ帝國内ニ在ラサル爲又ハ
 其ノ住所及居所共ニ不明ナル爲公示送達ノ方法ニ依リ
 納入ノ告知又ハ督促ヲ爲シタルトキ

督促狀ニ指定シタル期限迄ニ徵收金及督促料ヲ完納シタ
 ルトキハ延滞金ヲ徵收セス
第八條 國カ船舶所有者タル船舶ニ乗組ム被保險者カ厚生
 大臣ノ指定シタル共濟組合ヨリ保險給付ニ相當スル給付
 ヲ受クルトキハ其ノ者ニ對シテハ保險給付ヲ爲サス
 前項ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ指定スル共濟組合ハ左ノ要
 件ヲ具フルモノニ限ル
 一 被保險者タル組合員ニ對スル給付ノ種類カ保險給付
 ノ種類ヲ包含シ且其ノ給付カ同種ノ保險給付ト同程度

ハ船員保險法第十七條第三號ノ規定ニ依リ被保險者タラ
 サルモノトス

- 一 汽船「トロール」漁業、母船式漁業、汽船捕鯨業又
 ハ機船底曳網漁業(東經百三十度以東ノ海面ヲ操業區
 域トスルモノヲ除ク)ニ従事スル漁船ニ乗組ム船員但
 シ母船式蟹漁業又ハ母船式鮭鱒漁業ニ従事スル附屬漁
 船ニ乗組ム船員ヲ除ク
- 二 専ラ漁獵場ヨリ漁獲物又ハ其ノ化製品ヲ運搬スル業
 務ニ従事スル漁船ニ乗組ム船員
- 三 漁業ニ關スル試験、調査、指導、練習又ハ取締業務
 ニ従事スル漁船ニ乗組ム船員但シ臨時ニ雇傭セララル
 船員ヲ除ク

第十三條 十年以上十五年未滿被保險者タリシ者カ被保險
 者タラサルニ至リタル場合ニ於テ其ノ資格ヲ喪失シタル
 日ヨリ三月以内ニ船員保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保
 險者タラントスル申請ヲ爲ストキハ繼續シテ被保險者ト
 爲ルコトヲ得

前項ニ規定スル期限ヲ經過シタル申請ト雖モ保險院長官
 ニ於テ正當ノ事由アリト認ムルトキハ之ヲ受理スルコト
 ヲ得

第一項ノ申請ヲ爲シタル者カ初テ納付スヘキ保険料ニ付
第十四條第一號ニ掲クル事實アリタルトキハ繼續シテ其
ノ被保險者ト爲ラサリシモノト看做ス

第十四條 船員保險法第二十一條第一項ニ規定スル事由ハ
左ノ如シ

- 一 保険料ヲ滯納シ船員保險法第十二條第一項ノ規定ニ
依ル指定ノ期限迄ニ其ノ保険料ヲ納付セサルトキ
- 二 船員保險法第十七條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲リタ
ルトキ
- 三 船員保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ資格ヲ
喪失セントスル申請ヲ爲シタルトキ

第三章 保險給付

第十五條 船員保險法第三十六條、第三十七條若ハ第四十
二條ノ規定ニ依ル一時金又ハ死亡手當金ヲ受クヘキ者ハ
被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ配偶者（届出ヲ爲ササ
ルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル者ヲ含ム以下之
ニ同シ）トシ配偶者ナキ場合ニ於テハ被保險者又ハ被保
險者タリシ者ノ死亡當時之ト同一ノ家ニ在リタル被保險
者又ハ被保險者タリシ者ノ直系卑屬又ハ直系尊屬トシ其
ノ順位ハ親等ノ近キ者ヲ先ニシ卑屬ト尊屬ト親等相同シ

- 二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ兄弟姉妹ニシテ被
保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時之ト同一ノ家
ニ在リタルモノ
- 三 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時其ノ者ニ
依リ生計ヲ維持シタル者

第十八條 船員保險法第二十八條第一項ノ療養ノ給付ノ範
圍ハ左ノ如シ

- 一 診 察
 - 二 藥劑又ハ治療材料ノ支給
 - 三 處置、手術其ノ他ノ治療
 - 四 看 護
 - 五 移 送
- 前項第三號ノ給付ハ緊急ノ場合其ノ他地方長官カ必要ア
リト認ムル場合ヲ除クノ外之ニ要スル費用一回二十圓以
下ノモノニ限ル
- 第一項第四號及第五號ノ給付ハ地方長官カ必要アリト認
ムルモノニ限ル

第十九條 前條第一項第一號乃至第三號ノ給付ニ付テハ被
保險者又ハ被保險者タリシ者ハ地方長官ノ指定シタル醫
師又ハ齒科醫師中自己ノ選定シタル者ニ就キ之ヲ受クル

船員保險法施行令

キトキハ卑屬ヲ先ニス

第十六條 前條ニ定メタル同順位者ノ間ニ在リテハ其ノ順
位ハ左ノ規定ニ依ル

- 一 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ家督相續人（之ニ
準スヘキ者ヲ含ム以下之ニ同シ）又ハ戸主ハ之ヲ他ノ
者ヨリ先ニス
- 二 男ハ之ヲ女ヨリ先ニス
- 三 直系卑屬ニ付テハ男又ハ女ノ間ニ在リテハ嫡出子ヲ
先ニシ嫡出子、庶子及私生子ノ間ニ在リテハ嫡出子及
庶子ハ女ト雖モ之ヲ私生子ヨリ先ニス
- 四 前二號ニ掲クル事項ニ付相同シキ者ノ間ニ在リテハ
年長者ヲ先ニス

第十七條 第十五條ノ規定ニ該當スル者ナキ場合ニ於テハ
左ニ掲クル順位ニ依リ船員保險法第三十六條、第三十七
條若ハ第四十二條ノ規定ニ依ル一時金又ハ死亡手當金ヲ
支給ス但シ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ遺言又ハ保
險院長官ニ對シテ爲シタル豫告ニ依リ左ニ掲クル者ノ中
一人ヲ特ニ指定シタルトキハ之ニ從フ

一 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ家督相續人又ハ戸
主

コトヲ得但シ船員保險法第二十八條第三項ノ規定ニ依リ
診療所ニ收容セラレタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

被保險者タリシ者カ前項ノ規定ニ依リ醫師又ハ齒科醫師
ヲ選定シタルトキハ地方長官ノ承認アリタル場合ヲ除ク
ノ外之ヲ變更スルコトヲ得ズ

第二十條 前條ニ規定スル醫師又ハ齒科醫師カ處方箋ヲ交
付シタルトキハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ地方長
官ノ指定シタル藥劑師中自己ノ選定シタル者ニ就キ藥劑
ヲ受クルコトヲ得

第二十一條 被保險者タリシ者ハ左ノ各號ニ規定スル期間
内ニ療養ノ給付ヲ受ケサルトキハ爾後之ヲ受クルコトヲ
得ス但シ船員法第十七條又ハ第三十條ノ規定ニ依リ送還
セララル場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ已ムコト
ヲ得サルモノト認メラルトキハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 船員法第十七條又ハ第二十九條ノ規定ニ依ル扶助ヲ
受クヘキ場合ニ於テハ之ヲ受クルコトヲ得ヘキ期間ヲ
經過シタル日以後十日以内
- 二 船員法第十七條又ハ第二十九條ノ規定ニ依ル扶助ヲ
受クルコトヲ得サル者カ被保險者タリシ期間中療養ノ
給付ヲ受ケサリシ場合ニ於テハ被保險者タル資格ヲ喪

失シタル日後十日以内

第二十二條 報酬年額千八百圓ヲ超ユル被保險者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ又ハ被保險者ノ資格喪失當時報酬年額千八百圓ヲ超ユル被保險者タリシ者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シタルモノニハ船員保險法第二十八條第二項ノ規定ニ依リ療養ノ給付ヲ爲サス

- 一 事務長
- 二 醫師
- 三 無線通信士
- 四 通譯
- 五 船舶職員以外ノ運轉士又ハ機關士ニシテ海技免狀ヲ有スルモノ
- 六 其ノ他厚生大臣ニ於テ前各號ノ者ニ準スト認ムル者

第二十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ船員保險法第二十九條ノ規定ニ依リ療養ノ給付ニ代ヘテ療養費ヲ支給スルコトヲ得

- 一 地方長官ニ於テ療養ノ給付ヲ爲スコト困難ナリト認メタルトキ
- 二 被保險者又ハ被保險者タリシ者カ地方長官ノ承認ヲ受ケ其ノ指定セサル醫師又ハ齒科醫師ノ診療ヲ受ケタ

第二十八條 船員保險法第四十條ノ規定ニ依リ癡疾年金ヲ支給スヘキ程度ノ癡疾ノ状態ハ別表第一ニ該當スルコトヲ要シ癡疾手當金ヲ支給スヘキ程度ノ癡疾ノ状態ハ別表第二ニ該當スルコトヲ要ス

第二十九條 第二十六條ノ規定ハ船員保險法第五十三條第二項ニ掲グル者ニ對シ支給スヘキ傷病手當金ニ之ヲ準用ス

第三十條 詐欺其ノ他不正ノ行爲ニ依リ保險給付ヲ受ケ又ハ受ケントシタル者ニ對シテハ保險院長官ハ六月以内ノ期間ヲ定メ其ノ者ニ支給スヘキ傷病手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セサル旨ノ決定ヲ爲スコトヲ得但シ詐欺其ノ他不正ノ行爲アリタル日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ決定ハ保險院長官ニ於テ其ノ事實ヲ知りタルトキ遲滞ナク之ヲ爲シ本人ニ通知スヘシ

第三十一條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ對シ内地以外ノ地ニ於テ療養ノ給付ヲ爲ス場合ニ於テハ第十八條第二項、第三項、第十九條、第二十條、第二十三條及第二十四條中地方長官トアルハ保險院長官トス但シ事務ノ共助ヲ爲ス場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ必要アルトキハ命令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

船員保險法施行令

ル場合ニ於テ其ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ申請アリタルトキ

三 被保險者又ハ被保險者タリシ者カ緊急ノ場合ニ於テ地方長官ノ指定セサル醫師、齒科醫師其ノ他ノ者ノ手當ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ申請アリタルトキ

第二十四條 前條ノ規定ニ依リ支給スル療養費ノ額ハ療養ノ給付ヲ爲ス場合ニ要スル額ヲ標準トシテ地方長官之ヲ定ム

第二十五條 第二十二條ノ規定ハ船員保險法第三十條第二項ノ規定ニ依リ傷病手當金ヲ支給セサル場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條 船員保險法第二十八條第三項ノ規定ニ依リ診療所ニ收容シタル被保險者タリシ者ニ對シ支給スヘキ傷病手當金ハ專ラ其ノ者ニ依リ生計ヲ維持スル者ナキ場合ニ於テハ標準報酬日額ノ百分ノ二十ニ相當スル金額トス

第二十七條 船員保險法第四十條ノ規定ニ依リ期間ハ船員保險法第二十八條第二項ニ規定スル者ニ付テハ被保險者ノ資格喪失ノ日ヨリ九月トシ其ノ他ノ者ニ付テハ療養ノ給付ヲ受クルコトヲ得ヘキ期間トス

第四章 費用ノ負擔

第三十二條 保險料額ハ毎月ニ付船員保險法第二十二條第一項及第二項ノ規定ニ依リ計算シタル被保險者タリシ期間カ一月ナルトキハ被保險者ノ標準報酬月額ニ保險料率ヲ乘シテ得タル額トシ半月ナルトキハ被保險者ノ標準報酬月額ニ保險料率ヲ乘シテ得タル額ノ半額トス

被保險者ノ資格ヲ取得シタル月ニ於テ其ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ於ケル其ノ月分ノ保險料額ハ被保險者ノ標準報酬月額ニ保險料率ヲ乘シテ得タル額ノ半額トス

保險料率ハ厚生大臣之ヲ定ム

第三十三條 船員保險法第二十條ノ規定ニ依リ被保險者ノ其ノ被保險者ト爲リタル月ノ保險料額ハ前條ノ例ニ依リ之ヲ算定ス

第三十四條 船舶所有者ハ被保險者ニ對シ金錢ヲ以テ報酬ヲ支拂フ場合ニ於テハ船員保險法第六十二條ノ規定ニ依リ被保險者ノ負擔スヘキ前月分ノ保險料(支拂フ報酬カ二月以上ノ期間ニ對スルモノナルトキハ其ノ期間ニ係ル保險料)ヲ其ノ報酬ヨリ控除スルコトヲ得被保險者ヲ雇傭セサルニ至リタル場合ニ於テハ其ノ月分ノ保險料ヲモ控除スルコトヲ得

第三十五條 船舶所有者ハ保險料ノ控除ニ關スル計算書ヲ作製シ被保險者ノ請求ニ應ジテ閱覽セシムヘシ

第三十六條 毎月ノ保險料ハ翌月末日迄ニ之ヲ納付スヘシ但シ船員保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ納付スヘキ保險料ニ付テハ厚生大臣ニ於テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

保險院長官ハ保險料納人ノ告知ヲ爲シタル後ニ於テ告知シタル保險料額カ當該納付義務者ノ納付スヘキ保險料額ヲ超過スルコトヲ知リタルトキハ其ノ超過部分ニ對スル納人ノ告知ハ其ノ告知ヲ爲シタル後六月以内ノ期日ニ於テ納付セラルヘキ保險料ニ對シ納期ヲ繰上ケ之ヲ爲シタルモノト看做スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ納期ヲ繰上ケ納人ノ告知ヲ爲シタルモノト看做シタルトキハ保險院長官ハ其ノ旨ヲ當該納付義務者ニ通知スヘシ

第三十七條 保險料納付義務者カ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ納期前ト雖モ保險料ハ總テ之ヲ徵收スルコトヲ得
一 國稅、府縣稅其ノ他ノ公課ノ滯納ニ因リ滯納處分ヲ受クルトキ
二 強制執行ヲ受クルトキ

ヲ以テ之ニ充ツ

一 官吏、公吏又ハ學識經驗アル者 三人

二 被保險者ヲ雇傭スル船舶所有者 三人

三 被保險者側ヲ代表シ得ル者 三人

第二次船員保險審査會ノ委員ハ左ニ掲クル者ヲ以テ之ニ充ツ

一 官吏、公吏又ハ學識經驗アル者 五人

二 被保險者ヲ雇傭スル船舶所有者 五人

三 被保險者側ヲ代表シ得ル者 五人

第一項第一號ノ規定ニ依ル委員中一人ハ其ノ審査會ノ所在地ヲ管轄スル地方長官トス

第二項及第二項ニ於テ被保險者ヲ雇傭スル船舶所有者トアルハ船舶所有者カ國ナル場合ニ於テハ關係官吏トシ公團體ナル場合ニ於テハ關係官吏、其ノ他ノ法人ナル場合ニ於テハ業務ヲ執行スル社員若ハ役員又ハ支配人トス

第四十三條 主トシテ船員保險ノ事務ニ従事スル官吏ハ船員保險審査會ノ委員タルコトヲ得ス
船員保險審査會ノ委員ハ他ノ船員保險審査會ノ委員ヲ兼ヌルコトヲ得ス

三 破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ

四 競賣ノ開始アリタルトキ

五 法人カ解散ヲ爲シタルトキ

前項ノ規定ハ被保險者ノ乗組ム船舶ニ付船舶所有者ノ變更アリタル場合及被保險者ノ乗組ム船舶カ滅失シ、沈没シ又ハ全ク運航ニ堪ヘサルニ至リタル場合ニ之ヲ準用ス

第五章 船員保險審査會

第一節 組織

第三十八條 船員保險審査會ハ厚生大臣ノ監督ニ屬シ船員保險法第六十三條及第六十五條ノ審査ヲ爲ス

第三十九條 船員保險審査會ハ第一次船員保險審査會及第二次船員保險審査會トス

第一次船員保險審査會ノ管轄區域ハ厚生大臣之ヲ定メ第二次船員保險審査會ノ管轄區域ハ内地ノ區域トス

船員保險審査會ノ名稱及位置ハ厚生大臣之ヲ定ム

第四十條 船員保險審査會ハ會長及委員ヲ以テ之ヲ組織ス

第四十一條 第一次船員保險審査會ノ會長ハ其ノ審査會ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ以テ第二次船員保險審査會ノ會長ハ保險院長官ヲ以テ之ニ充ツ

第四十二條 第一次船員保險審査會ノ委員ハ左ニ掲クル者

第四十四條 第一次船員保險審査會ノ委員ハ第四十二條第三項ノ規定ニ依ル地方長官タル委員ヲ除クノ外厚生大臣之ヲ命シ第二次船員保險審査會ノ委員ハ厚生大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス

第四十五條 委員ノ任期ハ官吏又ハ公吏トシテ委員タル者ヲ除クノ外三年トス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中之ヲ解任スルコトヲ妨ケス

第四十六條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
會長事故アルトキハ第一次船員保險審査會ニ在リテハ其ノ審査會ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ノ、第二次船員保險審査會ニ在リテハ厚生大臣ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス

第四十七條 船員保險審査會ニ幹事ヲ置ク
第一次船員保險審査會ノ幹事ハ其ノ審査會ノ所在地ヲ管轄スル廳府縣(東京府ヲ除ク以下之ニ同シ)ノ官吏中ヨリ厚生大臣之ヲ命シ第二次船員保險審査會ノ幹事ハ厚生大臣ノ奏請ニ依リ厚生部内ノ高等官中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ス

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス
第四十八條 船員保險審査會ニ書記ヲ置ク

第一次船員保險審査會ノ書記ハ其ノ審査會ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ニ於テ當該廳府縣ノ判任官中ヨリ之ヲ命シ第二次船員保險審査會ノ書記ハ保險院ノ判任官中ヨリ厚生大臣之ヲ命ス

第二節 審査ノ手續

第四十九條 保險給付ニ關スル決定ニ不服アル者ハ第一次船員保險審査會ニ審査ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ保險給付ニ關スル申請又ハ請求ヲ地方長官カ受取リタルモノニ付テハ其ノ地方長官ノ管轄區域ヲ管轄スル第一次船員保險審査會ニ、其ノ保險給付ニ關スル申請又ハ請求ヲ地方長官以外ノモノカ受取リタルモノニ付テハ厚生大臣ノ指定スル第一次船員保險審査會ニ之ヲ爲スヘシ

第五十條 審査ハ委員定數ノ半數以上出席シ且第四十二條第一項又ハ第二項各號ノ委員各一人以上出席スルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス但シ同一ノ事件ニ付招集再回ニ及フ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十一條 審査ハ出席委員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第五十二條 審査ハ文書ニ就キ之ヲ爲ス但シ必要アリト認

得

第五十五條 關係官吏ハ船員保險審査會ノ請求ニ依リ又ハ其ノ承認ヲ受ケ會議ニ出席シ意見ヲ述ワルコトヲ得

第五十六條 事件ノ一部カ審査ノ決定ヲ爲スニ熟スルトキハ其ノ部分ニ付先ツ決定ヲ爲スコトヲ得

第五十七條 審査ノ決定ハ理由ヲ附シ文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第五十八條 審査請求人カ審査ノ決定前ニ死亡シタルトキハ其ノ承繼人ニ於テ審査請求手續ヲ受繼クモノトス

第五十九條 本節ニ規定スルモノノ外審査ニ關シ必要ナル事項ハ厚生大臣之ヲ定ム

第六章 朝鮮及臺灣ニ關スル特例

第六十條 朝鮮及臺灣ニ於ケル船員保險法ノ施行ニ關シテハ本章ノ規定竝ニ本章ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外第一章乃至第四章及第七章ノ規定ニ依ル

第六十一條 船員保險法中國稅徵收法トアルハ朝鮮ニ在リテハ國稅徵收令ニ於テ依ルコトヲ定メタル國稅徵收法、臺灣ニ在リテハ臺灣國稅徵收規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル國稅徵收法トス

同法中主務大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣

船員保險法施行令

ムルトキハ口頭審問ヲ爲スコトヲ妨ケス
前項但書ノ規定ニ依リ口頭審問ヲ爲ス爲出頭ヲ命セラレタル場合ニ於テ已ムコトヲ得サル事故ノ爲出頭スルコトヲ得サルトキハ當事者ハ其ノ法定代理人、親族又ハ同居者ヲシテ代リテ出頭セシムルコトヲ得

口頭審問ノ爲出頭シタル當事者及之ニ代リテ出頭シタル者ニ對シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅費ヲ給スルコトヲ得

第五十三條 審査ノ請求アリタル場合ニ於テ其ノ事件カ審査ノ請求ヲ爲スヘカラザルモノナルトキ又ハ審査ノ請求カ適法ノ手續ニ違反シタルモノナルトキハ船員保險審査會ハ決定ヲ以テ之ヲ却下スヘシ

審査ノ請求アリタル場合ニ於テ其ノ事件カ管轄違ナルトキハ之ヲ所轄船員保險審査會ニ移送スヘシ
審査ノ請求ニシテ手續ノ方式ニ欠缺アルモノハ船員保險審査會之ヲ補正セシムヘシ

第五十四條 審査ハ之ヲ公開セス但シ口頭審問ハ之ヲ公開ス

口頭審問ヲ爲ス場合ニ於テ議長必要アリト認ムルトキハ前項但書ノ規定ニ拘ラス傍聽ヲ制限又ハ禁止スルコトヲ

ニ在リテハ臺灣總督トシ北海道、府縣トアルハ朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州又ハ廳トシ市町村トアルハ朝鮮ニ在リテハ府邑面、臺灣ニ在リテハ市街庄トシ市町村稅トアルハ朝鮮ニ在リテハ府邑面稅、臺灣ニ在リテハ市街庄稅トス

同法中民法又ハ船員法トアルハ朝鮮ニ在リテハ各朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法又ハ朝鮮船員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法トス

第六十二條 本令中厚生大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督トシ保險院長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督府遞信局長、臺灣ニ在リテハ臺灣總督府交通局長トシ府縣稅トアルハ朝鮮ニ在リテハ道稅、臺灣ニ在リテハ州廳稅トス

本令中地方長官トアルハ第六條第三項ノ場合ハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長トシ其ノ他ノ場合ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督府遞信局長、臺灣ニ在リテハ臺灣總督府交通局長トス

第十一條中及船員法第四十五條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長又ハ之ニ準スル者トアルハ朝鮮ニ在リテハ竝ニ郵便局長及郵便所長トシ同條中市町村長又ハ

之ニ準スル者トアルハ臺灣ニ在リテハ市尹又ハ街庄長ト
ス
第三十一條中内地トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮、臺灣ニ
在リテハ臺灣トス

本令中船員法又ハ第十二條第一號中機船底曳網漁業（東
經百三十度以東ノ海面ヲ操業區域トスルモノヲ除ク）ト
アルハ朝鮮ニ在リテハ各朝鮮船員令ニ於テ依ルコトヲ定
メタル船員法又ハ朝鮮總督ノ指定スル機船底曳網漁業ト
ス

第六十三條 保險給付ニ關スル決定ニ不服アル者ハ朝鮮ニ
在リテハ朝鮮船員保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ
不服アルトキハ朝鮮總督府裁判所ニ訴ヲ提起シ臺灣ニ在
リテハ臺灣船員保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不
服アルトキハ臺灣總督府法院ニ訴ヲ提起スルコトヲ得
前項ノ審査ノ請求ハ時効ノ中斷ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ
請求ト看做ス

第六十四條 保險料其ノ他船員保險法ニ依ル徵收金ノ賦課
若ハ徵收ノ處分又ハ同法第十二條ノ規定ニ依ル處分ニ不
服アル者ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督ニ裁決ノ申請ヲ爲シ
臺灣ニ在リテハ臺灣總督ニ訴願スルコトヲ得

第六十八條 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ハ
各會長及委員ヲ以テ之ヲ組織ス

第六十九條 朝鮮船員保險審査會ノ會長ハ朝鮮總督府通信
局長ヲ以テ、臺灣船員保險審査會ノ會長ハ臺灣總督府交
通局長ヲ以テ之ニ充ツ

第七十條 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ノ委
員ハ各左ニ掲クル者ヲ以テ之ニ充ツ

- 一 官吏、公吏又ハ學識經驗アル者 三人
- 二 被保險者ヲ雇傭スル船舶所有者 三人
- 三 被保險者側ヲ代表シ得ル者 三人

前項ニ於テ被保險者ヲ雇傭スル船舶所有者トアルハ船舶
所有者カ國ナル場合ニ於テハ關係官吏トシ公共團體ナル
場合ニ於テハ關係官吏、其ノ他ノ法人ナル場合ニ於テ
ハ業務ヲ執行スル社員若ハ役員又ハ支配人トス

第七十一條 朝鮮船員保險審査會ノ委員ハ朝鮮總督ノ、臺
灣船員保險審査會ノ委員ハ臺灣總督ノ奏請ニ依リ内閣ニ
於テ之ヲ命ス

第七十二條 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ノ
會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル會長事故アルトキ
ハ朝鮮船員保險審査會ニ在リテハ朝鮮總督ノ、臺灣船員

船員保險法施行令

第六十五條 保險料其ノ他船員保險法ニ依ル徵收金ノ賦課
又ハ徵收ノ處分ニ關シ裁決ノ申請アリタルトキハ朝鮮總
督ハ朝鮮船員保險審査會ノ審査ヲ經テ裁決シ訴願ノ提起
アリタルトキハ臺灣總督ハ臺灣船員保險審査會ノ審査ヲ
經テ裁決ヲ爲スヘシ

第六十六條 第六十三條第一項ノ審査ノ請求若ハ訴ノ提起
又ハ第六十四條ノ裁決ノ申請若ハ訴願ノ提起ハ處分ノ通
知又ハ決定書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ
爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ朝鮮ニ在リテハ審査ノ請求ニ付宥想ス
ヘキ事由アリト認ムルトキハ期限經過後ニ於テモ仍之ヲ
受理スルコトヲ得ルモノトシ訴ノ提起ニ付テハ朝鮮民事
令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民事訴訟法第五百十八條第
二項及第五百十九條ノ規定ヲ準用ス

第一項ノ場合ニ於テ臺灣ニ在リテハ審査ノ請求ニ付テハ
訴願法第八條第三項ノ規定ヲ、訴ノ提起ニ付テハ民事訴
訟法第五百十八條第二項及第五百十九條ノ規定ヲ準用ス
第六十七條 朝鮮船員保險審査會ハ朝鮮總督ノ、臺灣船員
保險審査會ハ臺灣總督ノ監督ニ屬シ第六十三條及第六十
五條ノ審査ヲ爲ス

保險審査會ニ在リテハ臺灣總督ノ指名シタル委員其ノ職
務ヲ代理ス

第七十三條 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ニ
幹事ヲ置ク朝鮮船員保險審査會ニ在リテハ朝鮮總督ノ奏
請ニ依リ朝鮮總督府通信官署ノ高等官中ヨリ、臺灣船員
保險審査會ニ在リテハ臺灣總督ノ奏請ニ依リ臺灣總督府
交通局ノ高等官中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ス

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス
第七十四條 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ニ
書記ヲ置ク朝鮮船員保險審査會ニ在リテハ朝鮮總督府通
信官署ノ判任官中ヨリ朝鮮總督之ヲ命シ臺灣船員保險審
査會ニ在リテハ臺灣總督府交通局ノ判任官中ヨリ臺灣總
督之ヲ命ス

書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ従事ス
第七十五條 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ノ
審査ハ委員定數ノ半數以上出席シ且第七十條第一項各號
ノ委員各一人以上出席スルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得
ス但シ同一ノ事件ニ付招集再回ニ及フ場合ハ此ノ限ニ在
ラス

第七十六條 第四十三條第一項、第四十五條、第五十一條、

第五十二條、第五十三條第一項第三項及第五十四條乃至第五十八條ノ規定ハ朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ニ之ヲ準用ス

第七十七條 本章ニ規定スルモノノ外審査ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督之ヲ定ム

第七章 雜 則

第七十八條 一ノ地域(内地、朝鮮又ハ臺灣トス以下之ニ同シ)ニ於テ船員保險ノ被保險者タリシ期間ヲ計算スル場合ニ於テ其ノ者カ他ノ地域(内地、朝鮮若ハ臺灣ノ中當該地域以外ノモノ又ハ關東州トス以下之ニ同シ)ノ船員保險ノ被保險者タリシ者ナルトキハ其ノ被保險者タリシ期間ハ之ヲ當該地域ニ於テ船員保險ノ被保險者タリシ期間ト看做ス

第七十九條 一ノ地域ノ船員保險ノ被保險者カ其ノ資格ヲ喪失スヘキ原因タル事實ノ發生シタル日ニ於テ更ニ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ其ノ日ヨリ當該地域ノ船員保險ノ被保險者ノ資格ヲ喪失ス

第八十條 船員保險法第二十三條ノ規定ニ依リ一ノ地域ノ船員保險ノ被保險者カ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲

他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ當該地域ニ於テハ其ノ月ヨリ養老年金ノ支給ヲ爲サス

第八十五條 船員保險法第三十九條第二項及第三項ノ規定ハ一ノ地域ニ於テ當該地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタル爲前條ノ規定(關東州ニ在リテハ之ニ相當スル法令)ノ規定ニ依リ他ノ地域ノ船員保險ノ養老年金ノ支給ヲ爲サレサルニ至リタル者カ其ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ之ヲ準用ス

第八十六條 一ノ地域ノ船員保險ノ被保險者タリシ者カ其ノ資格喪失後一年六月以内ニ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ當該地域ニ於テハ脱退手當金ノ支給ヲ爲サス但シ其ノ者カ癱疾手當金ヲ受クル權利ヲ有スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八十七條 一ノ地域ノ船員保險ノ被保險者タリシ者カ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタル後死亡シタルトキハ當該地域ニ於テハ死亡手當金ノ支給ヲ爲サス

第八十八條 他ノ地域ニ於ケル第八條ノ規定(關東州ニ在リテハ之ニ相當スル法令ノ規定)ニ依リ指定シタル共濟組合ノ組合員タル被保險者又ハ被保險者タリシ者カ一ノ地域ニ於ケル第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合ノ

船員保險法施行令

リタルトキハ當該地域ニ於テハ其ノ資格ヲ喪失ス

第八十一條 一ノ地域ニ於テ疾病又ハ負傷ニ關シ療養ノ給付又ハ船員法第十七條若ハ第二十九條ノ規定ニ依ル船舶所有者ノ扶助ヲ受クル者カ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ當該地域ニ於テハ當該疾病又ハ負傷ニ關シ療養ノ給付ヲ爲サス

第八十二條 疾病又ハ負傷ニ關シ他ノ地域ニ於テ療養ノ給付ヲ受クル者カ一ノ地域ニ於テ當該地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタル場合ニ於テ當該疾病又ハ負傷ニ關シ療養ノ給付ヲ爲ストキハ他ノ地域ノ船員保險ニ於テ當該疾病又ハ負傷ニ關シ療養ノ給付ヲ始メタル日ヲ當該地域ノ船員保險ニ於テ當該疾病又ハ負傷ニ關シ療養ノ給付ヲ始メタル日ト看做ス

第八十三條 疾病又ハ負傷ニ關シ他ノ地域ニ船籍港ヲ定ムル船舶ノ所有者ヨリ船員法(關東州船員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル場合ヲ含ム)第十七條又ハ第二十九條ノ規定ニ依リ扶助ヲ受クル者カ一ノ地域ニ於テ當該地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ當該疾病又ハ負傷ニ關シテハ船員保險法第三十三條ノ規定ヲ準用ス

第八十四條 一ノ地域ニ於テ養老年金ノ支給ヲ受クル者カ

組合員タラサル被保險者ト爲リタル場合ニ於テ必要ナル規定ハ一ノ地域カ内地ナルトキハ厚生大臣、朝鮮ナルトキハ臺灣總督、臺灣ナルトキハ臺灣總督之ヲ定ム

附 則

本令ハ昭和十五年三月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ハ船員保險法中保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十五年五月一日ニ於テ現ニ被保險者ノ資格ヲ有スル者ニ對スル標準報酬ハ第四條第一項ノ規定ニ拘ラス同日ノ現在ニ依リ之ヲ定ム但シ其ノ者カ昭和十五年五月二日以後ニ於テ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル後更ニ被保險者ノ資格ヲ取得シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

船員保險法附則第二項中勅令ヲ以テ指定スル日トハ船員保

險法中保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定施行ノ目トス
 船員保險法附則第二項ノ規定ニ依リ支給スヘキ船退手當金
 ハ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ニ別表第三ニ定ム
 ル月數ヲ乘シテ得タル金額トス但シ癱疾手當金ノ支給ヲ受
 クル者ニ支給スヘキ額ハ癱疾手當金ノ額ト合算シテ被保險
 者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ十五月分ニ相當スル金額
 ヲ超ユルコトヲ得ス

前十五年間ニ於テ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲ルヘ
 キ資格ヲ有スル船員トシテ船舶ニ乘組ミタル者ノ其ノ乘組
 ミタル期間ハ其ノ者カ一ノ地域ニ於テ當該地域ノ船員保險
 ノ被保險者ト爲リタルトキハ之ヲ當該地域ノ船員保險ニ於
 テハ同日前十五年間ニ於テ當該地域ノ船員保險ノ被保險者
 ト爲ルヘキ資格ヲ有スル船員トシテ船舶ニ乘組ミタル期間
 ト看做シ同法附則第二項ノ規定ヲ適用ス

船員保險法中保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定施行ノ日
 別表第一

番號	癱疾年金ヲ支給スヘキ程度ノ癱疾ノ狀態
一	兩眼ノ視力〇・一以下ニ減シタルモノ又ハ一眼失明シ他眼ノ視力〇・三以下ニ減シタルモノ
二	咀嚼若ハ言語ノ機能ヲ癱シタルモノ又ハ咀嚼若ハ言語ノ機能ニ著シキ障害ヲ殘スモノ
三	兩耳ノ聽力耳殼ニ接セサレハ大聲ヲ解シ得サルモノ
四	脊柱ニ著シキ畸形又ハ運動障害ヲ殘スモノ
五	一上肢ヲ腕關節以上ニテ失ヒタルモノ又ハ十指ヲ失ヒタルモノ
六	一上肢ノ三大關節ノ中ニ關節以上ノ用ヲ癱シタルモノ又ハ十指ヲ癱シタルモノ
七	一下肢ヲ足關節以上ニテ失ヒタルモノ又ハ十趾ヲ失ヒタルモノ
八	一下肢ノ三大關節ノ中ニ關節以上ノ用ヲ癱シタルモノ
九	胸腹部臟器ノ機能ニ著シキ障害ヲ殘シ終身勞務ニ服スルコト能ハサルモノ

備考

- 十 精神又ハ神經系統ノ機能ニ著シキ障害ヲ殘シ終身勞務ニ服スルコト能ハサルモノ
- 十一 以上各號ニ該當セサルモノト雖モ疾病又ハ負傷ニ因リ終身勞務ニ服スルコト能ハサルモノ
- 一 視力ノ測定ハ萬國式視力表ニ依ル屈折異狀アルモノニ付テハ矯正視力ニ付測定ス
- 二 指ヲ失ヒタルモノトハ拇指ハ指關節、其ノ他ノ指ハ第一指關節以上ヲ失ヒタルモノヲ謂フ
- 三 指ノ用ヲ癱シタルモノトハ指ノ末節ノ半以上ヲ失ヒ又ハ掌指關節若ハ第一指關節（拇指ニ在リテハ指關節）ニ著シキ運動障害ヲ殘スモノヲ謂フ
- 四 趾ヲ失ヒタルモノトハ其ノ全部ヲ失ヒタルモノヲ謂フ
- 五 趾ノ用ヲ癱シタルモノトハ第一趾ハ末節ノ半以上其ノ他ノ趾ハ末關節以上ヲ失ヒタルモノ又ハ蹠趾關節若ハ第一趾關節（第一趾ニ在リテハ趾關節）ニ著シキ運動障害ヲ殘スモノヲ謂フ

別表第二

番號	癱疾手當金ヲ支給スヘキ程度ノ癱疾ノ狀態
一	兩眼ノ視力〇・六以下ニ減シタルモノ又ハ一眼ノ視力〇・一以下ニ減シタルモノ
二	兩眼ニ半盲症視野狹窄若ハ視野變狀ヲ殘スモノ又ハ兩眼ノ眼瞼ニ著シキ缺損ヲ殘スモノ
三	鼻ヲ缺損シ其ノ機能ニ著シキ障害ヲ殘スモノ
四	咀嚼又ハ言語ノ機能ニ障害ヲ殘スモノ
五	兩耳ノ聽力四十糧以上ニテハ尋常ノ話聲ヲ解シ得サルモノ又ハ一耳ノ聽力耳殼ニ接セサレハ大聲ヲ解シ得サルモノ
六	頸部ニ著シキ運動障害ヲ殘スモノ

船員保險法施行令

船員保險法施行規則

(昭和十五年二月
厚生省令第五號)

第一章 被保險者

第一節 被保險者ノ乗組ム船舶

第一條 被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有(共有及借入ヲ含ム以下之ニ同シ)スルニ至リタルトキ又ハ所有スル船舶カ被保險者ノ乗組ム船舶ト爲リタルトキハ船舶所有者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スヘシ但シ第三條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

- 一 船舶所有者ノ氏名及住所(船舶所有者カ法人ナルトキハ名稱及主タル事務所ノ所在地以下之ニ同シ)
- 二 船舶ノ名稱及種類
- 三 船舶番號
- 四 船舶港
- 五 船舶ノ用途
- 六 船舶ノ總噸數
- 七 船舶ノ航行區域(漁船ニ在リテハ業務ノ種類)

- 八 常時ニ於ケル乗組員ノ概數
- 九 當該船舶ニ乗組ム被保險者ニ關スル保險料納入告知書ノ送付先ニ關スル希望
- 十 被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有スルニ至リタル年月日及事由又ハ所有スル船舶カ被保險者ノ乗組ム船舶ト爲リタル年月日及事由

第二條 被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有セサルニ至リタルトキハ船舶所有者タリシ者所有スル船舶カ被保險者ノ乗組ム船舶ニ非サル船舶ト爲リタルトキハ船舶所有者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スヘシ但シ第三條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スヘキ者アル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

- 一 船舶所有者タリシ者又ハ船舶所有者ノ氏名及住所
 - 二 船舶ノ名稱及種類
 - 三 船舶番號
 - 四 被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有セサルニ至リタル年月日及事由又ハ所有スル船舶カ被保險者ノ乗組ム船舶ニ非サル船舶ト爲リタル年月日及事由
- 第三條 相續其ノ他ノ包括承繼ニ因リ被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有スルニ至リタル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル

ル届書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スヘシ

- 一 新舊船舶所有者ノ氏名及住所
- 二 船舶ノ名稱及種類
- 三 船舶番號
- 四 船舶港
- 五 當該船舶ニ乗組ム被保險者ニ關スル保險料納入告知書ノ送付先ニ關スル希望
- 六 相續其ノ他ノ包括承繼ニ因リ被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有スルニ至リタル年月日及事由

第四條 船舶所有者ハ被保險者ノ乗組ム船舶ノ名稱、種類、船舶港、用途、總噸數若ハ航行區域(漁船ニ在リテハ業務ノ種類)又ハ船舶所有者ノ氏名若ハ住所ニ變更アリタルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スヘシ但シ前條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

- 一 船舶所有者ノ氏名及住所
 - 二 船舶ノ名稱
 - 三 變更前ノ事項及變更後ノ事項並ニ變更ノ年月日
- 第五條 船舶所有者ハ保險料納入告知書ノ送付先ノ變更ヲ希望スルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル届書ヲ保險

船員保險法施行規則

院長官ニ提出スヘシ

- 一 船舶所有者ノ氏名及住所
- 二 船舶ノ名稱
- 三 當該船舶ニ乗組ム被保險者ニ關スル保險料納入告知書ノ現在ノ送付先
- 四 保險料納入告知書ノ希望スル送付先

第六條 第一條乃至前條ノ届書ハ船舶所有者ノ住所地ヲ管轄スル地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同シ)ヲ經由シテ之ヲ提出スヘシ

第二節 被保險者ノ資格

第七條 被保險者ノ資格ヲ取得シタル者カ前ニ被保險者タリシ者ニシテ最後ニ被保險者タリシ當時船員保險法施行令(以下令ト稱ス)第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合(以下指定共濟組合ト稱ス)ノ組合員タル被保險者タリシモノナルトキハ其ノ者ハ其ノ資格取得ノ際指定共濟組合ノ名稱ヲ船舶所有者ニ申出ツヘシ

被保險者ノ資格ヲ取得シタル者カ最後ニ朝鮮、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者タリシ者ナルトキハ其ノ者ハ其ノ資格取得ノ際左ニ掲クル事項ヲ船舶所有者ニ申出ツヘシ

一 朝鮮、臺灣又ハ關東州ノ何レノ船員保險ノ被保險者
タリシ者ナリヤノ別

二 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並
ニ船舶所有者ノ氏名及住所但シ船員保險法(關東州船
員保險令ニ於テ依ルコトヲ定メタル場合ヲ含ム)第二
十條ノ規定ニ依ル被保險者タリシ者ナルトキハ其ノ旨
被保險者ノ資格ヲ取得シタル者カ最後ニ被保險者(朝
鮮、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者ヲ含ム)ノ資
格ヲ喪失シタル後其ノ氏名ヲ變更シタル者ナルトキハ其
ノ者ハ資格取得ノ際變更前ノ氏名及變更ノ年月日ヲ船舶
所有者ニ申出ツヘシ

第八條 船舶所有者ハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者アル
トキハ様式第一號ニ依ル届書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ
提出スヘシ

前條ノ規定ニ依ル申出ヲ爲シタル被保險者ニ付テハ船舶
所有者ハ前項ノ届書ニ其ノ申出アリタル事項ヲ附記スヘ
シ

第九條 船舶所有者ハ被保險者ノ職務又ハ報酬月額ニ變更
アリタル場合ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ様式
第二號ニ依ル届書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スヘシ

第十三條 船舶所有者ハ前條ノ規定ニ依ル申出ヲ受ケタル
トキハ其ノ被保險者ノ氏名ノ變更ニ付左ニ掲クル事項ヲ
記載シタル届書ヲ遲滞ナク保險院長官ニ提出スヘシ

一 船舶所有者ノ氏名及住所

二 被保險者ノ氏名及年月日並ニ乗組ム船舶ノ名稱

三 變更前ノ氏名及變更ノ年月日

第十四條 船員保險法(以下法ト稱ス)第二十條ノ規定ニ
依ル被保險者タラントスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ
タル申請書ヲ保險院長官ニ提出スヘシ

一 氏名、生年月日及住所

二 被保險者資格喪失ノ年月日

三 被保險者資格喪失ノ際乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船
舶所有者ノ氏名及住所

四 被保險者資格喪失ノ際指定共済組合ノ組合員タル者
ナルトキハ其ノ共済組合ノ名稱

五 令第十三條第一項ノ期限經過後申請ヲ爲ス場合ニ於
テハ其ノ事由

第十五條 法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ氏名又
ハ住所ヲ變更シタルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル
届書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スヘシ

船員保險法施行規則

一 船舶職員以外ノ船員及令第二十二條各號ニ掲クル船
員以外ノ船員カ船舶職員又ハ令第二十二條各號ニ掲ク
ル船員ト爲ルニ至リタルトキ

二 船舶職員又ハ令第二十二條各號ニ掲クル船員カ船舶
職員以外ノ船員及令第二十二條各號ニ掲クル船員以外
ノ船員ト爲ルニ至リタルトキ

三 標準報酬ノ變更ヲ要スルニ至リタルトキ

第十條 船舶所有者ハ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者アル
トキハ様式第三號ニ依ル届書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ
提出スヘシ

第十一條 被保險者タル海員ノ雇入契約ノ成立、終了又ハ
變更ニ付船員法第十八條ノ規定ニ依リ管海官廳(管海官
廳ノ事務ヲ行フ市町村長、市町村長ニ準スル者、市尹及
街庄長並ニ帝國ノ領事官及貿易事務官ヲ含ム)ノ公認ヲ
受クヘキ場合ニ於ケル被保險者ノ資格ノ取得及喪失ノ届
出並ニ職務及報酬月額ノ變更ノ提出ニ關シテハ前三條ノ
規定ニ拘ラス別ニ定ムル所ニ依ル

第十二條 被保險者ハ其ノ氏名ニ變更アリタルトキハ變更
後ノ氏名及變更ノ年月日ヲ遲滞ナク船舶所有者ニ申出ツ
ヘシ

一 氏名及住所

二 變更前ノ氏名又ハ住所及變更ノ年月日

第十六條 法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ資格ヲ喪失
セントスル者ハ其ノ申請書ヲ保險院長官ニ提出スヘシ

第三節 標準報酬

第十七條 第八條第一項ノ規定ニ依ル届出アリタルトキハ
保險院長官ハ其ノ被保險者ノ標準報酬ヲ決定シ之ヲ船舶
所有者ニ通知スヘシ

第十八條 第九條ノ規定ニ依リ被保險者ノ報酬月額ノ變更
ノ届出アリタルトキハ保險院長官ハ其ノ被保險者ノ標準
報酬ヲ變更シ之ヲ船舶所有者ニ通知スヘシ

第十九條 被保險者タル海員ノ雇入契約ノ成立ニ付船員法
第十八條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ帝國ノ領事
官又ハ貿易事務官ノ公認ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ
直ニ其ノ被保險者ノ標準報酬ヲ決定スヘシ

被保險者タル海員ニシテ雇入ノ公認ヲ受ケサルモノノ死
亡又ハ行方不明ニ付船員法施行規則第四十九條ノ規定ニ
依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ帝國ノ領事官又ハ貿易事務官
ニ届出ヲ爲シタルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者
ノ標準報酬ヲ決定スヘシ

第一項又ハ前項ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ爲シタル標準報酬ノ決定カ不當ナルトキハ保險院長官ハ之ヲ取消シ其ノ標準報酬ノ決定ヲ爲シタル上其ノ旨ヲ船舶所有者ニ通知スヘシ

第二十條 被保險者タル海員ノ雇入契約ノ變更ニ付船員法第十八條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ帝國ノ領事官又ハ貿易事務官ノ公認ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ被保險者ノ標準報酬ノ變更ヲ要スルモノナルトキハ船舶所有者ハ直ニ之ヲ變更スヘシ

前條第三項ノ規定ニハ前項ノ規定依リ船舶所有者ノ爲シタル標準報酬ノ變更カ不當ナル場合ニ之ヲ準用ス

第二十一條 船舶所有者ハ第十七條若ハ第十八條ノ通知ヲ受ケルトキ、第十九條第一項若ハ第二項ノ決定ヲ爲シタルトキ又ハ前條第一項ノ變更ヲ爲シタルトキハ被保險者ノ受有スル船員手帳ニ其ノ標準報酬ノ等級ヲ記載スヘシ

第十九條第三項又ハ前條第二項ノ通知ヲ受ケタルトキ亦同シ

第二十二條 被保險者タル海員ノ雇入契約ノ成立又ハ變更ニ付船員法第十八條ノ規定ニ依リ管海官廳(管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長、市町村長ニ準スル者、市尹及街庄

二十六條ヲ含ム以下之ニ同シ)ノ規定ニ依リ扶助ヲ船舶所有者ヨリ受ケルコトヲ得ヘキ期間經過後、傷病手當金ノ支給ハ同令第十五條(朝鮮船員令施行規則又ハ關東州船員令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法施行令第十五條ヲ含ム以下之ニ同シ)又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル手當(船員ノ失業期間ニ對スル手當ヲ除ク以下之ニ同シ)ヲ船舶所有者ヨリ受ケルコトヲ得ヘキ期間經過後之ヲ開始ス

第二十五條 被保險者ハ地方長官ノ指定シタル醫師又ハ齒科醫師(以下保險醫ト稱ス)ニ就キ療養ノ給付ヲ受ケントスルトキハ船舶所有者ヨリ様式第四號ニ依リ診療券ノ交付ヲ受クヘシ

船舶所有者ハ前項ノ規定ニ依リ診療券ヲ交付セントスルトキハ其ノ診療券ニ當該疾病又ハ負傷ニ付船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依リ扶助ヲ爲ス義務ナキコトニ關シ管海官廳(管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長及市町村長ニ準スル者ヲ含ム以下之ニ同シ)ヨリ證明ノ記載ヲ受ケタル後之ヲ交付スヘシ

船舶所有者ハ被保險者ニ診療券ヲ交付スル場合ニ於テハ被保險者ノ受有スル船員手帳ノ官廳記事欄ニ診療券交付

船員保險法施行規則

長ヲ含ム)ノ公認ヲ受クヘキ場合ニ於ケル被保險者ノ標準報酬ノ決定及變更ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ依ル

第二十三條 法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ標準報酬ノ減額ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ保險院長官ニ提出スヘシ

- 一 氏名及住所
- 二 現在ノ標準報酬ノ等級
- 三 希望スル標準報酬ノ等級

法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲ルト同時ニ標準報酬ノ減額ヲ受ケントスルトキハ其ノ標準報酬ノ減額ノ申請ハ第十四條ノ申請書ニ前項第二號及第三號ニ掲クル事項ヲ附記シテ之ヲ爲スコトヲ得

第一項又ハ前項ノ規定ニ依リ申請アリタルトキハ保險院長官ハ其ノ標準報酬ヲ減額シ之ヲ其ノ被保險者ニ通知スヘシ

第二章 保險給付

第一節 療養ノ給付及傷病手當金

第二十四條 療養ノ給付ハ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條(朝鮮船員令施行規則又ハ關東州船員令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法施行令第十四條又ハ第

ノ年月日及傷病名ヲ記載シタル上認印ヲ捺捺スヘシ

船舶所有者ハ被保險者ヨリ診療券ノ交付ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

被保險者ハ第一項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券ニ記載シアル疫病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ヲ受ケサルニ至リタルトキハ其ノ診療券ヲ遲滞ナク船舶所有者ニ返納スヘシ

船舶所有者ハ前項ノ規定ニ依リ被保險者ヨリ診療券ノ返納ヲ受ケタル時ハ之ヲ遲滞ナク保險院長官ニ提出スヘシ

第二十六條 被保險者ハ保險醫ニ就キ診療ヲ受ケントスルトキハ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券及船員手帳ヲ保險醫ニ提示スヘシ

第二十七條 保險醫ハ初テ被保險者ノ診療ヲ爲シタルトキハ被保險者ノ提示シタル診療券ニ所定ノ記載ヲ爲シ之ヲ被保險者ニ返付スヘシ

第二十八條 被保險者タリシ者ハ保險醫ニ就キ療養ノ給付ヲ受ケントスルトキハ地方長官ヨリ様式第五號ニ依リ診療券ノ交付ヲ受クヘシ但シ被保險者タリシ當時第二十五條第一項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者又ハ第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券

ノ交付ヲ受クル者ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス
被保險者タリシ者ハ船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十
四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務ナキ疾
病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ヲ受ケントスル場合ニ於テ被
保險者タリシ當時第二十五條第一項ノ規定ニ依リ船舶所
有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケサリシトキハ其ノ船舶所有
者ヨリ診療券ノ交付ヲ受クヘシ

第二十五條第二項及第四項ノ規定ハ船舶所有者カ前項ノ
規定ニ依リ診療券ノ交付ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二十九條 被保險者タリシ者ハ前條第一項ノ規定ニ依リ

診療券ノ交付ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記
載シタル請求書ヲ診療ヲ受ケントスル保險醫ノ診療所所
在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スヘシ

- 一 氏名、生年月日及住所
- 二 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日
- 三 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並
ニ船舶所有者ノ氏名及住所
- 四 最後ニ被保險者タリシ當時ノ職務及標準報酬ノ等級
- 五 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
- 六 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行

令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依リテ爲ス扶助ノ

義務終了ノ年月日

前項ノ請求書ニハ前項第四號及第六號ニ掲クル事項ニ關
スル當該船舶所有者ノ證明書ヲ添付スヘシ

第三十條 被保險者タリシ者ハ保險醫ニ就キ診療ヲ受ケン

トスルトキハ地方長官ヨリ交付ヲ受ケタル診療券(第二
十五條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ船舶所
有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ診
療券)ヲ保險醫ニ提出スヘシ

被保險者タリシ者ハ船員法第十七條又ハ第三十條ノ規定
ニ依リ送還セラルル場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於
テ令第二十一條第一號又ハ第二號ノ期間經過後診療ヲ受
ケントスルトキハ其ノ事由ヲ保險醫ニ申出ヅベシ

第三十一條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ第三者ノ行

爲ニ因リテ生シタル疾病又ハ負傷ニ付保險醫ニ就キ診療
ヲ受クルニ至リタルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル
届書ヲ遲滞ナク第六號ニ掲クル保險醫ノ診療所所在地ヲ
管轄スル地方長官ニ提出スヘシ

- 一 氏名及生年月日並ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住

二 乗組ム船舶(被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被
保險者タリシ當時乗組ミタル船舶)ノ名稱並ニ船舶所
有者ノ氏名及住所

三 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

四 療養ノ給付開始ノ年月日

五 當該疾病又ハ負傷カ第三者ノ行爲ニ因リテ生ジタル

事實並ニ第三者ノ氏名及住所(第三者ノ氏名又ハ住所
カ不詳ナルトキハ其ノ旨)

六 當該疾病又ハ負傷ニ付初テ診療ヲ受ケタル保險醫ノ

氏名及診療所所在地

第三十二條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ地方長官ノ

指定シタル藥劑師(以下保險藥劑師ト稱ス)ニ就キ藥劑
ノ支給ヲ受ケントスルトキハ現ニ診療ヲ受クル保險醫ヨ
リ處方箋ノ交付ヲ受ケ之ヲ保險藥劑師ニ提出スヘシ

第三十三條 保險醫ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ對

シ處方箋ヲ交付スル場合ニ於テハ醫師法施行規則第九條
ノ三又ハ齒科醫師法施行規則第八條ノ三ノ規定ニ依ルノ
外其ノ處方箋ニ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ
者ナル旨ヲ記載シ其ノ箇所ニ捺印スヘシ

第三十四條 被保險者タリシ者ハ保險醫變更ノ承認ヲ受ケ

船員保險法施行規則

ントスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ現
ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長
官ニ提出スヘシ

一 氏名、生年月日及住所

二 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

三 療養ノ給付開始ノ年月日

四 現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ氏名及診療所所在地

五 保險醫ノ變更ヲ必要トスル事由

六 當該疾病又ハ負傷ニ付第二十五條第一項又ハ第二十
八條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタ
ル診療券ニ依リテ診療ヲ受クル者ニ在リテハ第二十九
條第一項第二號乃至第四號ニ掲クル事項

保險醫變更ノ承認ヲ爲シタル場合ニ於テ地方長官ノ交付
スル承認書ハ様式第六號ニ依ルヘシ

第三十五條 前條第二項ノ規定ニ依リ地方長官ノ交付シタ

ル保險醫變更ノ承認書ハ第三十條第一項ノ規定ノ適用ニ
付テハ之ヲ診療券ト看做ス

第三十六條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ令第十八條

第一項第三號(一回ノ費用二十圓ヲ超ユルモノニ限ル)
乃至第五號ノ給付ヲ受クルコトノ承認ヲ受ケントスルト

キハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ現ニ診療ヲ受クル保險醫（申請當時療養ノ給付開始前ナルトキ又ハ療養ノ給付開始後ト雖モ其ノ療養ノ給付カ療養費ノ支給ナルトキハ診療ヲ受ケントスル保險醫）ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スヘシ但シ已ムヲ得サル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後遲滞ナク左ニ掲クル事項及已ムヲ得サル事由ヲ記載シタル届書ヲ地方長官ニ提出スヘシ

一 氏名及生年月日並ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所

- 二 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
- 三 療養ノ給付開始ノ年月日（申請當時療養ノ給付開始前ナルトキハ其ノ旨）
- 四 現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ氏名及診療所所在地（申請當時療養ノ給付開始前ナルトキハ現ニ診療ヲ受クル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地）
- 五 當該疾病又ハ負傷ニ付第二十五條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券ニ依リテ診療ヲ受クル者ニ在リテハ第二十九條第一項第二號乃至第四號ニ掲クル事項

前項ノ申請書又ハ届書ニハ令第十八條第一項第三號乃至第五號ノ給付ヲ必要トスル事由、給付ノ内容及之ニ要スヘキ費用ノ見積額ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書ヲ添付スヘシ

令第十八條第一項第三號又ハ第四號ノ給付ヲ診療所ニ入院シタル上受ケントスル者ニ在リテハ本條ノ申請ハ之ヲ診療所ニ入院ノ承認ヲ受ケントスル申請ニ合シテ爲スコトヲ得第一項但書ノ規定ニ依ル届出ニ付亦同シ

- 第三十七條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ診療所ニ入院ノ承認ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所所在地（申請當時療養ノ給付開始前ナルトキ又ハ療養ノ給付開始後ト雖モ其ノ療養ノ給付カ療養費ノ支給ナルトキハ入院セントスル診療所ノ所在地）ヲ管轄スル地方長官ニ提出スヘシ但シ已ムヲ得サル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後遲滞ナク第一號ニ掲クル事項及入院シタル診療所ノ名稱所在地並ニ已ムヲ得サル事由ヲ記載シタル届書ヲ地方長官ニ提出スヘシ
- 一 前條第一項及各號ニ掲クル事項
- 二 入院豫定ノ診療所ノ名稱及所在地

前項ノ申請書又ハ届書ニハ診療所ニ入院ヲ必要トスル事由及期間ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書ヲ添付スヘシ

- 診療所ニ入院ノ承認ヲ爲シタル場合ニ於テ地方長官ノ交付スル承認書ハ様式第七號ニ依ルヘシ
- 第三十八條 地方長官カ被保險者タリシ者ニ對シ現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所ニ入院ノ承認ヲ爲シタルトキハ保險醫變更ノ承認ヲ爲シタルモノト看做ス

第三十九條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ診療所ニ入院セントスルトキハ地方長官ヨリ交付ヲ受ケタル診療所入院ノ承認書ヲ其ノ診療所ニ提出スヘシ此ノ場合ニ於テ被保險者タリシ者ノ入院スヘキ診療所カ現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所以外ノ診療所ナルトキハ其ノ提出スル診療所入院ノ承認書ハ第三十條第一項ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ診療券ト看做ス

第四十條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ診療所ニ入院ノ承認ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ承認申請書ニ記載シタル入院豫定ノ診療所ニ入院スルコト能ハサルニ至リタルトキハ他ノ保險醫ノ診療所ニ入院スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ他ノ保險醫ノ診療所ニ入院スルニ至リ

船員保險法施行規則

タルトキハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル届書ヲ入院ノ承認ヲ受ケタル地方長官ニ遲滞ナク提出スヘシ

一 氏名及生年月日並ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所

- 二 診療所入院ノ承認アリタル年月日
 - 三 診療所入院ノ承認申請書ニ記載シタル入院豫定ノ診療所ノ名稱及所在地
 - 四 入院シタル診療所ノ名稱及所在地並ニ入院ノ年月日
- 第四十一條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ令第二十三條第二號ノ規定ニ依ル承認ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ第八號ニ掲クル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スヘシ
- 一 氏名及生年月日並ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所
 - 二 乗組ム船舶（被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶）ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所
 - 三 職務及標準報酬ノ等級（被保險者タリシ者ニ在リテ

ハ最後ニ被保險者タリシ當時ノ職務及標準報酬ノ等級)

- 四 被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日
- 五 傷病及發病又ハ負傷ノ年月日
- 六 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務アルトキハ其ノ義務終了ノ年月日、其ノ扶助ヲ爲ス義務ナキトキハ其ノ旨
- 七 疾病又ハ負傷ノ經過
- 八 診療ヲ受ケントスル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所在地並ニ其ノ診療ヲ受ケントスル事由
- 九 當該疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ノ開始アリタル者ニ在リテハ其ノ開始ノ年月日及其ノ際診療ヲ受ケタル保險醫ノ氏名及診療所在地(療養費ノ支給ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ療養費ノ支給ノ申請ヲ爲シタル地方長官名)
- 十 船員法第十七條又ハ第三十條ノ規定ニ依リ送還セラルル場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ令第二十一條第一號又ハ第二號ノ期間經過後承認ヲ受ケントスル

被保險者タリシ者ニ在リテハ其ノ期間ヲ經過シタル事由

- 十一 當該疾病又ハ負傷カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタルモノナルトキハ其ノ事實並ニ第三者ノ氏名及住所(第三者ノ氏名又ハ住所カ不詳ナルトキハ其ノ旨)
- 十二 被保險者ニ在リテハ本條ノ申請ニ係ル療養費ニ關シ地方長官ヨリ發セラルヘキ書類ノ送付先
- 前項ノ申請書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ但シ當該疾病又ハ負傷ニ付曾テ保險醫ニ就キ診療ヲ受ケタルコトアルトキ又ハ療養費ノ支給ノ申請ヲ爲シタルコトアルトキハ之ヲ添附スルコトヲ要セス
- 一 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務アルトキハ其ノ義務終了ノ年月日ニ關スル當該船舶所有者ノ證明書
- 二 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務ナキトキハ其ノ義務ナキコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書但シ當該疾病又ハ負傷ニ付第二十五條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ交付ヲ受ケタルコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書
- 三 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務アルトキハ其ノ義務ナキコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書但シ當該疾病又ハ負傷ニ付第二十五條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ交付ヲ受ケタルコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書

リ診療券ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ交付ヲ受ケタルコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書

第二十五條第二項ノ規定ハ前項第二號(但書ヲ除ク)ニ掲クル證明書ヲ船舶所有者ニ於テ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ交付スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十二條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ療養費ノ支給ヲ受ケントスルトキハ其ノ申請書ヲ診療其ノ他ノ手當ヲ受ケタル醫師若ハ齒科醫師ノ診療所所在地又ハ其ノ他ノ者ノ住所地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スヘシ

第四十三條 令第二十三條第一號ノ療養費ノ支給ノ申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

- 一 第四十一條第一號乃至第七號及第九號乃至第十二號ニ掲クル事項
 - 二 療養ノ給付ヲ受ケタル困難ナル事由
 - 三 診療ヲ受ケタル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地
 - 四 受ケタル診療ノ内容期間及之ニ要シタル費用ノ額
- 前項ノ申請書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ但シ當該疾病又ハ負傷ニ付曾テ保險醫ニ就キ診療ヲ受ケタルコトアルトキ又ハ療養費ノ支給ノ申請ヲ爲シタルコトアルト

船員保險法施行規則

キハ第二號又ハ第三號ニ掲クル書類ヲ添附スルコトヲ要セス

- 一 前項第四號ニ掲クル費用ノ額ニ關スル證明書類
 - 二 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務アルトキハ其ノ義務ナキコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書但シ當該疾病又ハ負傷ニ付第二十五條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ交付ヲ受ケタルコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書
 - 三 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務アルトキハ其ノ義務ナキコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書但シ當該疾病又ハ負傷ニ付第二十五條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ交付ヲ受ケタルコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書
- 第四十四條 令第二十三條第二號ノ療養費ノ支給ノ申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ
- 一 氏名及生年日並ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所

- 二 受ケタル診療ノ内容期間及之ニ要シタル費用ノ額
- 三 被保険者ニ在リテハ本條ノ申請ニ係ル療養費ニ關シ
地方長官ヨリ發セラレヘキ書類ノ送付先

前項ノ申請書ニハ前項第二號ニ掲クル費用ノ額ニ關スル
證憑書類ヲ添附スヘシ

第四十五條

令第二十三條第三號ノ療養費ノ支給ノ申請書
ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

- 一 第四十一條第一項第一號乃至第七號及第九號乃至第
十二號ニ掲クル事項
- 二 緊急ナリシコトノ事由
- 三 手當ヲ受ケタル醫師若ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所
在地又ハ其ノ他ノ者ノ氏名及住所
- 四 受ケタル手當ノ内容、期間及之ニ要シタル費用ノ額

第四十六條

被保險者タリシ者ハ傷病手當金ノ支給ヲ受ケ
ントスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ第
十一號ニ掲クル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所所在地ヲ管轄
スル地方長官ニ提出スヘシ

一 氏名、生年月日及住所

- 二 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日
- 三 最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶ノ名稱並
ニ船舶所有者ノ氏名及住所
- 四 最後ニ被保險者タリシ當時ノ職務及標準報酬ノ等級
- 五 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
- 六 療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサリシ期間
- 七 當該疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ヲ受クルトキハ療
養ノ給付開始ノ年月日
- 八 當該疾病又ハ負傷ニ付船員法施行令第十四條又ハ第
二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ受クルトキハ船舶所有者
ノ扶助開始ノ年月日及其ノ扶助ノ義務力終了シタル場
合ニ於テハ其ノ年月日
- 九 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行
令第十五條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル手當ヲ支給ヲ
爲ス義務アルトキハ其ノ義務終了ノ年月日其ノ支給ヲ
爲ス義務ナキトキハ其ノ事由
- 十 診療所ニ收容セラレタル被保險者タリシ者ニ在リテ
ハ其ノ診療所ノ名稱所在地及之ニ收容セラレタル期間
並ニ專ラ被保險者タリシ者ニ依リ生計ヲ維持スル者ア
ルトキハ其ノ者ノ氏名、生年月日及被保險者タリシ者

トノ續柄又ハ關係

十一 第六號ニ掲クル期間内ニ於テ當該疾病又ハ負傷ニ
付最後ニ診療ヲ受ケタル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診
療所所在地

前項ノ請求書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ但シ當該
疾病又ハ負傷ニ付第二回目以後ノ分ノ傷病手當金ノ支給
ノ請求書ニ付テハ第二號ニ掲クル書類ヲ添附スルコトヲ
要セス

一 前項第六號ニ掲クル期間ニ關スル醫師又ハ齒科醫師
ノ意見書

二 當該疾病又ハ負傷ニ付船員法施行令第十四條又ハ第
二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ受クルトキハ前項第四
號、第八號及第九號ニ掲クル事項ニ關スル當該船舶所
有者ノ證明書

第二十五條第二項ノ規定ハ第一項第九號後段ニ掲クル事
項ニ關スル證明書ヲ船舶所有者ニ於テ被保險者タリシ者
ニ交付スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十七條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ法施行地外
ノ別ニ指定スル地ニ在ル期間ニ係ル疾病又ハ負傷ニ關シ
テハ法第五十三條第一項但書ノ規定ニ依リ療養ノ給付及

船員保險法施行規則

傷病手當金ノ支給ヲ爲ス

前項ノ規定ニ依リ療養ノ給付及傷病及手當金ノ支給ヲ爲
ス場合ニ於テ必要ナル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第四十八條

被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ朝鮮又ハ臺
灣ニ在ル期間ニ係ル疾病又ハ負傷ニ關シ療養ノ給付及傷
病手當金ノ支給ヲ爲ス場合ニ於テ必要ナル規定ハ別ニ之
ヲ定ム

第二節 養老年金

第四十九條

養老年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ニハ養老年
金證書ヲ交付ス

養老年金證書ノ交付ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲クル事項
ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スヘシ

- 一 氏名、生年月日及住所
- 二 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日
- 三 最後ニ被保險者タリシ當時乘組ミタル船舶ノ名稱並
ニ船舶所有者ノ氏名及住所
- 四 養老年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタル當時第五
十三條ノ規定ニ該當スルトキハ傷病名及發病又ハ負傷
ノ年月日
- 五 第六十九條第二項ノ規定ニ依リ養老年金ノ受給ヲ撰

擇スル者ニ在リテハ其ノ旨

前項ノ請求書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ

一 戸籍ノ抄本又ハ戸籍ノ謄本

二 印鑑票

三 癡疾年金證書ノ交付ヲ受ケタル者ニシテ前項ノ請求書ニ同項第五號ニ掲クル事項ヲ記載シタルモノニ在リ

テハ其ノ證書

第五十條 養老年金證書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載ス

一 證書ノ記號番號

二 養老年金受給者ノ氏名、生年月日及男女別

三 養老年金ノ額

四 養老年金ノ支給開始ノ年月

第五十一條 養老年金ハ毎年一月、四月、七月及十月ノ四

期ニ於テ各其ノ前月分迄ヲ支給ス但シ前支給期月ニ支給

スヘカリシ養老年金又ハ養老年金受給者カ死亡シタル場

合ニ於テノ其ノ期ノ養老年金ハ支給期月ニ非サル時期ニ

於テモ之ヲ支給ス

第五十二條 養老年金受給者ハ養老年金ノ支給ヲ受ケント

スルトキハ別ニ指定スル官署ニ就キ養老年金證書ヲ提示

シテ其ノ支給ヲ受ケヘシ

前項ノ場合ニ於テ使用スヘキ印章ハ第四十九條第二項ノ

請求書ニ添附シタル印鑑票ニ押捺シタル印章タルコトヲ

要ス

第五十三條 傷病手當金又ハ船員法施行令第十五條若ハ第

二十六條ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ手當ノ支給ヲ受ク

ル者ニハ法第三十八條ノ規定ニ依リ其ノ支給ヲ受クルコ

トヲ得ヘキ期間ニ係ル養老年金ノ支給ヲ停止ス

第五十四條 養老年金受給者ハ前條ノ規定ニ該當スルニ至

リタルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以

内ニ保険院長官ニ提出スヘシ但シ第五十七條第一項ノ請

求書ニ同條同項第五號ニ掲クル事項ヲ記載スヘキトキハ

此ノ限ニ在ラス

一 氏名及住所

二 養老年金證書ノ記號番號

三 傷病及發病又ハ負傷ノ年月日

四 傷病手當金又ハ船員法施行令第十五條若ハ第二十六

條ノ規定ニ依ル手當ノ支給開始ノ年月日

第五十五條 養老年金受給者ハ第五十三條ノ規定ニ該當セ

サルニ至リタルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル届書

ヲ十日以内ニ保険院長官ニ提出スヘシ

一 氏名及住所

二 養老年金證書ノ記號番號

三 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

四 傷病手當金又ハ船員法施行令第十五條若ハ第二十六

第五十六條 養老年金受給者ハ被保險者ト爲リタルトキハ

左ニ掲クル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ保険院長

官ニ提出スヘシ

一 氏名及住所

二 養老年金證書ノ記號番號

三 被保險者資格取得ノ年月日

四 乗組ム船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所

前項ノ規定ハ養老年金受給者カ朝鮮、臺灣又ハ關東州ノ

船員保險ノ被保險者ト爲リタル場合之ヲ準用ス

第五十七條 法第三十九條第二項ノ規定ニ依リ養老年金ノ

額ノ改定ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタ

ル請求書ヲ保険院長官ニ提出スヘシ

一 氏名及住所

二 養老年金證書ノ記號番號

三 被保險者資格喪失ノ年月日

船員保險法施行規則

四 被保險者資格喪失ノ際乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船

舶所有者ノ氏名及住所

五 被保險者ノ資格喪失當時第五十三條ノ規定ニ該當ス

ルトキハ傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

第五十八條 養老年金受給者ハ其ノ氏名ヲ變更シタルトキ

ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ保険院

長官ニ提出スヘシ

一 氏名及住所

二 養老年金證書ノ記號番號

三 變更前ノ氏名及變更ノ年月日

前項ノ届書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ

一 養老年金證書

二 戸籍ノ抄本又ハ氏名ノ變更ニ關スル市町村長ノ證明

書

保険院長官ハ前項ノ届書ノ提出ヲ受ケタルトキハ其ノ届

書ニ添附シアル養老年金證書ヲ更訂シ之ヲ養老年金受給

者ニ送付スヘシ

第五十九條 養老年金受給者ハ其ノ住所ヲ變更シタルトキ

ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル届書ヲ遲滞ナク保険院長

官ニ提出スヘシ

一 氏名及住所

二 養老年金證書ノ記號番號

三 變更前ノ住所及變更ノ年月日

第六十條 養老年金受給者ハ第四十九條第二項ノ請求書ニ添附シタル印鑑票ニ押捺シタル印章ヲ變更セントスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル届書ニ新印鑑票ヲ添ヘ之ヲ保險院長官ニ提出スヘシ

一 氏名及住所

二 養老年金證書ノ記號番號

第六十一條 養老年金受給者ハ毎年二月末日迄ニ前一月以内ノ間ニ於テ作製セラレタル戸籍ノ抄本ヲ保險院長官ニ提出スヘシ但シ其ノ年ニ於テ養老年金受給者ト爲リタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依ル戸籍ノ抄本ノ提出ヲ爲ササル者ニ對シテハ其ノ提出アル迄法第五十七條第二項ノ規定ニ依リ養老年金ノ支給ヲ一時差止ムルコトアルヘシ

第六十二條 養老年金受給者ハ養老年金證書ヲ亡失シタルトキ又ハ養老年金證書カ毀損汚斑シテ不判明ト爲リタルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル再交付ノ請求書ヲ保

險院長官ニ提出スヘシ

一 氏名及住所

二 養老年金證書ノ記號番號

三 亡失シタルトキハ其ノ事實

養老年金證書カ毀損汚斑シテ不判明ト爲リタル場合ノ再交付ノ請求ナルトキハ前項ノ請求書ニ其ノ養老年金證書ヲ添附スヘシ

第六十三條 養老年金證書ノ再交付アリタルトキハ從前ノ養老年金證書ハ其ノ效力ヲ失フ

第六十四條 養老年金受給者カ死亡シタルトキハ其ノ遺族ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル届書ヲ遲滞ナク保險院長官ニ提出スヘシ但シ其ノ者ニ於テ法第三十六條ノ規定ニ

依ル一時金ノ支給ノ請求ヲ爲ストキハ此ノ限ニ在ラス

一 届出者ノ氏名及住所

二 養老年金受給者ノ氏名及養老年金證書ノ記號番號

三 養老年金受給者ノ死亡ノ年月日

前項ノ届書ニハ養老年金證書ヲ添附スヘシ但シ之ヲ添付スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ附記スヘシ

第六十五條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ令第十七條但書ノ規定ニ依リ法第三十六條又ハ第三十七條ノ規定ニ

依ル一時金ノ支給ヲ受クヘキ者ヲ豫告ニ依リ指定セントスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル豫告書ヲ保險院長官ニ提出スヘシ其ノ指定ヲ變更セントスルトキ亦同シ

一 豫告者ノ氏名、生年月日及住所

二 豫告者カ養老年金受給者ナルトキハ養老年金證書ノ記號番號

三 豫告者カ養老年金受給者ニ非サルトキハ最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日並ニ最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱及船舶所有者ノ氏名住所但シ現ニ被保險者タル者ニ在リテハ其ノ乗組ム船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所

四 指定セラレタル者ノ氏名、生年月日及住所並ニ豫告者トノ續柄又ハ關係

前項ノ豫告書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ

一 指定セラレタル者ト豫告者トノ續柄ヲ證スヘキ書類

二 豫告書ニ押捺シタル印章ニ付テノ市町村長ノ印鑑證明書

第六十六條 前條ノ指定ヲ取消サントスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル豫告取消書ヲ保險院長官ニ提出スヘシ

一 前條第一項第一號乃至第三號ニ掲クル事項

船員保險法施行規則

二 指定セラレタル者ノ氏名

前項ノ届書ニハ之ニ押捺シタル印章ニ付テノ市町村長ノ印鑑證明書ヲ添附スヘシ

第六十七條 法第三十六條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スヘシ

一 請求者ノ氏名、生年月日及住所

二 養老年金受給者ノ氏名及死亡ノ年月日

三 養老年金證書ノ記號番號

四 養老年金受給者ト請求者トノ續柄又ハ關係及請求者カ令第十七條但書ノ規定ニ依リ指定セラレタル者ナルトキハ其ノ旨

五 請求者カ令第十七條各號ニ掲クル者ナルトキハ他ニ同條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナシト認ムル旨、同條第三號ニ掲クル者ナルトキハ自己ノ外ニ之ニ該當スル者ナシト認ムル旨

前項ノ請求書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ

一 養老年金受給者ノ死亡當時其ノ家ニ在ル者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ル戸籍ノ謄本又ハ除カレタル戸籍ノ謄本

二 養老年金受給者ノ死亡當時其ノ家ニ在ル者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ル戸籍ノ謄本又ハ除カレタル戸籍ノ謄本

三 養老年金受給者ノ死亡當時其ノ家ニ在ル者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ル戸籍ノ謄本又ハ除カレタル戸籍ノ謄本

四 養老年金受給者ノ死亡當時其ノ家ニ在ル者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ル戸籍ノ謄本又ハ除カレタル戸籍ノ謄本

五 養老年金受給者ノ死亡當時其ノ家ニ在ル者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ル戸籍ノ謄本又ハ除カレタル戸籍ノ謄本

六 養老年金受給者ノ死亡當時其ノ家ニ在ル者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ル戸籍ノ謄本又ハ除カレタル戸籍ノ謄本

七 養老年金受給者ノ死亡當時其ノ家ニ在ル者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ル戸籍ノ謄本又ハ除カレタル戸籍ノ謄本

八 養老年金受給者ノ死亡當時其ノ家ニ在ル者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ル戸籍ノ謄本又ハ除カレタル戸籍ノ謄本

九 養老年金受給者ノ死亡當時其ノ家ニ在ル者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ル戸籍ノ謄本又ハ除カレタル戸籍ノ謄本

十 養老年金受給者ノ死亡當時其ノ家ニ在ル者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ル戸籍ノ謄本又ハ除カレタル戸籍ノ謄本

- 二 養老年金受給者ノ死亡ニ關シ市町村長ニ提出シタル死亡診斷書、死體檢案書、若ハ檢視調書ニ記載シアル事項ノ市町村長ノ證明書又ハ之ニ代ハルヘキ書類
- 三 請求者カ養老年金受給者ノ死亡當時其ノ者ニ依リ生計ヲ維持シタル者ナルトキハ其ノ事實ヲ認め得ヘキ書類
- 四 請求者カ令第十七條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナルトキハ其ノ遺言書ノ寫
- 五 養老年金證書

第六十八條

法第三十七條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スヘシ

- 一 請求者ノ氏名、生年月日及住所
- 二 被保險者タリシ者ノ氏名及生年月日並ニ死亡ノ年月日
- 三 被保險者タリシ者カ最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所(不詳ノ事項アルトキハ其ノ旨)
- 四 被保險者タリシ者ト請求者トノ續柄又ハ關係及請求者カ令第十七條但書ノ規定ニ依リ指定セラレタル者ナ

ルトキハ其ノ旨

- 五 請求者カ令第十七條各號ニ掲クル者ナルトキハ他ニ同條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナシト認ムル旨、同條第三號ニ掲クル者ナルトキハ自己ノ外ニ之ニ該當スル者ナシト認ムル旨

第三節 癱疾年金及癱疾手當金

第六十九條

養老年金ヲ受クル權利ヲ有スル者カ癱疾年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタルトキハ其ノ癱疾年金ハ之ヲ支給セス養老年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタル者カ同時ニ癱疾年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタルトキ亦同シ

癱疾年金ヲ受クル權利ヲ有スル者カ養老年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタルトキハ其ノ權利ヲ有スル者ノ選擇ニ依リ一ノ年金ヲ支給ス

第七十條

癱疾年金又ハ癱疾手當金ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ令第二十七條ノ規定スル期間經過ノ日(其ノ期間内ニ癱疾ノ原因タル疾病又ハ負傷カ治癒シタルトキハ其ノ治癒シタル日)ヨリ十日以内ニ保險院長官ニ提出スヘシ

第七十一條 前條第一項ノ請求書ノ提出アリタルトキハ保險院長官ハ其ノ給付ニ關スル決定ヲ爲シ之ヲ請求者ニ通知スヘシ

前項ノ場合ニ於テ癱疾年金ヲ受クル權利ヲ有スルモノト決定シタルトキハ保險院長官ハ請求者ニ癱疾年金證書ヲ交付スヘシ

第七十二條

癱疾年金證書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載ス

- 一 證書ノ記號番號
- 二 癱疾年金受給者ノ氏名、生年月日及男女別
- 三 癱疾年金ノ額
- 四 癱疾年金ノ支給開始ノ年月

第七十三條

癱疾年金受給者ハ毎年二月一日ノ現在ニ於ケル癱疾ノ状態ニ付左ニ掲クル事項ヲ記載シタル届書ヲ同月末日迄ニ保險院長官ニ提出スヘシ但シ其ノ年ニ於テ癱疾年金受給者ト爲リタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

- 一 氏名及住所
- 二 癱疾年金證書ノ記號番號
- 三 癱疾ノ状態ノ程度

前項ノ届書ニハ同項第三號ニ掲クル事項ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ

- 一 氏名、生年月日及住所
- 二 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日
- 三 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所
- 四 癱疾ノ原因タル疾病又ハ負傷ノ傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日並ニ治癒シタリヤ否ヤ及治癒シタルトキハ其ノ年月日
- 五 癱疾ノ状態ノ程度
- 六 癱疾ノ原因タル疾病又ハ負傷ニ付最後ニ診療ヲ受ケタル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地
- 七 癱疾ノ原因タル疾病又ハ負傷カ第三者ノ行爲ニ因リ生シタルモノナルトキハ其ノ事實並ニ第三者ノ氏名及住所(第三者ノ氏名又ハ住所カ不詳ナルトキハ其ノ旨)
- 前項ノ請求書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ
- 一 癱疾ノ状態ノ程度及疾病又ハ負傷ノ經過ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ診斷書
- 二 印鑑票
- 第一項ノ請求書ハ同項第六號ニ掲クル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シテ之ヲ提出スヘシ

第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲ササル者ニ對シテハ其ノ届出アル迄法第五十七條第二項ノ規定ニ依リ癱疾年金ノ支給ヲ一時差止ムルコトアルヘシ

第七十四條 癱疾年金受給者ハ其ノ癱疾カ癱疾年金ヲ受クル程度ノ状態ニ該當セサルニ至リタルトキハ左ニ掲ケル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ保険院長官ニ提出スヘシ

- 一 氏名及住所
- 二 癱疾年金證書ノ記號番號
- 三 癱疾カ癱疾年金ヲ受クル程度ノ状態ニ該當セサルニ至リタル年月日(年月日カ不詳ナルトキハ其ノ推定ノ年月日)

前項ノ届書ニハ癱疾年金證書ヲ添附スヘシ
第一項ノ規定ニ依ル届出アタリル場合ニ於テノ其ノ期ノ癱疾年金ハ支給期月ニ拘ラス之ヲ支給ス

第七十五條 第五十一條、第五十二條、第五十八條乃至第六十條及第六十二條乃至第六十四條ノ規定ハ癱疾年金ノ支給ニ關シ之ヲ準用ス

第七十六條 第六十五條乃至第六十七條ノ規定ハ法第四十二條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ニ關シ之ヲ準用ス

- 險院長官ニ提出スヘシ
- 一 氏名、生年月日及住所
 - 二 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日
 - 三 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所
 - 四 第七十條第一項ノ規定ニ依ル請求ヲ爲シタル者ニ在リテハ其ノ旨

第七十九條 第七十七條又ハ前條ノ規定ニ依リ脱退手當金ノ支給ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ脱退手當金カ法附則第二項ノ規定ニ依ルモノナルトキハ其ノ請求書ニ昭和十五年六月一日前十五年間ニ於テ法第十七條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲ルヘキ資格ヲ有スル船員トシテ船舶ニ乗組ミタル期間(昭和十五年六月一日前十五年間ニ於テ朝鮮臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者ト爲ルヘキ資格ヲ有スル船員トシテ船舶ニ乗組ミタル期間ヲ含ム以下之ニ同シ)ヲ記載シ且左ニ掲ケル書類ヲ添附スヘシ

- 一 被保險者タリシ者ノ戶籍ノ抄本又ハ除カレタル戶籍ノ抄本
- 二 昭和十五年六月一日前十五年間ニ於テ法第十七條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲ルヘキ資格ヲ有スル船員トシ

第四節 脱退手當金

第七十七條 被保險者又ハ被保險者タリシ者カ死亡シタル場合ニ於ケル脱退手當金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲ケル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保険院長官ニ提出スヘシ

- 一 請求者ノ氏名、生年月日及住所
- 二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ氏名及生年月日並ニ死亡ノ年月日
- 三 被保險者又ハ被保險者タリシ者カ死亡當時又ハ最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所(不詳ノ事項アルトキハ其ノ旨)
- 四 被保險者又ハ被保險者タリシ者ト請求者トノ續柄

- 前項ノ請求書ニハ左ニ掲ケル書類ヲ添附スヘシ
- 一 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡ニ關シ市町村長ニ提出シタル死亡診斷書、死體檢案書若ハ檢視調書ニ記載シタル事項ノ市町村長ノ證明書又ハ之ニ代ハルヘキ書類
- 二 請求者カ請求權ヲ有スルコトヲ證スヘキ書類

第七十八條 被保險者タリシ者ハ脱退手當金ノ支給ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲ケル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保

テ船舶ニ乗組ミタル期間ニ關スル當該船舶所有者ノ證明書又ハ其ノ期間ヲ證スヘキ書類

第八十條 法第四十九條ノ規定ニ依ル支給金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲ケル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スヘシ

- 一 氏名及住所
- 二 癱疾年金證書ノ記號番號
- 三 第七十四條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタル年月日

第五節 死亡手當金

第八十一條 死亡手當金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲ケル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スヘシ

- 一 請求者ノ氏名及住所
- 二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ氏名及生年月日並ニ死亡ノ年月日
- 三 被保險者又ハ被保險者タリシ者カ死亡當時又ハ最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所(不詳ノ事項アルトキハ其ノ旨)
- 四 被保險者ノ資格ヲ喪失シ三月ヲ經過シタル後死亡シタル者ニ在リテハ死亡當時診療其ノ他ノ手當ヲ受ケタ

ル醫師若ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地又ハ其ノ他ノ者ノ氏名及住所

五 死亡カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタルモノナルトキハ其ノ事實並ニ第三者ノ氏名及住所(第三者ノ氏名又ハ住所カ不詳ナルトキハ其ノ旨)

六 被保險者又ハ被保險者タリシ者ト請求者トノ續柄又ハ關係及請求者カ令第十七條但書ノ規定ニ依リ指定セラレタル者ナルトキハ其ノ旨

七 請求者カ令第十七條各號ニ掲クル者ナルトキハ他ニ同條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナシト認ムル旨、同條第三號ニ掲クル者ナルトキハ自己ノ外ニ之ニ該當スル者ナシト認ムル旨

第六十七條第二項ノ規定ハ前項ノ請求書ニ之ヲ準用ス被保險者タリシ者ニシテ療養ノ給付ヲ受クルモノカ死亡シタル場合ノ死亡手當金ノ支給ノ請求書ハ第一項第四號ニ掲クル醫師若ハ齒科醫師ノ診療所所在地又ハ其ノ他ノ者ノ住所地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シテ之ヲ提出スヘシ

第八十二條 第六十五條及第六十六條ノ規定ハ死亡手當金ノ支給ニ關シ之ヲ準用ス

關シ地方長官ニ對シ申請、請求又ハ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ申請書、請求書又ハ届出ニ添附スヘキ書類ハ申請、請求又ハ届出ノ際之ヲ提出スヘシ但シ地方長官ニ於テ其ノ必要ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ
口頭ヲ以テ申請、請求又ハ届出ヲ爲シタル者ノ場合ニ於テ地方長官ハ必要アリト認ムルトキハ其ノ申請、請求又ハ届出ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ作製シ讀ミ聞カセタル上之ニ記名調印セシムヘシ

第八十八條 被保險者、被保險者タリシ者又ハ其ノ他ノ者ヨリ保險院長官ニ提出スル保險給付ニ關スル申請書、請求書又ハ届書ハ本章ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ住所地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シテ之ヲ提出スヘシ

第三章 船員保險法第六十三條ノ審査手續
第八十九條 審査ノ請求ハ文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ第一次船員保險審査會ニ對スル審査ノ請求ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第九十條 文書ヲ以テ審査ノ請求ヲ爲サントスル者ハ審査請求書ニ記名調印シ證據書類アルトキハ之ヲ添附シ當該

船員保險法施行規則

第六節 雜 則

第八十三條 本章ノ規定ニ依リ保險給付ニ關スル申請書、請求書又ハ届書ニ船舶所有者若ハ市町村長ノ證明書又ハ醫師若ハ齒科醫師ノ意見書ヲ添附スヘキ場合ニ於テ其ノ申請書、請求書又ハ届書ニ相當ノ記載ヲ受ケタルトキハ證明書又ハ意見書ノ添附ヲ省略スルコトヲ得

第八十四條 船舶所有者ハ保險給付ヲ受ケントスル者ヨリ本章ノ規定ニ依リ保險給付ニ關スル申請書、請求書又ハ届書ニ添附スヘキ證明書ノ交付ヲ求メラレタルトキ又ハ前條ノ規定ニ依リ證明ノ記載ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第八十五條 保險醫ハ保險給付ヲ受ケントスル者ヨリ本章ノ規定ニ依リ保險給付ニ關スル申請書、請求書又ハ届書ニ添附スヘキ意見書ノ交付ヲ求メラレタルトキ又ハ第八十三條ノ規定ニ依リ意見ノ記載ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第八十六條 保險院長官又ハ地方長官ハ保險醫又ハ保險藥劑師ニ就キ保險給付ニ關シ、帳簿書類ヲ閱覽シ説明ヲ求メ又ハ報告ヲ徵スルコトヲ得

船員保險審査會ニ提出スヘシ
第一次船員保險審査會ニ對スル審査請求書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

- 一 審査請求人ノ氏名、生年月日及住所並ニ審査請求人カ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ非サルトキハ其職業及被保險者又ハ被保險者タリシ者トノ關係
 - 二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ氏名及生年月日並ニ乗組ム船舶(被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶)ノ名稱及船舶所有者ノ氏名住所
 - 三 保險給付ニ關スル申請又ハ請求ヲ受取リタル行政官廳名
 - 四 保險給付ニ關スル處分ヲ爲シタル行政官廳名
 - 五 保險給付ニ關スル處分ノ通知ヲ受ケタル年月日
 - 六 請求ノ事件及一定ノ申立
 - 七 請求ノ理由
 - 八 立證
 - 九 年月日
- 第二次船員保險審査會ニ對スル審査請求書ニハ前項第一號、第二號及第七號乃至第九號ニ掲クル事項ノ外左ニ掲

二五七

クル事項ヲ記載シ第一次船員保險審査會ノ決定書又ハ其ノ謄本ヲ添附スヘシ

一 第一次船員保險審査會ノ決定書ノ交付ヲ受ケタル年月日

二 第一次船員保險審査會ノ決定ニ對スル不服ノ程度及變更ノ申立

第九十一條 口頭ヲ以テ審査ヲ請求シタル者アルトキハ書記ハ前條第二項各號ニ掲クル事項ヲ記載シタル審査請求調書ヲ作製シ讀ミ聞カセタル上之ニ記名調印セシメ證據書類アルトキハ之ヲ提出セシムヘシ

前項ノ審査請求調書ニハ之ヲ作製シタル書記ハ署名捺印スヘシ

第九十二條 船員保險審査會ハ審査ノ請求ヲ受ケタルトキハ保險給付ニ關スル處分ヲ爲シタル行政官廳ニシテ審査請求書又ハ審査請求調書ヲ寫テ送付スヘシ

行政官廳ハ前項ノ審査請求書又ハ審査請求調書ノ寫ノ送付ヲ受ケタルトキハ十日以内ニ答辯書及證據書類ヲ當該船員保險審査會ニ提出スヘシ

第九十三條 船員保險審査會ハ必要アリト認ムルトキハ期限ヲ指定シテ當事者交互ニ辯駁書及答辯書ヲ提出セシム

第九十七條 令第六條第一項ノ規定ニ依リ發スル督促狀ハ様式第八號ニ依ル

第九十八條 廳府縣(東京府ヲ除ク)ノ官吏カ保險料滞納處分ノ爲財産ノ差押ヲ爲ス場合ニ於テ示スヘキ其ノ命令ヲ受ケタル官吏タルノ證票ハ様式第九號ニ依ル

第九十九條 法第十四條ノ規定ニ依ル公告ハ保險料其ノ他法ニ依ル徵收金納入ノ告知及督促ニ關スル書類ニ付テハ保險院ニ、滞納處分ニ關スル書類ニ付テハ道府縣廳(東京府ニ在リテハ警視廳)又ハ船員保險ノ事務ヲ分掌スル廳府縣出張所ニ之ヲ爲スヘシ

第一百條 令第三十五條ノ規定ニ依ル保險料ノ控除ニ關スル計算書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ船舶毎ニ之ヲ備フヘシ

一 被保險者ノ氏名

二 控除シタル保險料ノ所屬月及金額

三 控除シタル年月日

第一百一條 法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ毎月ノ保險料ヲ其ノ月十日迄ニ納付スヘシ

第一百二條 船舶所有者ハ船員保險ニ關スル書類ヲ其ノ完結ノ日ヨリ二年間保存スヘシ

船員保險法施行規則

第九十四條 審査ノ決定書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

一 審査請求人ノ氏名、生年月日及住所

二 保險給付ニ關スル處分ヲ爲シタル行政官廳名

三 決定主文

四 決定ノ理由

五 年月日

前項ノ決定書ノ原本ニハ會長ハ署名捺印スヘシ

第九十五條 船員保險審査會ハ前條第一項ノ決定書ノ原本ニ基キ正本及副本各一通ヲ作製シ船員保險審査會ノ印ヲ押捺シテ遲滞ナク正本ハ之ヲ審査請求人ニ交付シ副本ハ之ヲ關係アル行政官廳ニ送付スヘシ

第九十六條 審査請求人ハ船員保險審査會ニ對シ決定書ノ謄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第四章 雜則

第一百三條 本令ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ爲スヘキ左ニ掲クル事項ニ付テハ船舶所有者ハ船長又ハ船長ノ職務ヲ行フ者ヲシテ其ノ代理トシテ之ヲ處理セシムルコトヲ得

一 第八條第一項第九條、第十條及第十三條ノ規定ニ依ル届出(船長タル被保險者ニ關スルモノヲ除ク)ヲ爲スコト

二 第十九條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ標準報酬ノ決定ヲ爲スコト

三 第二十條第一項ノ規定ニ依リ標準報酬ノ變更ヲ爲スコト

四 第二十一條ノ規定ニ依リ標準報酬ノ等級ヲ船員手帳ニ記載ヲ爲スコト

五 第二十五條第一項ノ規定ニ依リ診療券ノ交付ヲ爲スコト

六 第二十五條第六項ノ規定ニ依リ診療券ノ提出ヲ爲スコト

七 第四十一條第二項、第四十三條第二項及第四十五條第二項ノ規定ニ依ル證明書ノ交付(被保險者タリシ者ニ對スルモノヲ除ク)ヲ爲シ又ハ其ノ交付ニ代フル記載ヲ爲スコト

二五九

第五章 罰 則

第四百四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又

ハ科料ニ處ス

一 第一條乃至第四條、第八條第一項、第九條、第十條又ハ第十三條ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ其ノ届書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

二 第十九條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ決定ヲ怠リ又ハ不當ノ決定ヲ爲シタル者

三 第二十條第一項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ變更ヲ怠リ又ハ不當ノ變更ヲ爲シタル者

四 第二十一條ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ヲ怠リ又ハ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

五 第二十五條第三項ノ規定ニ依ル記載ヲ怠リ又ハ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

六 正當ノ事由ナクシテ第二十五條第四項又ハ第二十八條第三項ノ規定ニ依ル請求ニ應セス、故ナク診療券ノ交付ヲ爲シ又ハ診療券ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

七 第二十五條第六項ノ規定ニ依ル診療券ノ提出ヲ怠リタル者

八 正當ノ事由ナクシテ第八十四條ノ規定ニ依ル請求ニ

應セス又ハ虚偽ノ證明ヲ爲シタル者

九 第百條ノ規定ニ依ル保険料ノ控除ニ關スル計算書ノ備付若ハ記載ヲ怠リ、虚偽ノ記載ヲ爲シ又ハ故ナク被保險者ニ對シ閱覽ヲ拒ミタル者

十 第百二條ノ規定ニ依ル書類ノ保存ヲ怠リタル者

第百五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金

又ハ科料ニ處ス

一 第十五條、第三十一條、第四十條第二項、第五十四條、第五十六條又ハ第七十四條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ届リ又ハ其ノ届書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

二 第七條又ハ第十二條ノ規定ニ依ル申出ヲ怠リ又ハ虚偽ノ申出ヲ爲シタル者

三 第二十五條第五項ノ規定ニ依ル診療券ノ返納ヲ怠リタル者

第百六條 保険院若ハ廳府縣ノ職員又ハ其ノ職ニ在リタル者ハ故ナク第八十六條ノ規定ニ依ル閱覽、説明又ハ報告

ニ關シ知得シタル醫師、齒科醫師若ハ藥劑師ノ業務上ノ秘密又ハ個人ノ秘密ヲ漏洩シタルトキハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

第百七條 第一條乃至第七條、第十二條、第二百二條、第百

四條及第百五條ノ規定ハ昭和十五年三月一日ヨリ、第八條乃至第十一條、第十三條乃至第二十三條及第百三條ノ規定ハ昭和十五年五月一日ヨリ、第二十四條乃至第百一條及第百六條ノ規定ハ昭和十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第百八條 第一條ノ規定施行ノ際現ニ被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有スル船舶所有者ハ其ノ所有スル船舶ニ付其ノ際ノ現在ニ依リ同條各號ニ掲クル事項ヲ記載シタル届書ヲ其ノ住所地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シテ昭和十五年三月三十一日迄ニ保険院長官ニ提出スヘシ

第百九條 第八條ノ規定施行ノ際現ニ被保險者タル船員ヲ雇傭スル船舶所有者ハ其ノ雇傭スル船員タル被保險者ニ付其ノ際ノ現在ニ依リ様式第一號ニ準スル届書ヲ昭和十五年五月三十一日迄ニ保険院長官ニ提出スヘシ

第八條ノ規定施行ノ際法施行地外ニ在ル船舶ニ乗組ム被保險者ニ關シ前項ノ定ムル期日迄ニ届書ヲ提出シ得サル場合ニ於テハ届書提出ノ手續ヲ爲シ得ルニ至リタルトキ直ニ之ヲ提出スヘシ

第百十條 船舶所有者ハ前條ノ規定ニ依ル届書ヲ爲シタル

船員保險法施行規則

トキハ直ニ其ノ被保險者ノ標準報酬ヲ決定スヘシ

前項ノ規定ニ依ル船舶所有者ノ爲シタル標準報酬ノ決定カ不當ナルトキハ保険院長官ハ之ヲ取消シ其ノ標準報酬ノ決定ヲ爲シタル上其ノ旨ヲ船舶所有者ニ通知スヘシ

船舶所有者ハ第一項ノ決定ヲ爲シタルトキハ被保險者ノ受有スル船員手帳ニ其ノ標準報酬ノ等級ヲ記載スヘシ前項ノ通知ヲ受ケタルトキ亦同シ

第百十一條 第百九條ノ規定ニ依ル届書竝ニ前條第一項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ決定及同條第三項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ニ付テハ船舶所有者ハ船長又ハ船長ノ職務ヲ行フ者ヲシテ其ノ代理人トシテ之ヲ處理セシムルコトヲ得

第百十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第百八條又ハ第百九條ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ届書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

二 第百十條第一項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ決定ヲ怠リ又ハ不當ノ決定ヲ爲シタル者

三 第百十條第三項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ヲ怠リ又ハ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

様式第五號(第二十八條) 船員保險診療券

氏名	生年月日	住所	被保險者資格喪失年月日	船舶ノ名稱	船舶所有者	備考	傷病名
	年 月 日		昭和 年 月 日		(住所又ハ所在地) 氏名又ハ稱	船船所有者ノ扶助義務終了年月日	昭和 年 月 日
	男 女 別					開始年月日	昭和 年 月 日
						※昭和 年 月 日	
昭和 年 月 日 地方長官ノ官氏名印							

注意 (二)(一) 船舶所有者の扶助義務が終つてからでなければ保険醫の診療を受けることができません。保険醫に就いて診療を受ける場合にはこの診療券を保険醫に渡さなければなりません。

備考

- 一 本診療券ノ大サハ縦約二十一糎、横約十五糎トス
- 二 本診療券ハ疾病又ハ負傷ノ異ル毎ニ一通發行スルモノトス
- 三 ※印ヲ附シアル欄ハ保險醫ニ於テ之ヲ記載スルモノトス

様式第六號(第三十四條) 船員保險醫變更承認書

氏名	生年月日	住所	被保險者資格喪失年月日	船舶ノ名稱	船舶所有者	備考	傷病名
	年 月 日		昭和 年 月 日		(住所又ハ所在地) 氏名又ハ稱	現在受診ノ保險醫(所在地) 氏名	昭和 年 月 日
	男 女 別						昭和 年 月 日
昭和 年 月 日 地方長官ノ官氏名印							

注意 變更後の保険醫に就いて診療を受ける場合にはこの承認書とその保険醫に渡さなければなりません。

備考 本承認書ノ大サハ縦約二十一糎、横約十五糎トス

様式第七號 (第三十七條)

船員保險診療所入院承認書

氏名	生年月日		傷病名
	年	月	
住所	昭 和 年 月 日		昭 和 年 月 日
	昭 和 年 月 日		療養ノ給付開始年月日
被保險者資格喪失年月日	昭 和 年 月 日	入院豫定ノ診療所	(所在地) (名稱)
船舶ノ名稱	船舶所有者 (住所又ハ所在地) (氏名又ハ名稱)	備考	備考
右診療所入院承認ス			
注意 診療所入院承認書にはこの承認書をその診療所に渡さなければなりません。			

備考

本承認書ノ大サハ縦約二十一種、横約十五種トス

様式第八號 (第九十七條)

第 何 號	何府(縣)何市(郡)何町(村)大子何番地	
	昭 和 何 年 度	何 々 (款)
一 金 何 程	昭 和 何 年 何 月 分 船 員 保 險 保 險 料	々 (項)
一 金 貳 拾 錢	督 促 手 數 料	
一 納期限ノ翌日ヨリ保險料額百圓	延 滞 金	
二 付一日參錢ノ割合ニ依ル金額	右昭和何年何月何日限り日本銀行本店、支店又ハ代理店(何々)へ納付スヘシ	
指定期限迄ニ保險料及手數料ヲ完納シタルトキハ延滞金ヲ徵收セス	指定期限ヲ過キ完納セサルトキハ直ニ其ノ財產差押ノ處分ヲ爲スヘシ	
昭 和 何 年 何 月 何 日	保 險 院 長 官 氏 名	圖

備考

- 一 延滞金ヲ徵收セサルモノニ在リテハ「一納期限ノ翌日ヨリ保險料額百圓ニ付一日參錢ノ割合ニ依ル金額 延滞金」及「指定納期迄ニ保險料及督促手數料ヲ完納シタルトキハ延滞金ヲ徵收セス」ノ文字ヲ記載セサルモノトス
- 二 日本銀行ニ納付ヲ指定シタルトキハ本文ノ「納付スヘシ」ノ下ニ左ノ但書ヲ加フルモノトス「但シ同日ヲ經過シタルトキハ何々へ納付スルヲ要ス」

船員保險法施行規則

備考
本證、綴約八種、横約五種ノ大サトシ厚キ紙ヲ用フシ

氏名	職官
何道府縣廳又ハ何廳府縣何出張所	

(裏面)

第何號	船船保險保險料滯納者財產差押證票
	縣廳府印

(表面)

様式第九號(第九十八條)

船員保險ノ被保險者資格 得喪届出等ニ關スル件

(昭和十五年四月
厚生、逓信省令第一號)

第一條 船員保險ノ被保險者タル海員ノ雇入契約ノ成立、終了及變更ニ付船員法第十八條ノ規定ニ依リ管海官廳(船員法第四十五條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長及之ニ準スル者ヲ含ム以下之ニ同シ)ノ公認ヲ受クヘキ場合ニ於ケル被保險者ノ資格ノ取得、資格ノ喪失、職務ノ變更及報酬月額ノ變更ノ届出、標準報酬ノ決定及變更並ニ船員保險法施行規則ニ依リ船舶所有者カ診療券又ハ證明書ヲ交付スヘキ場合ニ於ケル管海官廳ノ證明ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 被保險者タル海員ノ雇入ニ付管海官廳ノ公認ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ資格ノ取得ニ付様式第一號ニ依ル届書ヲ當該管海官廳ニ提出スヘシ船員保險法施行規則第七條ノ規定ニ依ル申出ヲ爲シタル被保險者ニ付テハ船舶所有者ハ前項ノ届書ニ其ノ申出ヲ

爲シタル事項ヲ附記スヘシ

第三條 被保險者タル海員ノ職務又ハ給料若ハ手當ノ變更ニ付管海官廳ノ公認ヲ受ケタル場合ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ職務又ハ報酬月額ノ變更ニ付様式第二號ニ依ル届書ヲ當該管海官廳ニ提出スヘシ

一 船舶職員以外ノ船員及船員保險法施行令第二十二條各號ニ掲ケル船員以外ノ船員カ船舶職員又ハ船員保險法施行令第二十二條各號ニ掲ケル船員ト爲ルニ至リタルトキ

二 船舶職員又ハ船員保險法施行令第二十二條各號ニ掲ケル船員カ船舶職員以外ノ船員及船員保險法施行令第二十二條各號ニ掲ケル船員ト爲ルニ至リタルトキ

三 標準報酬ノ變更ヲ要スルニ至リタルトキ

第四條 被保險者タル海員ノ雇止ニ付管海官廳ノ公認ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ資格ノ喪失ニ付様式第三號ニ依ル届書ヲ當該管海官廳ニ提出スヘシ

第五條 被保險者タル海員ニシテ雇人ノ公認ヲ受ケサルモ

ノノ死亡又ハ行方不明ニ付船員法施行規則第四十九條ノ規定ニ依リ管海官廳ニ届出ヲ爲シタルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ資格ノ取得及喪失ニ付様式第四號ニ依ル届書ヲ當該管海官廳ニ提出スヘシ

第二條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六條 管海官廳ハ第二條第一項若ハ前條ノ届書又ハ第三條ノ規定ニ依ル報酬月額變更ノ届書ヲ受ケタルトキハ其ノ被保險者ノ標準報酬ノ決定又ハ變更ヲ爲スモノトス

第七條 船舶所有者ハ第二條第一項ノ届書又ハ第三條ノ規定ニ依ル報酬月額變更ノ届書ヲ管海官廳ニ提出シタルトキハ直ニ海員名簿ヲ當該管海官廳ニ提出シ其ノ標準報酬ノ等級ノ記載ヲ受クヘシ

船舶所有者ハ前項ノ記載ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク當該被保險者タル海員ノ標準報酬ノ等級ヲ其ノ受有スル船員手帳ニ記載スヘシ

第八條 管海官廳ハ第五條第一項ノ届書ヲ受ケ標準報酬ノ決定ヲ爲シタルトキハ其ノ標準報酬ノ等級ヲ船舶所有者ニ通知スルモノトス

第九條 船舶所有者ハ船員保險法施行規則第二十五條第二項、第二十八條第三項、第四十一條第三項、第四十三條

第三項、第四十五條第二項又ハ第四十六條第三項ノ規定ニ依リ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ交付スル診療券又ハ證明書ニ其ノ者ノ疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條、第十五條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助又ハ手當ノ支給ヲ爲ス義務ナキコトニ關シ管海官廳ノ證明ヲ受クルコトヲ得

第十條 本令ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ爲スヘキ事項ニ付テハ船舶所有者ハ船長又ハ船長ノ職務ヲ行フ者ヲシテ其ノ代理人トシテ之ヲ處理セシムルコトヲ得

第十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第二條第一項、第三條、第四條又ハ第五條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ其ノ届書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

二 第七條第一項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ヲ受クルコトヲ怠タル者

三 第七條第二項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ヲ怠リ又ハ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

附 則

本令ハ昭和十五年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

様式第一號

乗組員實數					乘組員手帳番號	船員氏名	出生年月日	海技免狀其ノ他ノ資格證明書類ノ種類	職務	報酬月額	手當	標準報酬等級	雇入期間	職業紹介ヲ爲シタル者ノ氏名又ハ名稱	摘要
計	他	其	部	務											
第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	年 月 日	年 月 日								
第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	年 月 日	年 月 日								
第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	年 月 日	年 月 日								
第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	年 月 日	年 月 日								

船員保險ノ被保險者資格得喪届出等ニ關スル件

乘組員實數		甲板上部		機部		事務部		其他		計	
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號
船 名	船 種	船 番 號	第 號	雇 止 年 月 日	雇 止 年 月 日	雇 止 年 月 日	雇 止 年 月 日	雇 止 年 月 日	雇 止 年 月 日	雇 止 年 月 日	雇 止 年 月 日
船 船 所有 者 ノ 住 所 及 氏 名 又 ハ 名 稱		保 險 院 長 官 殿		船 員 保 險 被 保 險 者 資 格 喪 失 届		雇 止 地		雇 入 公 認 ノ 年 月 日 及 官 廳 名		職 務 雇 止 事 由 備 考	
雇 出 者		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	

備考

一 本屆書ノ大サハ縦二十九・七糎、横四十二糎トス
 二 届出者ノ肩書ニハ船舶所有者代理人船長何某又ハ船舶所有者何某ト記載シ捺印スヘシ
 三 氏名ノ記載順序ハ管海官廳ニ提出スヘキ雇止公認申請書ニ記載シアル海員氏名ノ順序ニ一致セシムヘシ
 四 氏名ノ讀ミ方困難ナル被保險者ニ付テハ其ノ氏名ニ振假名ヲ附スヘシ
 五 被保險者ノ資格ヲ取得シタル月ニ於テ其ノ資格ヲ喪失シタル者ニ付テハ其ノ取得シタル日ヲ「備考」欄ニ記載スヘシ
 六 本屆書中船舶番號、雇止地、船員手帳番號、雇入公認ノ年月日及官廳ニ付テハ記載ヲ省略スルモ差支ナシ

船員保險ノ被保險者資格喪失届出等ニ關スル件

船員保險事務共助ニ關スル件

(昭和十五年六月 勅令第三百六十七號)

内地、朝鮮、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ當該地域以外ノ地域ニ在ル期間ニ係ル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關シテハ其ノ地域カ内地ナルトキハ厚生大臣ノ定ムル所ニ依リ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)、朝鮮ナルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ朝鮮總督府遞信局長並ニ管海官廳、郵便局長及郵便所長、臺灣ナルトキハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ臺灣總督府交通局長並ニ管海官廳及船員法第四十五條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ市尹又ハ街庄長、關東州ナルトキハ滿洲國駐劄特命全權大使ノ定ムル所ニ依リ關東海務局長相互ニ其ノ事務ヲ行フ

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則

療所入院ノ承認書ハ船員保險法施行規則様式第五號、第六號又ハ第七號ニ依ルヘシ

船員保險法施行規則第二十七條、第三十三條、第八十五條、第八十六條及第六百六條ノ規定ハ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ對スル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關シ之ヲ準用ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

内地以外ノ地ニ於テ爲ス船員保險ノ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關スル件

(昭和十五年五月 厚生省令第十七號)

第一條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ朝鮮、臺灣又ハ船員保險法施行規則(以下則ト稱ス)第四十七條第一項

船員保險事務共助ニ關スル件・船員保險事務共助ニ關スル勅令施行ニ關スル件 内地以外ノ地ニ於テ爲ス船員保險ノ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關スル件

船員保險事務共助ニ關スル勅令施行ニ關スル件

(昭和十五年六月 厚生省令第二十一號)

第一條 昭和十五年勅令第三六七號船員保險事務共助ニ關スル件ニ依リ朝鮮、臺灣又ハ關東州(以下他ノ地域ト稱ス)ノ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ内地ニ在ル期間ニ係ル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關スル事務ハ本令ノ定ムル所ニ依リ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同シ)之ヲ行フ

第二條 地方長官カ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ對スル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關スル事務ヲ行フ場合ニ於テハ昭和十五年厚生省令第十七號内地以外ノ地ニ於テ爲ス船員保險ノ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關スル件ニ相當スル他ノ地域ノ法令ノ規定ニ依ルモノトス

ノ規定ニ依リ指定スル地(以下指定地ト稱ス)ニ在ル期間ニ係ル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ朝鮮、臺灣又ハ關東州ニ在ル期間ニ係ル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ハ則第二十五條、第二十六條、第二十八條乃至第三十二條、第三十四條第一項、第三十六條、第三十七條第一項及第二項、第三十八條乃至第四十六條、第八十三條、第八十四條、第八十七條、第九十三條、第九十四條及第九十五條ノ規定ニ依ル但シ第二十五條、第二十八條乃至第三十二條、第三十四條第一項、第三十六條、第三十七條第一項第三十八條乃至第四十二條、第四十四條、第四十六條及第八十七條中單ニ「地方長官」トアルハ朝鮮ニ在リテハ「朝鮮總督府遞信局長」、臺灣ニ在リテハ「臺灣總督府交通局長」、關東州ニ在リテハ「關東海務局長」トシ「様式第五號ニ依ル診療券」トアルハ「診療券」トシ「管轄スル地方長官」トアルハ朝鮮ニ在リテハ「管轄スル管海官廳(朝鮮船員令ノ規定ニ依ル管海官廳ノ事務ヲ行フ郵便局長ヲ含ム)ヲ經由シテ朝鮮總督府遞信局長」、臺灣ニ在リテハ「管轄スル管海官廳ヲ經由シテ臺灣總督府交

通局長、關東州ニ在リテハ「管轄スル關東海務局長」トシ「入院ノ承認ヲ受ケタル地方長官」トアルハ朝鮮ニ在リテハ「入院シタル診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳（朝鮮船員令ノ規定ニ依ル管海官廳ノ事務ヲ行フ郵便局長ヲ含ム）ヲ經由シテ朝鮮總督府遞信局長」、臺灣ニ在リテハ「入院承認申請當時現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所所在地（療養ノ給付開始前ナルトキ又ハ療養ノ給付開始後ト雖モ其ノ療養ノ給付力療養費ノ支給ナルトキハ入院セントスル診療所ノ所在地）ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シテ臺灣總督府交通局長」、關東州ニ在リテハ「關東海務局長」トス

前項ノ規定ニ依リ申請書、請求書ハ届書ヲ提出スル場合ニ於テハ之ニ内地ノ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ナル旨ヲ附記スヘシ

第三條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ對シ朝鮮、臺灣又ハ關東州ニ於テ爲ス療養ノ給付ニ付テハ船員保險法施行令第三十一條中「保險院長官」トアルハ朝鮮ニ在リテハ「朝鮮總督府遞信局長」、臺灣ニ在リテハ「臺灣總督府交通局長」、關東州ニ在リテハ「關東海務局長」トス

第四條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ指定地（關東州ヲ除ク）ニ在ル期間ニ係ル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ハ則第二十五條乃至第三十四條、第三十六條乃至第四十六條、第八十三條乃至第八十七條、第三百三條乃至第三百六條ノ規定ニ依ル但シ第二十五條、第二十八條乃至第三十二條、第三十四條、第三十六條乃至第四十二條、第四十四條、第四十六條及第八十七條中「地方長官」、「診療ヲ受ケントスル保險醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官」、「第六號ニ掲クル保險醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官」、「現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官」、「現ニ診療ヲ受クル保險醫（申請當時療養ノ給付開始前ナルトキ又ハ療養ノ給付開始後ト雖モ其ノ療養ノ給付力療養費ノ支給ナルトキハ診療ヲ受ケントスル保險醫）ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官」ニ現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所所在地（申請當時療養ノ給付開始後ト雖モ其ノ療養ノ給付力療養費ノ支給ナルトキハ診療ヲ受ケントスル診療所ノ所在地）ヲ管轄スル地方長官、「入院ノ承認ヲ受ケタル地方長官」、「第八號ニ掲クル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官」、「診療其ノ他ノ手

船員保險特別會計法

（昭和十五年三月法律第十三號）

當ヲ受ケタル醫師若ハ齒科醫師ノ診療所所在地又ハ其ノ他ノ者ノ住所ヲ管轄スル地方長官」又ハ「第十一號ニ掲クル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官」トアルハ「保險院長官」トス

前項ノ規定ニ依リ申請書、請求書又ハ届書ヲ提出スル場合ニ於テハ當該地ニ駐在スル帝國ノ領事官ニ之ヲ差出スヘシ

第五條 被保險者タリシ者カ内地以外ノ地ニ於テ療養ノ給付ヲ受ケントスル場合ニ於テハ第二條若ハ前條又ハ則第三十四條ノ規定ニ依リ朝鮮總督府遞信局長、臺灣總督府交通局長、關東海務局長、保險院長官又ハ地方長官ヨリ交付ヲ受ケタル保險醫變更ノ承認書ハ本令ニ於テ依ルコトヲ定メタル則第三十條ノ規定ニ依リ提出スヘキ診療券ト看做ス

附 則

本令ハ昭和十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一條 船員保險事業ノ會計ハ之ヲ特別トシ其ノ歳入ヲ以テ其ノ歳出ニ充ツ

關東州、朝鮮及臺灣ニ於ケル船員保險ノ事業ノ歳入歳出並ニ關東州、朝鮮及臺灣ニ於テ爲サル當該地域以外ノ地域ニ於ケル船員保險ノ事業ノ歳入歳出ハ前項ノ規定ニ拘ラス勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ夫々關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ニ所屬セシムルコトヲ得

第二條 本會計ニ於テハ保險料、一般會計ヨリノ受入金、關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ヨリノ受入金、積立金ヨリ生スル收入、借入金及附屬雜收入ヲ以テ其ノ歳入トシ保險給付費、關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ特別會計ヘノ繰入金、借入金ノ償還金及利子、事業取扱費其ノ他ノ諸費ヲ以テ其ノ歳出トス

第三條 本會計ニ於ケル歳入總額ノ歳出總額ニ超過スル金額ハ之ヲ積立ツヘシ

船員保險特別會計法

本會計ノ歲計ニ不足アルトキハ積立金ヨリ之ヲ補足スヘ

シ

第四條 本會計ニ於テ保險給付費並ニ關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ニ繰入ルル金額ヲ支辨スル爲必要アルトキハ政府ハ本會計ノ負擔ニ於テ借入ヲ爲スコトヲ得

第五條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ餘裕アルトキハ之ヲ大

藏省預金部ニ預入ルヘシ

第六條 本會計ノ積立金ハ國債ヲ以テ保有シ又ハ大藏省預金部ニ預入レ之ヲ運用スルコトヲ得

第七條 政府ハ毎年本會計ノ歲入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳

出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第八條 本會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

本法ハ昭和十五年度ヨリ之ヲ施行ス

ルコトヲ得關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ノ勅令ヲ以テ定ムル支出金ノ額ニ相當スル金額ニ付亦同シ

第三條

關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ハ夫々關東州、朝鮮及臺灣ニ於ケル船員保險ノ保險料ノ測定濟歳入額ニ相當スル金額、勅令ヲ以テ定ムル收入ノ額ニ相當スル金額並ニ船員保險特別會計ニ於テ保險給付ニ要シタル費用ニ關シ第一條ノ規定ニ依リ分擔スヘキ金額ヲ船員保險特別會計ニ繰入ルルコトヲ得

關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計相互間ニ於テハ當該特別會計カ他ノ特別會計ニ於テ保險給付ニ要シタル費用ニ關シ第一條ノ規定ニ依リ分擔スヘキ金額ヲ其ノ特別會計ニ繰入ルルコトヲ得

附 則

本法ハ昭和十五年度ヨリ之ヲ施行ス

船員保險事業ノ經營ニ伴フ關係各會計間ノ分擔及關涉ニ關スル法律・船員保險特別計規則

船員保險事業ノ經營ニ伴

フ關係各會計間ノ分擔及

關涉ニ關スル法律

(昭和十五年三月法律第十四號)

第一條 内地、關東州、朝鮮又ハ臺灣ニ於ケル船員保險ニ於テ療養ノ給付及傷病手當金ヲ除クノ外保險給付ヲ爲シタル場合被保險者タリシ者カ内地、關東州、朝鮮及臺灣ノ中二以上ノ地域ニ於ケル船員保險ノ被保險者タリシ者ナルトキハ其ノ保險給付ニ要スル費用ニ付國庫ノ負擔スル金額ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ一般會計並ニ關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ニ於テ之ヲ分擔ス

第二條 船員保險特別會計ハ關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ニ於テ夫々關東州、朝鮮及臺灣ニ於ケル船員保險ニ付療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ要シタル費用ニ相當スル金額並ニ其ノ他ノ保險給付ニ要シタル費用ノ五分ノ四ニ相當スル金額ヲ其ノ特別會計ニ繰入ル

船員保險特別會計規則

(昭和十五年六月勅令第三百七十七號)

第一條 歳入歳出ノ豫定計算書ハ所管大臣之ヲ調製シ前年度九月三十日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

前項ノ豫定計算書ニハ其ノ年三月三十一日現在ノ積立金明細目錄ヲ添附スヘシ

第二條 歳入歳出ノ豫算ハ決定ノ後豫備費ヲ除キ所管大臣保險院長官ニ命シテ之ヲ執行セシムヘシ但シ他ノ官吏ニ命シテ其ノ一部ヲ執行セシムルコトヲ得

第三條 本會計ニ於テハ當該年度ノ收入濟歳入額ヲ以テ支拂元受高トシ歳出ヲ支出スルハ此ノ支拂元受高ヲ超過スルコトヲ得ス

第四條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ不足ヲ生シタルトキハ所管大臣ハ大藏大臣ノ承認ヲ經テ積立金ニ屬スル現金ヲ前條ノ支拂元受高ニ繰替使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ繰替使用シタル金額ハ當該年度内ニ之ヲ返還スヘシ

第五條 毎年度出納ノ完結迄ニ收入濟又ハ支出濟ト爲ラサルモノハ現ニ其ノ收支ヲ爲シタル年度ノ歳入又ハ歳出トス

第六條 歳入徴收官ハ毎月徴收報告書ヲ調製シ参照書類ヲ添ヘ之ヲ保險院長官ニ送付スヘシ

第七條 保險院長官ハ徴收報告書ニ依リ毎月徴收總報告書ヲ調製シ参照書類ヲ添ヘ所管大臣ヲ經由シテ其ノ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第八條 支出官ハ毎月支出濟額報告書ヲ調製シ之ヲ保險院長官ニ送付スヘシ

第九條 保險院長官ハ支出濟額報告書ニ依リ毎月支出總報告書ヲ調製シ支出濟額報告書ヲ添ヘ所管大臣ヲ經由シテ其ノ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第十條 毎年度ニ於ケル歳入ノ收入濟額ヨリ歳出ノ支出濟額ヲ控除シタル過剩額ハ之ヲ積立金ニ組入ルヘシ
前項歳入ノ收入濟額カ歳出ノ支出濟額ニ對シ不足アルトキハ之ヲ積立金ヨリ補足スヘシ

第十一條 歳入歳出ノ決定計算書ハ所管大臣之ヲ調製シ翌年度七月三十一日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ
第十二條 保險院ハ日記簿、原簿及補助簿ヲ備ヘ船員保險

ニ關スル一切ノ計算ヲ登記スヘシ
第十三條 保險院ハ歳入簿ヲ備ヘ歳入ノ豫算額、調定濟額、收入濟額、不納缺損額及收入未濟額ヲ登記スヘシ

第十四條 支出官ハ支出簿ノ外支拂元受高差引簿ヲ備ヘ支拂元受高、支出濟額及殘額ヲ登記スヘシ

第十五條 保險院ハ歳出簿及支拂元受高差引簿ヲ備ヘ歳出簿ニハ歳出ノ豫算額、豫算決定後増加額、支出濟額、翌年度繰越額及殘額ヲ登記シ支拂元受高差引簿ニハ支拂元受高、支出濟額及殘額ヲ登記スヘシ

第十六條 本令ニ規定セサルモノニ付テハ會計規則ヲ準用ス

附 則

本令ハ昭和十五年度ヨリ之ヲ適用ス

船員保險特別會計法第一條第二項ノ規定ニ依リ關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ニ所屬セシムル歳入歳出ヲ以テ歳入トシ當該地域ノ船員保險ノ事業ニ於ケル保險給付費、事業取扱費其ノ他ノ諸費(昭和十五年勅令第三六七號ニ依リ當該地域以外ノ他ノ地域ニ於テ支出スルモノヲ除ク)及當該地域以外ノ他ノ地域ノ船員保險ノ事業ニ於ケル保險給付費、事業取扱費其ノ他ノ諸費ニシテ同令ニ依リ當該地域ニ於テ支出スルモノヲ以テ歳出トス

(昭和十五年六月 勅令第三百八十號)

昭和十五年法律第十四號 第二條及第三條ノ規定ニ依リ支出金及收入ノ額ヲ定ムルノ件

(昭和十五年六月 勅令第三百七十九號)

第一條 昭和十五年法律第十四號第二條ノ規定ニ依ル支出金ノ額ハ昭和十五年勅令第三七八號ニ依リ當該特別會計ヨリ指定共濟組合ニ繰入レタル金額及當該地域以外ノ地域ノ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ關シ當該特別會計ニ於テ支出シタル保險給付ニ要シタル費用ノ額トス

第二條 昭和十五年法律第十四號第三條ノ規定ニ依ル收入ノ額ハ昭和十五年勅令第三七八號ニ依リ指定共濟組合ヨリ當該特別會計ニ繰入ルヘキ金額及當該特別會計ニ於テ

船員保險特別會計法第一條第二項ノ規定ニ依リ關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ニ所屬セシムル歳入歳出ハ夫々當該地域ノ船員保險ノ事業ニ於ケル保險料及附屬雜收入ヲ以テ歳入トシ當該地域ノ船員保險ノ事業ニ於ケル保險給付費、事業取扱費其ノ他ノ諸費(昭和十五年勅令第三六七號ニ依リ當該地域以外ノ他ノ地域ニ於テ支出スルモノヲ除ク)及當該地域以外ノ他ノ地域ノ船員保險ノ事業ニ於ケル保險給付費、事業取扱費其ノ他ノ諸費ニシテ同令ニ依リ當該地域ニ於テ支出スルモノヲ以テ歳出トス

船員保險特別會計法第一條第二項ノ規定ニ依リ關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ニ所屬セシムル歳入歳出ノ件・昭和十五年法律第十四號第二條及第三條ノ規定ニ依リ支出金及收入ノ額ヲ定ムルノ件

支出シタル保險給付ニ要シタル費用ニシテ會計規則第二十九條ノ規定ニ依リ歳入ニ組入ルヘキ返納金ノ測定濟額(療養ノ給付及傷病手當金ノ支給以外ノ保險給付ニ關スルモノナルトキハ其ノ測定濟歳入額ノ五分ノ四ニ相當スル額)トス

附 則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

船員保險、關東局、朝鮮
總督府及臺灣總督府ノ各
特別會計並ニ指定共濟組
合間ノ船員保險ニ關スル
積立ツヘキ金額ノ繰入ニ
關スル件

(昭和十五年六月)
勅令第三百七十八號

第一條 一ノ地域(内地、朝鮮、臺灣又ハ關東州トス以下

灣又ハ關東州ノ中當該地域以外ノモノトス以下之ニ同シ)ニ於テ指定共濟組合ノ組合員タラサル被保險者ト爲リタルトキハ當該共濟組合ハ其ノ者ニ付船員保險ノ保險料率ノ計算ノ基礎ニ依リ計算シタル積立ツヘキ額ニ相當スル金額ヲ他ノ地域カ内地ナルトキハ船員保險特別會計ニ、朝鮮ナルトキハ朝鮮總督府特別會計ニ、臺灣ナルトキハ臺灣總督府特別會計ニ、關東州ナルトキハ關東局特別會計ニ繰入ルヘシ

一ノ地域ニ於ケル指定共濟組合ノ組合員タラサル被保險者又ハ被保險者タリシ者カ他ノ地域ニ於ケル指定共濟組合ノ組合員タル被保險者ト爲リタルトキハ一ノ地域カ内地ナルトキハ船員保險特別會計ヨリ、朝鮮ナルトキハ朝鮮總督府特別會計ヨリ、臺灣ナルトキハ臺灣總督府特別會計ヨリ、關東州ナルトキハ關東局特別會計ヨリ其ノ者ニ付船員保險ノ保險料率ノ計算ノ基礎ニ依リ計算シタル積立ツヘキ額ニ相當スル金額ヲ當該共濟組合ニ繰入ルヘシ

附 則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

船員保險、關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計並ニ指定共濟組合間ノ船員保險ニ關スル積立ツヘキ金額ノ繰入ニ關スル件
船員保險法施行令第十條及第八十八條ノ規定ニ基ク命令ニ關スル件

船員保險法施行令第十條
及第八十八條ノ規定ニ基
ク命令ニ關スル件

(昭和十五年五月)
厚生省第十八號

第一條 船員保險法施行令第八條ノ規定(關東州ニ在リテハ之ヲ相當スル法令ノ規定)ニ依リ指定シタル共濟組合(以下指定共濟組合ト稱ス)ヨリ船員保險法第四十六條ノ規定ニ依ル脱退手當金ニ相當スル給付若ハ同法第四十九條ノ規定ニ依ル支給金ニ相當スル給付ヲ受ケタル者又ハ同法第三十四條ノ規定ニ依ル養老年金ニ相當スル給付(指定共濟組合ノ組合員タリシ期間二十年ヲ超ユル者ニ支給セラルルモノニ限ル)ヲ受ケル者ニ付テハ其ノ計算ノ基礎ト爲リタル期間ニ含マルル被保險者タリシ期間ハ之ヲ同法第二十二條第三項(但書ヲ除ク)ノ規定ニ依リ合算スヘキ期間ヨリ除ク

第二條 被保險者タリシ全期間ノ平均報酬年額又ハ平均報酬額ニ依リ計算スル積立ツヘキ金額ノ繰入ニ關スル件

酬月額ヲ計算スル場合ニ於テ指定共濟組合ノ組合員タル被保險者タリシ期間ニ於ケル標準報酬ハ其ノ者カ指定共濟組合ニ納付シタル其ノ期間ニ係ル掛金ノ算定ノ基礎ト爲リタル給料其ノ他ノモノノ月額ニ基キ之ヲ算定ス

第三條 指定共濟組合ヨリ船員保險法第三十四條ノ規定ニ依ル養老年金ニ相當スル給付ハ指定共濟組合ノ組合員タリシ期間二十年ヲ超ユル者ニ支給セラルルモノヲ除ク

ヲ受クル者ガ指定共濟組合ノ組合員タルザル被保險者(以下政府管掌ノ被保險者ト稱ス)ト爲リタル爲其ノ支給ヲ爲サレサルニ至リタル場合ニ於テ其ノ者カ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ於テハ前後ノ被保險者タリシ期間ヲ合算シテ養老年金ノ額ヲ計算ス

前項ノ規定ニ依リ養老年金ノ額ヲ計算スル場合ニ於テ其ノ額ガ指定共濟組合ヨリ支給ヲ受ケタル養老年金ニ相當スル給付ノ額ヨリ少ナキトキハ其ノ從前ノ額ヲ以テ養老年金ノ額トス

第四條 指定共濟組合ノ組合員タル被保險者タリシ者ガ引續キ政府管掌ノ被保險者タル船員保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲リタル場合ニ於ケル標準報酬ハ其ノ者ガ指定共濟組合ノ組合員トシテ最後ニ納付シタル掛金

職務ノ變更及報酬月額ノ變更ノ届出並ニ標準報酬ノ決定及變更ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 被保險者タル海員ノ雇入ニ付臺灣ニ於テ管海官廳ノ公認ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ資格ノ取得ニ付昭和十五年厚生省令第一號船員保險ノ被保險者ノ資格得喪届出等ニ關スル件(以下共同省令ト稱ス)様式第一號ニ依ル届書ヲ當該管海官廳ニ提出シ標準報酬ノ決定ヲ受クベシ

第三條 被保險者タル海員ノ職務又ハ給料若ハ手當ノ變更ニ付臺灣ニ於テ管海官廳ノ公認ヲ受ケタル場合ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ職務又ハ報酬月額ノ變更ニ付共同省令様式第二號ニ依ル届書ヲ當該管海官廳ニ提出スヘシ此ノ場合ニ於テ標準報酬ノ變更ヲ要スルニ至リタルモノナルトキハ其ノ標準報酬ノ變更ヲ受クヘシ

一 船舶職員以外ノ船員及船員保險法施行令第二十二條各號ニ掲クル船員以外ノ船員カ船舶職員又ハ船員保險臺灣ニ於テ管海官廳ノ公認ヲ受クヘキ場合ニ於ケル船員保險ノ被保險者ノ資格得喪届出等ニ關スル件

ノ算定ノ基礎ト爲リタル給料其ノ他ノモノノ月額ニ基キ之ヲ算定ス

附 則 本令ハ昭和十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

臺灣ニ於テ管海官廳ノ公認ヲ受クヘキ場合ニ於ケル船員保險ノ被保險者ノ資格得喪届出等ニ關スル件

(昭和十五年五月 厚生省令第十五號)

第一條 船員保險ノ被保險者タル海員ノ雇入契約ノ成立、終了及變更ニ付臺灣ニ於テ船員法第十八條ノ規定ニ依リ管海官廳(船員法第四十五條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ市尹街庄長ヲ含ム以下之ニ同シ)ノ公認ヲ受クヘキ場合ニ於ケル被保險者ノ資格ノ取得、資格ノ喪失、

法施行令第二十二條各號ニ掲クル船員ト爲ルニ至リタルトキ

二 船舶職員又ハ船員保險法施行令第二十二條各號ニ掲クル船員ガ船舶職員以外ノ船員及船員保險法施行令第二十二條各號ニ掲クル船員以外ノ船員ト爲ルニ至リタルトキ

三 標準報酬ノ變更ヲ要スルニ至リタルトキ

第四條 被保險者タル海員ノ雇入ノ公認ヲ受ケタルモノノ死亡又ハ行衛不明ニ付臺灣ニ於テ船員法施行規則第四十九條ノ規定ニ依リ管海官廳ニ届出ヲ爲シタルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ資格ノ取得及喪失ニ付共同省令様式第四號ニ依ル届書ヲ當該管海官廳ニ提出シ標準報酬ノ決定ヲ受クヘシ

第二條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六條 船舶所有者ハ第二條第一項ノ届書又ハ第三條ノ規定ニ依ル報酬月額變更ノ届書ヲ臺灣ニ於テ管海官廳ニ提

出シタルトキハ直ニ海員名簿ヲ當該管海官廳ニ提出シ其ノ標準報酬ノ等級ノ記載ヲ受クヘシ

船舶所有者ハ前項ノ記載ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク當該被保險者タル海員ノ標準報酬ノ等級ヲ其ノ受有スル船員手帳ニ記載スヘシ

第七條 本令ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ爲スヘキ事項ニ付テハ船舶所有者ハ船長又ハ船長ノ職務ヲ行フ者ヲシテ其ノ代理人トシテ之ヲ處理セシムルコトヲ得

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

- 一 第二條第一項、第三條、第四條又ハ第五條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ其ノ届書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者
- 二 第六條第一項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ヲ受クルコトヲ怠リタル者
- 三 第六條第二項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ヲ怠リ又ハ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

附 則
本令ハ昭和十五年五月十日ヨリ之ヲ施行ス

船員保險ノ保險料率

(昭和十五年五月) 厚生省告示第百三號

- 一 船員保險法第二十八條第二項ノ規程ニ依リ療養ノ給付ヲ爲ササル被保險者及同法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ニ付テハ其ノ標準報酬月額百圓ニ付六圓四十錢ノ割
- 二 前號以外ノ被保險者ニ付テハ其ノ標準報酬月額百圓ニ付八圓二十錢ノ割

船員保險法施行令第八條ノ規定ニ依ル共濟組合ノ指定

(昭和十五年六月) 厚生省告示第百六十二號

昭和十五年六月一日左ノ共濟組合ヲ船員保險法施行令第八條ノ規定ニ依リ指定シタリ
逓信共濟組合 國有鐵道共濟組合

船員保險法施行令第一條第四號ノ規定ニ依ル給料ニ準スヘキモノノ指定ノ件

(昭和十五年三月) 厚生省告示第五十號

船員保險法施行令第一條第四號ノ規定ニ依ル給料ニ準スヘキモノヲ左ノ通指定ス

- 一 給料割増手當ニシテ物價騰貴ニ對シ支給セラルルモノ

船員保險事務取扱規程

(昭和十五年六月) 厚生省訓第百六十七號

第一條 船員保險事務ニ從事スル職員ハ船員保險ニ關スル法令、通牒等ニ通曉シ常ニ事務取扱上過誤ナキコトヲ期ス
船員保險ノ保險料率・船員保險法施行令第八條ノ規定ニ依ル共濟組合ノ指定・船員保險法施行令第一條第四號ノ規定ニ依ル給料ニ準スヘキモノノ指定ノ件・船員保險事務取扱規程

第六條 廳府縣ニハ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

- 一 船員保險船舶臺帳

様式第一號

- 二 船員保險傷病給付臺帳 様式第二號
- 三 船員保險徵收金滯納財産差押證票交付簿 様式第三號

第七條

左ノ届書ヲ受ケタルトキハ船員保險船舶臺帳ヲ整理シ其ノ届書ヲ保險院長官ニ進達スヘシ

- 一 被保險者乗組船舶取得届書(第一條本文前段)
 - 二 被保險者乗組船舶該當届書(則第一條本文後段)
 - 三 被保險者乗組船舶離權届書(則第二條本文前段)
 - 四 被保險者乗組船舶該當除外届書(則第二條本文後段)
 - 五 被保險者保組船舶包括承繼届書(則第三條)
 - 六 被保險者乗組船舶名稱變更届書(則第四條)
- 前項ノ届書ヲ受ケタルトキ其ノ船舶若ハ船舶所有者ガ他ノ廳府縣ニ在リタルモノナルトキハ其ノ廳府縣ニ船舶臺帳ノ寫ノ送付方ヲ照會シ又他ノ廳府縣ニ移動シタルコトヲ知リタルトキハ船舶臺帳ノ寫ヲ其ノ廳府縣ニ送付シ其ノ旨ヲ通知スルコト

第八條

診療券交付請求書(則第二十九條第一項)ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スコト

- 一 診療券ヲ交付スヘキモノト決シタルトキハ診療券ヲ請求者ニ交付スルコト
 - 二 承認スルモノト決シタルトキハ承認書ヲ申請者ニ交付スルコト
 - 三 尙看護ノ承認ニ付テハ其ノ期間ヲモ決定スルコト
 - 四 傷病給付臺帳ヲ整理スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラサルトキハ本申請書ニ依リ登載スルコト
- 前項ノ規定ハ處置手術等受給届書、看護受給届書又ハ移送受給届書(則第三十六條第一項但書)ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條

入院承認申請書(則第三十七條第一項)ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

- 一 傷病給付臺帳ト照合スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラサルトキハ療養ノ給付ヲ受ケ得ヘキ者ナリヤ否ヤヲ現ニ診療ヲ爲ス保險醫ニ就キ又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ確ムルコト
- 二 承認スルモノト決シタルトキハ入院期間ヲモ決定シ

診療券ヲ交付シタル者ニ付テハ船員保險傷病給付臺帳(以下傷病給付臺帳ト稱ス)ニ登載スルコト

診療券ヲ交付スヘカラサルモノト決シタルトキハ其ノ旨請求者ニ通知スルコト

第九條

保險醫變更承認申請書(則第三十四條第一項)ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

- 一 傷病給付臺帳ト照合スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラサルトキハ療養ノ給付ヲ受ケ得ヘキ者ナリヤ否ヤヲ現ニ診療ヲ爲ス保險醫ニ就キ又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ確ムルコト
- 二 承認スルモノト決シタルトキハ承認書ヲ申請者ニ交付スルコト
- 三 承認セサルモノト決シタルトキハ其ノ旨ヲ申請者ニ通知スルコト
- 四 傷病給付臺帳ヲ整理スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラサルトキハ本申請書ニ依リ登載スルコト

第十條

處置手術等承認申請書、看護承認申請書又ハ移送承認申請書(則第三十六條第一項)ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

- 一 傷病給付臺帳ト照合スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラサルトキハ本申請書ニ依リ登載スルコト
 - 二 傷病給付臺帳ヲ整理スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラサルトキハ本申請書ニ依リ登載スルコト
 - 三 承認セサルモノト決シタルトキハ其ノ旨ヲ申請者ニ通知スルコト
 - 四 傷病給付臺帳ヲ整理スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラサルトキハ本申請書ニ依リ登載スルコト
 - 五 入院豫定ノ診療所ノ所在地ガ他ノ廳府縣ノ管轄區域内ニアルトキハ其ノ廳府縣ニ對シ當該被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ傷病給付臺帳ノ寫ヲ送付シ併セテ其ノ旨ヲ通知スルコト
- 前項第五號ノ規定ニ依ル傷病給付臺帳ノ寫ノ送付ヲ受ケタル廳府縣ハ其ノ寫ニ依リ傷病給付臺帳ニ登載スヘシ
- 前二項ノ規定ハ入院届書(則第三十七條第一項但書)ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第十二條

豫定外診療所入院届書(則第四十條第二項)ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

- 一 傷病給付臺帳ヲ整理スルコト
- 二 入院シタル診療所ノ所在地ガ他ノ廳府縣ノ管轄區域内ナルトキハ其ノ廳府縣ニ對シ當該被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ傷病給付臺帳ノ寫ヲ送付シ併セテ其ノ旨ヲ通知スルコト但シ前條第一項第五號ノ規定ニ依リ

傷病給付臺帳ノ寫ヲ送付シタルモノニ在リテハ其ノ送付先ノ廳府縣ニ對シ豫定外ノ診療所ニ入院シタルコト（入院シタル診療所ノ名稱及所在地並ニ入院ノ年月日ヲ附記シ）ヲ通知スルコト

前項第二號ノ規定ニ依リ傷病給付臺帳ノ寫ノ送付又ハ同號但書ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル廳府縣ハ之ニ依リ傷病給付臺帳ニ登載シ又ハ傷病給付臺帳ヲ整理スヘシ

第十三條 保險醫ヨリ診療報酬請求書ヲ受ケタルトキハ傷病給付臺帳ヲ整理スヘシ但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラサルトキハ本請求書ニ依リ登載シ尙他ノ廳府縣ニ於テ保險醫變更ノ承認ヲ受ケタルモノナルトキハ其ノ廳府縣ニ對シ當該被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ傷病給付臺帳ノ寫ノ送付方ヲ照會スルコト

前項ノ規定ハ保險藥劑師ヨリ調劑報酬請求書ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第十四條 指定外醫師受療承認申請書（則第四十一條第一項）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

一 傷病給付臺帳ト照合スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラサルトキハ當該疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付（又ハ療養費支給）ノ開始アリタル廳府縣ニ對シ傷病

書（則第四十三條第一項）、指定外醫師受療ノ場合ノ療養費支給申請書（則第四十四條）又ハ緊急ノ場合ノ療養費支給申請書（則第四十五條第一項）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

一 傷病給付臺帳ト照合スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラサルトキハ當該疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付（又ハ療養費支給）ノ開始アリタル廳府縣ニ對シ傷病給付臺帳ノ寫ノ送付方ヲ照會スルコト

二 支給スルモノト決シタルトキハ支給額ヲ決定シ支給決定通知書ヲ申請者ニ交付スルコト

三 支給セサルモノト決シタルトキハ其ノ旨ヲ申請者ニ通知スルコト

四 傷病給付臺帳ヲ整理スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラサルトキハ本申請書ニ依リ登載スルコト

前條第二項ノ規定ハ前項第一號但書ノ照會ヲ受ケタル廳府縣ニ之ヲ準用ス

前條第三項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ通知ヲ受ケタル廳府縣ニ之ヲ準用ス

第十六條 第三者ノ行爲ニ因ル傷病受療届書（則第三十二條）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

船員保險事務取扱規程

給付臺帳ノ寫ノ送付方ヲ照會スルコト
二 承認スルモノト決シタルトキハ承認書ヲ申請者ニ交付スルコト

三 承認セサルモノト決シタルトキハ其ノ旨ヲ申請者ニ通知スルコト

四 傷病給付臺帳ヲ整理スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラサルトキハ本申請書ニ依リ登載スルコト

前項第一號但書ノ照會ヲ受ケタル廳府縣ニシテ當該疾病又ハ負傷ノ療養ノ給付ニ關シ會テ他ノ廳府縣ニ對シ傷病給付臺帳ノ寫ヲ送付シタルコトアルトキハ其ノ廳府縣ニ對シ現在ノ傷病給付臺帳ノ寫ヲ前項第一號但書ノ照會ヲ發シタル廳府縣ニ送付スヘキ旨ヲ通知シ且前項第一號但書ノ照會ヲ發シタル廳府縣ニ對シ此ノ通知ヲ發シタル旨ヲ通知スヘシ

前項前段ノ通知ヲ受ケタル廳府縣ニシテ當該疾病又ハ負傷ノ療養ノ給付ニ關シ會テ他ノ廳府縣ニ對シ傷病給付臺帳ノ寫ヲ送付シタルコトアルトキハ其ノ廳府縣ニ於テモ前項ノ規定ニ依リ夫夫通知ヲ爲スヘシ以下同様ノ場合ノ廳府縣亦之ニ同シ
第十五條 療養ノ給付受給困難ナル場合ノ療養費支給申請

一 傷病給付臺帳ヲ整理スルコト
二 當該疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ヲ爲ササルニ至リタルトキハ其ノ事實及其ノ給付ニ要シタル費用額ヲ保險院長官ヨリ報告スルコト

保險院長官ヨリ報告スルコト
キ旨ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク其ノ手續ヲ爲スヘシ
前二項ノ規定ハ療養費ノ支給ヲ爲シタル疾病又ハ負傷カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタルモノナル場合ニ之ヲ準用ス

第十七條 傷病手當金支給請求書（則第四十六條）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

一 傷病給付臺帳ト照合スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラサルモノニ在リテハ傷病手當金ノ支給ヲ受ケ得ヘキ者ナリヤ否ヤヲ診療ヲ爲シタル醫師等ニ就キ又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ確ムルコト

二 支給スルモノト決シタルトキハ支給額ヲ決定シ支給決定通知書ヲ請求者ニ交付スルコト

三 支給セサルモノト決シタルトキハ其ノ旨ヲ請求者ニ通知スルコト

四 傷病給付臺帳ヲ整理スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登

載シアラサルトキハ本請求書ニ依リ登載スルコト

第十八條 法第五十一條第一項、第五十二條、第五十四條

又ハ第五十六條第二項ノ規定ニ依リ療養ノ給付又ハ傷病

手當金ノ支給ノ全部又ハ一部ヲ爲ササリシトキハ傷病給

付臺帳ヲ整理スヘシ

第十九條 前條ノ場合ニ於テハ其ノ事實ヲ遲滞ナク保險院

(様式條一號) 船員保險船舶臺帳 (第六條)

長官ニ報告スヘシ

第二十條 詐欺其ノ他ノ不正ノ行爲ニ依リ療養ノ給付又ハ

傷病手當金ヲ受ケ又ハ受ケントシタル者アルトキハ其ノ

事實ヲ直ニ保險院長官ニ報告スヘシ

第二十一條 癱疾給付請求書(則第七十條第一項)ヲ受ケ

タルトキハ之ニ記載シアル癱疾ノ状態ノ程度ヲ調査ノ上

意見ヲ具シ之ヲ保險院長官ニ進達スヘシ

船舶所有者	船舶番號	船籍港	用途	總噸數	常用噸數	航行區域 航船ニ在リテハ 漁業ノ種類	住所又ハ所在地	氏名又ハ名稱
	第 號							

備考	船員保險法適用年月日及事由	
	年 月 日	事由

備考

- 一 「船員保險法適用年月日及事由」欄ニハ被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有スルニ至リタル年月日及事由又ハ所有スル船舶ヲ被保險者ノ乗組ム船舶ト爲リタル年月日及事由ヲ記載スルコト(事由ハ「新造」、「何會社(何某)ヨリ讓受」、「漁業種類何々ヲ變更」、「船籍港臺灣ヨリ變更」等ノ如ク簡明ニ之ヲ記載スルコト)尙船員保險法施行規則第一條ノ規定施行ノ際現ニ被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有スルモノニ付テハ「昭和十五年三月一日法施行」ト記載スルコト
- 二 被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有セサルニ至リタルトキ又ハ所有スル船舶カ被保險者ノ乗組ム船舶ニ非サル船舶ト爲リタルトキハ其ノ年月日及事由ヲ「備考」欄ニ記載シ且上方欄外ニ「消込」ト朱書スルコト(事由ハ「解散」、「何會社(何某)ヘ讓渡」、「漁業種類何々ニ變更」、「船籍港臺灣ニ變更」等ノ如ク簡明ニ之ヲ記載スルコト)
- 三 記載シアル事項ニ變更アリタルトキハ當該事項ヲ更訂スルノ外其ノ變更ノ事項及年月日ヲ「備考」欄ニ記載スルコト
- 四 本臺帳ハカード式ト爲スモ可ナルコト

認メタルトキハ其ノ年月日及看護ノ承認ニ在リテハ看護期間、不承認ノ場合ハ其ノ旨

(ハ) 入院ノ承認ヲ爲シタルトキ又ハ入院ノ届出アリタル場合ニ於テ之ヲ認メタルトキハ其ノ年月日並ニ入院豫定ノ診療所(届出ヲ認メタルトキハ入院シタル診療所)ノ名稱所在地及入院期間、不承認ノ場合ハ其ノ旨

(ニ) 入院豫定外ノ診療所ニ入院シタルコトノ届出アリタルトキハ入院月日並ニ診療所ノ名稱及所在地

(ホ) 指定外醫師ニ就キ受療スルコトノ承認ヲ爲シタルトキハ其ノ年月日並ニ診療ヲ受ケントスル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地、不承認ノ場合ハ其ノ旨

八 「前所屬廳名」欄ニハ傷病給付臺帳ノ寫ノ送付又ハ通知ヲ受ケタル場合ニ其ノ寫又ハ通知ヲ發シタル廳府縣名ヲ記載スルコト

載スルコト

九 「爾後所屬廳名」欄ニハ傷病給付臺帳ノ寫ヲ送付シタル場合ニ其ノ送付先ノ廳府縣名ヲ記載スルコト

十 「療養ノ給付終了年月日」欄及「療養ノ給付終了事由」欄ノ當該廳府縣ノ管轄區域内ニ於テ療養ノ給付ヲ終了シタルモノノミニ付之ヲ記載スルコト

十一 「當廳管内ノ給付」欄ノ記載ニ付テハ左ニ依ルコト

(イ) 「期間」欄ニハ例ヘハ五日ヨリ十日迄ナルトキハ「五—一〇」ノ如ク記載シ又五日ヨリ十日迄ト十三日ヨリ二十日迄ナルトキハ「五—一〇—一〇」ノ如ク記載スルコト

(ロ) 療養ノ給付ニシテ保險藥劑師ニ於テ藥劑ヲ支給シタルモノ又ハ療養費トシテ支給シタルモノアルトキハ「療養ノ給付」欄ニハ此分ヲ保險醫ニ於テ診療ヲ爲シタル分ト區別シテ記載スルコト尙保險藥劑師ニ於テ藥劑ヲ支給シタルモノニ付テハ「期間」欄ニ「(何日分)」ノ如ク其ノ日數ヲ記載シ「保險醫氏名」欄ニ「藥何某」ノ如ク記載スルコト

又療養費トシテ支給シタルモノニ付テハ「保險醫氏名」欄ニ「(療養費)」ト記載スルコト

(ハ) 傷病手當金ノ額カ令第二十六條ノ規定ニ該當スルモノナルトキハ「備考」欄ニ「(令第二十六條)」ノ如ク附記

スルコト

(ニ) 法第五十一條第一項、第五十二條、第五十四條又ハ第五十六條第二項ノ規定ニ依リ療養ノ給付又ハ傷病手當金ノ支給ノ全部又ハ一部ヲ爲ササリシトキハ其ノ旨及年月日

(ホ) 法第五十五條ノ規定ニ依リ傷病手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セサル旨ノ通知ヲ保險院長官ヨリ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ「備考」欄ニ記載スルコト

十二 左ノ事項ハ之ヲ「摘要」欄ニ記載スルコト

(イ) 被保險者タリシ者ニシテ船員法第十七條又ハ第三十條ノ規定ニ依リ送還セララルル場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ令第二十一條第一號又ハ第二號ノ期間經過後診療ヲ受ケタルモノニ付テハ其ノ事由

(ロ) 第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル疾病又ハ負傷ナルトキハ其ノ事實並ニ第三者ノ氏名及住所(第三者ノ氏名又ハ住所カ不詳ナルトキハ其ノ旨ヲ記載スルコト尙事實ハ之ヲ簡單ニ記載スルコト)

十三 本臺帳ハカード式トナスモ可ナルコト

(様式第三號) 船員保險徵收金滯納財産差押證票交付簿 (第六條)

交付年月日	番 號	官 職 氏 名	返納年月日	取扱者印	備 考

北海道廳健康保險出張所ノ名稱、位置及管轄區域

(昭和四年八月)
內務省告示第二百六十號

改正 昭和八年五月
告示第三百一號

北海道官制第三十七條ニ依リ北海道廳健康保險出張所ノ名稱、位置及管轄區域左ノ通定ム

北海道廳健康保險出張所名稱、位置及管轄區域表

名稱	位置	管轄區域
北海道廳函館健康保險出張所	北海道 函館市 (元町一丁目渡島支廳內)	函館市、渡島支廳管內、檜山支廳管內
北海道廳旭川健康保險出張所	北海道 旭川市 (八條通一七丁目)	旭川市、上川支廳管內、留萌支廳管內、宗谷支廳管內、網走支廳管內
北海道廳釧路健康保險出張所	北海道 釧路市 (浦見町釧路支廳管內)	釧路市、釧路支廳管內、十勝支廳管內、根室支廳管內

警視廳及府縣健康保險出張所ノ名稱、位置及管轄區域

(昭和十年五月)
內務省告示第三百八號

改正 昭和十五年六月
告示第三百一號

警視廳官制第三十四條及地方官官制第四十八條ノ二ノ規定ニ依リ警視廳及府縣出張所ヲ置キ其ノ名稱、位置及管轄區域ヲ別表ノ通定ム
(別表)

警視廳及府縣出張所ノ名稱、位置及管轄區域表

名稱	位置	管轄區域
警視廳芝健康保險出張所	東京府 東京市	芝區、麴町區、神田區、麻布區、赤坂區及大島八丈並小笠原各支廳管內
警視廳京橋健康保險出張所	東京府 東京市	京橋區、日本橋區
警視廳兩國健康保險出張所	東京府 東京市 (本所區東兩區ノ二ノ二)	下谷區、淺草區、本所區、深川區
警視廳龜戶健康保險出張所	東京府 東京市 (城東區龜戶町六ノ一〇〇)	向島區、城東區、葛飾區、江戸川區
警視廳王子健康保險出張所	東京府 東京市 (王子區王子町一〇〇〇)	荒川區、王子區、足立區
警視廳板橋健康保險出張所	東京府 東京市 (板橋區板橋町二ノ五五)	板橋區、豐島區、瀧野川區
警視廳新宿健康保險出張所	東京府 東京市 (四谷區三光町八)	四谷區、牛込區、小石川區、本郷區、目黒區
警視廳品川健康保險出張所	東京府 東京市 (品川區大井立會町五五)	世田谷區、澁谷區、澁橋區、中野區、杉並區
警視廳蒲田健康保險出張所	東京府 東京市 (品川區大井立會町五五)	品川區、大森區、荏原區
警視廳八王寺健康保險出張所	東京府 八王寺市 (元横山町四三)	蒲田區
警視廳八王寺健康保險出張所	東京府 八王寺市	八王寺市、西多摩郡、南多摩郡、北多摩郡
警視廳及府縣健康保險出張所ノ名稱、位置及管轄區域	神奈川縣 川崎市	川崎市、鶴見區

長野縣岡谷健康保 險出張所	長野縣岡谷市	岡谷市、飯田市、諏訪郡、上伊那郡、下伊那郡 西筑摩郡
靜岡縣濱松健康保 險出張所	靜岡縣濱松市	濱松市、榛原郡、小笠郡、周智郡、磐田郡 濱名郡、引佐郡
愛知縣熱田健康保 險出張所	愛知縣熱田市	熱田區、昭和區、中川區、港區、南區、半田市 愛知郡、海部郡
愛知縣一宮健康保 險出張所	愛知縣一宮市	一宮市、羽丹郡、葉栗郡、中島郡
愛知縣岡崎健康保 險出張所	愛知縣岡崎市	岡崎市、碧海郡、幡豆郡、額田郡、西賀茂郡 東賀茂郡
愛知縣豐橋健康保 險出張所	愛知縣豐橋市	豐橋市、北設樂郡、南設樂郡、寶飯郡、渥美郡 八名郡
大阪府大手前健康 保險出張所	大阪府大手前市	東區、西區
大阪府城東健康保 險出張所	大阪府大阪市	天王寺區、東成區、布施市、中河內郡、北河內郡
大阪府天滿健康保 險出張所	大阪府大阪市	北區、東淀川區、旭區、吹田市、三島郡
大阪府淀川健康保 險出張所	大阪府大阪市	此花區、西淀川區、豐中市、豐能郡
大阪府泉尾健康保 險出張所	大阪府大阪市	西區、港區、大正區、浪速區

大阪府玉出健康保 險出張所	大阪府玉出市	住吉區、西成區、堺市、南河內郡
大阪府貝塚健康保 險出張所	大阪府貝塚市	岸和田市、泉南郡、泉北郡
兵庫縣尼崎健康保 險出張所	兵庫縣尼崎市	尼崎市、西宮市、川邊郡、武庫郡、有馬郡 多紀郡、氷上郡
兵庫縣姫路健康保 險出張所	兵庫縣姫路市	姫路市、飾磨市、赤穂郡、佐用郡、宍粟郡、揖保郡 飾磨郡、神崎郡、朝來郡、養父郡、城崎郡、出石郡 美方郡、印南郡、加古郡、加東郡、加西郡、多可郡
福岡縣小倉健康保 險出張所	福岡縣小倉市	門司市、小倉市、戸畑市、八幡市、若松市 京都市、築上郡、企救郡
福岡縣久留米健康 保險出張所	福岡縣久留米市	久留米市、大牟田市、朝倉郡、三井郡、浮羽郡 八女郡、三門郡、三潞郡、三池郡

警視廳及府廳健康保險出張所ノ名稱、位置及管轄區域

船員保險法施行規則第四

十七條第一項ノ規定ニ依

リ船員保險法施行地外ニ

於テ療養ノ給付及傷病手

當金ノ支給ヲ爲ス地ノ指

定

(昭和十五年六月
厚生省告示第三百九號)

關東州、中華民國天津、中華民國青島、中華民國上海、
香港

船員保險特別會計事務取

扱規程

(昭和十五年六月
厚生省訓令第六號)

第一條 船員保險特別會計ニ關スル事務ハ本規程ニ依リ之
ヲ取扱フヘシ

第二條 歳入ノ徵收ニ關シテハ保險院長官、北海道廳長官、
府縣知事(東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同シ)及
廳府縣健康保險出張所長ヲ歳入徵收官トス

第三條 歳入徵收官ハ保險料、督促手數料及延滞金ノ徵收
ニ付テハ徵收補助簿ヲ備ヘ各納人別ニ納人ノ住所氏名、
測定濟額、收入濟額、不納缺損額、收入未濟額及測定濟
收入濟又ハ不納缺損處分ノ年月日其ノ他必要ナル事項ヲ
登記スヘシ

前項ノ徵收補助簿ハ保險院長官タル歳入徵收官ニ在リテ
ハ之ヲ各道府縣別ニ編綴シ保險院長官以外ノ歳入徵收官
ニ在リテハ之ヲ各郡市區別ニ整理シ其末尾ニ計ヲ附スヘ

第四條 歳入徵收官ハ領收濟通知書(出納官吏拂込ノ分ヲ
除ク)、領收濟報告書(本規程第十五條ノ規定ニ依リ現
金領收證書ノ原符ヲ以テ代用スル場合ニ於テハ其ノ原
符)及歳入組入報告書ニ基キ收入濟額日計表ヲ作製スヘ

第五條 歳入徵收官ハ日本銀行ヨリ領收濟通知書及歳入組
入報告書ノ送付ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ額ヲ支出官ニ
通知スヘシ

第六條 歳入徵收官ハ測定超過ニ依ル過納又ハ測定外誤納
ヲ生シタル場合ニ於テハ過誤納額整理簿ヲ備ヘ年度、科
目、金額、事由、納入ノ住所氏名、還付又ハ充當ノ顛末
其ノ他必要ナル事項ヲ登記スヘシ

第七條 歳入徵收官(保險院長官タル歳入徵收官ヲ除ク)
ハ船員保險法第十二條第二項ノ規定ニ依リ滯納處分ヲ市
町村ニ請求シタル場合ニ於テハ處分請求滯納者整理簿ヲ
備ヘ年度、科目、金額、納期、請求市町村、滯納者ノ住
所氏名、督促狀發付年月日及指定期限其ノ他必要ナル事
項ヲ登記シ處理ノ顛末ヲ明瞭ナラシムヘシ

第八條 歳入徵收官不納缺損處分ヲ爲シタルモノニ付テハ
船員保險法施行規則第四十七條第一項ノ規定ニ依リ船員保險特別會計事務取扱規程
養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲ス地ノ指定・船員保險特別會計事務取扱規程

納人ノ住所氏名、科目、金額、事由及保險料ニ付テハ所
屬年月等ヲ記載シタル書類ヲ徵收報告書ニ添付スヘシ

第九條 歳入徵收官ハ田納官吏、郵便局又ハ日本銀行ニ於
テ現金收納後納入告知書又ハ納付書ニ記載セル年度、所
管、會計名又ハ款項ニ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ
翌年度五月三十一日迄ニ出納官吏、取纏郵便局又ハ日本
銀行ニ之カ訂正ヲ請求スヘシ

第十條 保管金取扱規程第十六條及政府保管有價證券取扱
規程第二十條ノ主務官廳ハ保險院、北海道廳、府縣(東
京府ニ在リテハ警視廳)及廳府縣健康保險出張所トス

第十一條 毎年度ノ支拂豫算ハ保險院長官、北海道廳長官
府縣知事及廳府縣健康保險出張所長ニ之ヲ令達ス

第十二條 支出官(保險院長官タル支出官ヲ除ク)ハ歳入
金ノ受入ニ依ル支拂元受高ヲ保險院長官タル支出官ノ支
拂元受高ニ轉換ヲ爲シ其ノ旨直ニ保險院長官ニ通知スヘ
シ但シ差當リ支拂ニ必要ナル資金ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 支出官(保險院長官タル支出官ヲ除ク)ハ當該
年度最終ノ小切手ヲ振出シタルトキハ直ニ其ノ支拂元受
高ノ殘額ヲ保險院長官タル支出ノ支拂元受高ニ轉換シ其
ノ金額及當該年度ノ支出濟總額ヲ保險院長官ニ通知スヘ

第十四條 北海道廳長官、府縣知事及廳府縣健康保險出張所長ハ別記様式ニ依リ歳入歳出決定計算報告書ヲ調製シ翌年度六月十五日迄ニ之ヲ保險院長官ニ送付スヘシ
 保險院長官ハ前項ノ報告書及自己ノ取扱ニ係ル分(前項別記様式ニ依ル)ヲ取纏メ歳入歳出決定計算總報告書ヲ調製シ翌年度六月三十日迄ニ之ヲ厚生大臣ニ送付スヘシ
 第十五條 收入官吏納入告知書ニ依ラスシテ現金ヲ領收シタル場合ニ於ケル領收濟報告書ハ現金領收證書ノ原符ヲ別記様式

以テ代用スヘシ
 第十六條 出納官吏ノ帳簿及金櫃ノ検査員及立會人ハ出納官吏ニ非サル者ノ中ヨリ之ヲ命スヘシ
 第十七條 本令ニ規定セサルモノニ付テハ昭和十三年一月厚生省訓令第一號會計事務取扱規程ニ依ル但シ同令第十二條及第二十五條ニ厚生省又ハ厚生大臣トアルハ保險院長官トス
 附 則
 本規程ハ昭和十五年六月一日ヨリ之ヲ適用ス

昭和何年度船員保險特別會計歳入歳出決定計算報告書

科 目	歳 入		歳 出		備 考
	調定濟額	收入濟額	不納缺損額	收入未濟額	
何々(款)	円	円	円	円	
何々(項)					
何々(目)					
合 計					

備考 保險院ニ於テハ總報告書調製ノ場合ハ豫算額及豫算額ニ比シ收入濟額ノ差欄ヲ設置スルコト

科 目	歳 入		歳 出		備 考
	豫算額	流用増減額	豫算現額	支出現額	
何々(款)	円	円	円	円	
何々(項)					
何々(目)					
計					

備考 流用増減額、不用額及翌年度繰越額アル場合ハ各目ニ付其ノ事由ヲ備考欄ニ記載スルコト

船員保險特別會計事務取扱規程・船員保險審査會ノ名稱、位置及管轄區域

船員保險審查會ノ名稱、位置及管轄區域

(昭和十五年五月) 厚生省告示第百二十六號

第一次 船員保險審查會	名	稱	位	置	管	轄	區	域
東京第一次船員保險審查會	東京府	東京市	東京府	東京市	東京府、神奈川縣、新潟縣、埼玉縣、群馬縣、千葉縣、茨城縣、栃木縣、靜岡縣、山梨縣			
名古屋第一次船員保險審查會	愛知縣	名古屋市	愛知縣	名古屋市	愛知縣、三重縣、岐阜縣、長野縣、福井縣			
大阪第一次船員保險審查會	大阪府	大阪市	大阪府	大阪市	大阪府、京都府、兵庫縣、奈良縣、滋賀縣			
廣島第一次船員保險審查會	廣島縣	廣島市	廣島縣	廣島市	和歌山縣、德島縣、高知縣、岡山縣、山口縣			
福岡第一次船員保險審查會	福岡縣	福岡市	福岡縣	福岡市	廣島縣、鳥取縣、島根縣、岡山縣、山口縣			
仙臺第一次船員保險審查會	宮城縣	仙臺市	宮城縣	仙臺市	香川縣、愛媛縣、長崎縣、大分縣、佐賀縣			
札幌第一次船員保險審查會	北海道	札幌市	北海道	札幌市	宮崎縣、鹿兒島縣、沖繩縣			
					秋田縣、福島縣、岩手縣、青森縣、山形縣			

第二次 船員保險審查會

第二次船員保險審查會

位置 東京府東京市

船員保險審查會職員旅費手當支給規則

(昭和十五年六月) 勅令第四百三十號

第一條 船員保險審查會ノ會長及委員其ノ資格ヲ以テ旅行スルトキハ在職官吏タル者ニハ其ノ本官相當ノ旅費ヲ、其ノ他ノ者ニハ別表ニ依ル旅費ヲ支給ス但シ第三條ノ規定ニ依リ日當ヲ受クル場合ニ於テハ別表ニ依ル日當ヲ支給セス

(別表)

種	類	鐵道賃及船賃	車馬賃(一里ニ付)	日當(一日ニ付)	宿泊料(一夜ニ付)	食卓料(一夜ニ付)
第一次船員保險審查會委員	二等	二等	七十五錢	三圓	五圓	二圓
第二次船員保險審查會委員	二等	二等	一圓二十錢	六圓	九圓	三圓

備考

鐵道賃及船賃ハ運賃等級ヲ二階級ニ區分スル場合ニハ上級ノ運賃トシ、其ノ等級ヲ區分セサル場合ニハ其ノ乗車又ハ乗船ニ要スル運賃トス

船員保險審查會職員旅費手當支給規則・船員保險法施行令第四十九條ノ規定ニ依リ保險給付ニ關スル申請又ハ請求ヲ地方長官以外ノモノカ受取リタルモノニ付テハ保險給付ニ關スル決定ニ不服アル場合ニ於テ其ノ審査ヲ爲ス第一次船員保險審查會ノ指定

三一九

第二條 本令ニ依ル旅費ハ會議ノ爲招集モラレタル場合ニ於テハ會議地又ハ會議地ヲ距ル三里以内ノ地ニ居住スル者ニハ之ヲ支給セス

第三條 船員保險審查會ノ委員其ノ職務ヲ執行シタルトキハ第一次船員保險審查會ノ委員ニ對シテハ七圓、第二次船員保險審查會ノ委員ニ對シテハ十五圓ノ日當ヲ支給ス但シ官吏トシテ委員タル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四條 本令ニ定ムルモノノ外旅費ノ支給ニ關シテハ内國旅費規則ヲ準用ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

船員保險法施行令第四十九條ノ規定ニ依リ保險給付ニ關スル申請又ハ請求ヲ地方長官以外ノモノカ受取リタルモノニ付テノ保險給付ニ關スル決定ニ不服アル場合ニ於テ其ノ審査ヲ爲ス第一次船員保險審査會ノ指定

(昭和十五年五月) 厚生省告示百五十六號

- 一 審査ノ請求ヲ爲ス者ノ住所又ハ居所カ内地ニ在ル場合ニ在リテハ其ノ住所又ハ居所地ヲ管轄スル第一次船員保險審査會
- 二 前號以外ノ場合ニ在リテハ福開第一次船員保險審査會

口頭審問ノ爲船員保險審査會ニ出頭シタル者ニ對スル旅費支給ノ件

(昭和十五年六月) 厚生、内務省令第二號

- 第一條 船員保險法施行令第五十二條ノ規定ニ依リ船員保險審査會ニ口頭審問ノ爲出頭シタル當事者及之ニ代リテ出頭シタル者ニ對シテハ本令ニ依リ旅費ヲ支給ス
 - 第二條 旅費ハ鐵道賃、船賃、車馬賃、日當、宿泊料及食卓料ノ六種トシテ各其ノ順路ニ依リテ之ヲ支給ス但シ天災事變其ノ他已ムヲ得サル事由ニ因リ順路ニ依リテ旅行シ難キ場合ハ實際ノ經路ニ依ル
 - 第三條 鐵道旅行ニハ鐵道賃及水路旅行ニハ船賃ノ各其ノ最低賃金ニ相當スル額ヲ支給ス
- 鐵道八十五料以上、水路五十海里以上ノ旅行ニ在リテハ前項ノ額ノ外普通急行料金を支給ス但シ急行料金を徴セサル線路ニ依ル旅行ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

朝鮮船員保險法施行規則

(昭和十五年三月) 朝鮮總督府令第三十一號

第一章 被保險者

第一節 被保險者ノ乘組ム船舶

- 第一條 被保險者ノ乘組ム船舶ヲ所有(共有及借入ヲ含ム以下之ニ同シ)スルニ至リタルトキ又ハ所有スル船舶カ被保險者ノ乘組ム船舶ト爲リタルトキハ船舶所有者ハ左ニ掲クル事項ヲ十日以内ニ朝鮮總督府遞信局長(以下單ニ遞信局長ト稱ス)ニ届出ツヘシ但シ第三條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス
- 一 船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
- 二 船舶ノ名稱及種類
- 三 船舶番號
- 四 船籍港
- 五 船舶ノ用途
- 六 船舶ノ總噸數
- 七 船舶ノ航行區域(漁船ニ在リテハ業務ノ種類)

- 第四條 陸路旅行ニハ一里ニ付車馬賃三十錢ヲ支給ス但シ片道一里未滿ノ陸路旅行ニ付テハ之ヲ支給セス
- 陸路旅行ノ場合ニ於テ通算上一里未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ切捨トス
- 第五條 日當ハ日數ニ應シ一日ニ付七十錢ヲ支給ス
- 第六條 宿泊料ハ一夜ニ付二圓ヲ支給ス但シ水路旅行ニ付テハ之ヲ支給セス
- 第七條 食卓料ハ船賃ノ中ニ食費ヲ含マサルトキ又ハ官用ノ船舶ニ依リ旅行スル場合ニ於テ官ヨリ賄ヲ爲ササルトキハ一夜ニ付一圓ヲ支給ス
- 第八條 旅行中死亡シタルトキハ其ノ居住地ニ至ル旅費ニ相當スル金額ヲ遺族ニ支給ス
- 第九條 内國旅費規則第五條及第七條ノ規定ハ本令ニ依ル旅費ノ支給ニ之ヲ準用ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

口頭審問ノ爲船員保險審査會ニ出頭シタル者ニ對スル旅費支給ノ件・朝鮮船員保險法施行規則

- 八 當時ニ於ケル乗組員ノ概數
- 九 當該船舶ニ乗組ム被保險者ニ關スル保險料納入告知書ノ送付先ニ關スル希望
- 十 被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有スルニ至リタル年月日及事由又ハ所有スル船舶カ被保險者ノ乗組ム船舶ト爲リタル年月日及事由

第二條 被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有セサルニ至リタルトキハ船舶所有者タリシ者、所有スル船舶カ被保險者ノ乗組ム船舶ニ非サル船舶ト爲リタルトキハ船舶所有者ハ左ニ掲クル事項ヲ十日以内ニ逓信局長ニ届出ツヘシ但シ第三條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スヘキ者アル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

- 一 船舶所有者タリシ者又ハ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
- 二 船舶ノ名稱及種類
- 三 船舶番號
- 四 被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有セルニ至リタル年月日及事由又ハ所有スル船舶カ被保險者ノ乗組ム船舶ニ非サル船舶ト爲リタル年月日及事由

第三條 相續其ノ他ノ包括承繼ニ因リ被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有スルニ至リタル者ハ左ニ掲クル事項ヲ十日以内ニ逓信局長ニ届出ツヘシ但シ前條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

書ノ現在ノ送付先
四 希望スル送付先

第六條 第一條乃至前條ノ届出ハ船舶所有者ノ住所地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由スヘシ

第二節 被保險者ノ資格

第七條 被保險者ノ資格ヲ取得シタル者カ前ニ被保險者タリシ者ニシテ最後ニ被保險者タリシ當時船員保險法施行令(以下單ニ令ト稱ス)第八號ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合(以下指定共濟組合ト稱ス)ノ組合員タル被保險者タリシモノナルトキハ其ノ資格取得ノ際指定共濟組合ノ名稱ヲ船舶所有者ニ申出ツヘシ

被保險者ノ資格ヲ取得シタル者カ最後ニ内地、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者タリシモノナルトキハ其ノ資格取得ノ際左ニ掲クル事項ヲ船舶所有者ニ申出ツヘシ

- 一 内地、臺灣又ハ關東州ノ何レノ船員保險ノ被保險者タリシ者ナリヤノ別
- 二 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱但シ船員保險法(關東州船員保險令ニ於テ依ルコトヲ定メタル場合ヲ含ム)第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タリシ者ナル

朝鮮船員保險法施行規則

船舶ヲ所有スルニ至リタル者ハ左ニ掲クル事項ヲ十日以内ニ逓信局長ニ届出ツヘシ

- 一 新舊船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
- 二 船舶ノ名稱及種類
- 三 船舶番號
- 四 船 籍 港
- 五 當該船舶ニ乗組ム被保險者ニ關スル保險料納入告知書ノ送付先ニ關スル希望
- 六 相續其ノ他ノ包括承繼ニ因リ被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有スルニ至リタル年月日及事由

第四條 船舶所有者ハ被保險者ノ乗組ム船舶ニ付第一條第一項第一號、第二號、第四號乃至第七號ノ事項ニ付變更アリタルトキハ其ノ旨及變更ノ年月日ヲ十日以内ニ逓信局長ニ届出ツヘシ但シ前條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第五條 船舶所有者ハ保險料納入告知書ノ送付先ノ變更ヲ希望スルトキハ左ニ掲クル事項ヲ逓信局長ニ届出ツヘシ

- 一 船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
- 二 船舶ノ名稱
- 三 當該船舶ニ乗組ム被保險者ニ關スル保險料納入告知

トキハ其ノ旨

被保險者ノ資格ヲ取得シタル者カ最後ニ被保險者(内地、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者ヲ含ム)ノ資格ヲ喪失シタル後其ノ氏名ヲ變更シタルモノナルトキハ其ノ資格取得ノ際變更前ノ氏名及變更ノ年月日ヲ船舶所有者ニ申出ツヘシ

第八條 船舶所有者ハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者アルトキハ様式第一號ニ依リ十日以内ニ逓信局長ニ届出ツヘシ

前條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタル被保險者ニ付テハ船舶所有者ハ前項ノ届書ニ其ノ申出アリタル事項ヲ附記スヘシ

第九條 船舶所有者ハ被保險者ノ職務又ハ報酬月額ニ變更アリタル場合ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ様式第二號ニ依リ十日以内ニ逓信局長ニ届出ツヘシ

- 一 船舶職員以外ノ船員及令第二十二條各號ニ掲クル船員以外ノ船員カ船舶職員又ハ令第二十二條各號ニ掲クル船員ト爲ルニ至リタルトキ
- 二 船舶職員又ハ令第二十二條各號ニ掲クル船員カ船舶職員以外ノ船員及令第二十二條各號ニ掲クル船員以外

長ハ其ノ標準報酬ヲ減額シ之ヲ其ノ被保險者ニ通知スヘシ

第二章 保險給付

第一節 療養ノ給付及傷病手當金

第二十二條 療養ノ給付ハ朝鮮船員令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法施行令(船員法施行令及關東州船員令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法施行令ヲ含ム以下之ニ同シ)第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス船船所有者ヨリ受ケルコトヲ得ヘキ期間經過後傷病手當金ノ支給ハ朝鮮船員令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法施行令(以下船員法施行令ト稱ス)第十五條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル手當(船員ノ失業期間ニ對スル手當ヲ除ク以下之ニ同シ)ヲ船船所有者ヨリ受ケルコトヲ得ヘキ期間經過後之ヲ開始ス

第二十三條 被保險者ハ逕信局長ノ指定シタル醫師又ハ齒科醫師(以下保險醫ト稱ス)ニ就キ療養ノ給付ヲ受ケントスルトキハ船船所有者ヨリ様式第四號ニ依ル診療券ノ交付ヲ受ケヘシ

船船所有者ハ前項ノ規定ニ依リ診療券ヲ交付セントスルトキハ其ノ診療券ニ當該疾病又ハ負傷ニ付船員法施行令

險者ニ返付スヘシ

第二十六條 被保險者タリシ者ハ保險醫ニ就キ療養ノ給付ヲ受ケントスルトキハ逕信局長ヨリ様式第五號ニ依ル診療券ノ交付ヲ受ケヘシ但シ被保險者タリシ當時第二十三條第一項ノ規定ニ依リ船船所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者又ハ第二項ノ規定ニ依リ船船所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

被保險者タリシ者ハ船船所有者ニ於テ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務ナキ疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ヲ受ケントスル場合ニ於テ被保險者タリシ當時第二十三條第一項ノ規定ニ依リ船船所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケサリシトキハ其ノ船船所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケヘシ

第二十三條第二項及第四項ノ規定ハ船船所有者カ前項ノ規定ニ依リ診療券ノ交付ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條 被保險者タリシ者ハ前條第一項ノ規定ニ依リ診療券ノ交付ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ診療ヲ受ケントスル保險醫ノ診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ逕信局長ニ提出スヘシ

朝鮮船員保險法施行規則

第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務ナキコトニ關シ管海官廳(朝鮮船員令ノ規定ニ依ル管海官廳ノ事務ヲ行フ郵便局長ヲ含ム以下之ニ同シ)ヨリ證明ノ記載ヲ受ケタル後之ヲ交付スヘシ

船船所有者ハ被保險者ニ診療券ヲ交付スル場合ニ於テハ被保險者ノ受有スル船員手帳ノ官廳記事欄ニ診療券交付ノ年月日及傷病名ヲ記載シタル上認印ヲ捺捺スヘシ

第二十四條 被保險者ハ保險醫ニ就キ診療ヲ受ケントスルトキハ船員手帳及船船所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券ヲ保險醫ニ呈示スヘシ

第二十五條 保險醫ハ被保險者ノ診療ヲ爲シタルトキハ被保險者ノ呈示シタル診療券ニ所定ノ記載ヲ爲シ之ヲ被保

一 住所、氏名及生年月日

二 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日

三 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船船ノ名稱並ニ船船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

四 最後ニ被保險者タリシ當時ノ職務及標準報酬ノ等級

五 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

六 當該疾病又ハ負傷ニ付船船所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依リテ爲ス扶助ノ義務終了ノ年月日

前項ノ請求書ニハ前項第四號及第六號ニ掲クル事項ニ關スル當該船船所有者ノ證明書ヲ添附スヘシ

第二十八條 被保險者タリシ者ハ保險醫ニ就キ診療ヲ受ケントスルトキハ逕信局長ヨリ交付ヲ受ケタル診療券(第二十三條第一項又ハ第二十六條第二項ノ規定ニ依リ船船所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ診療券ヲ保險醫ニ呈示スヘシ)

被保險者タリシ者ハ船員法第十七條又ハ第三十條ノ規定ニ依リ送還セラルル場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ令第二十一條第一號又ハ第二號ノ期間經過後診療ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由ヲ保險醫ニ申出ツヘシ

第二十九條

被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル疾病又ハ負傷ニ付保險醫ニ就キ診療ヲ受クルニ至リタルトキハ左ニ掲クル事項ヲ遲滞ナク第六號ニ掲クル保險醫ノ診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ遞信局長ニ届出ツヘシ

- 一 氏名及生年月日並ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所
- 二 乗組ム船舶(被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶)ノ名稱並ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

- 三 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
- 四 療養ノ給付開始ノ年月日
- 五 當該疾病又ハ負傷カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル事實並ニ第三者ノ住所及氏名(第三者ノ住所又ハ氏名カ不詳ナルトキハ其ノ旨)

第三十條

被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ遞信局長ノ指定シタル藥劑師(以下保險藥劑師ト稱ス)ニ就キ藥劑ノ支給ヲ受ケントスルトキハ現ニ診療ヲ受クル保險醫ヨリ處方箋ヲ交付ヲ受ケ之ヲ保險藥劑師ニ提出スヘシ

第三十三條

前條第二項ノ規定ニ依リ遞信局長ノ交付シタル承認書ハ第二十八條第一項ノ診療券ト看做ス

第三十四條

被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ令第十八條第一項第三號(一回ノ費用二十圓ヲ超ユルモノニ限ル)乃至第五號ノ給付ヲ受クルコトノ承認ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ現ニ診療ヲ受クル保險醫(申請ノ際療養ノ給付開始前ナルトキハ又ハ療養ノ給付開始後ト雖モ其ノ療養ノ給付カ療養費ノ支給ナルトキハ診療ヲ受ケントスル保險醫)ノ診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ遞信局長ニ提出スヘシ但シ已ムヲ得サル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後遲滞ナク左ニ掲クル事項及已ムヲ得サリシ事由ヲ管海官廳ヲ經由シ遞信局長ニ届出ツヘシ

- 一 氏名及生年月日並ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所
- 二 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
- 三 療養ノ給付開始ノ年月日(申請ノ際療養ノ給付開始前トナルトキハ其ノ旨)
- 四 現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ氏名及診療所ノ所在地

朝鮮船員保險法施行規則

第三十一條

保險醫ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ對シ處方箋ヲ交付スル場合ニ於テハ醫師規則第十二條又ハ齒科醫師規則第五條ノ規定ニ依ルノ外其ノ處方箋ニ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ナル旨ヲ記載シ其ノ箇所ニ捺印スヘシ

第三十二條

被保險者タリシ者ハ保險醫變更ノ承認ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ遞信局長ニ提出スヘシ

- 一 住所、氏名及生年月日
- 二 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
- 三 療養ノ給付開始ノ年月日
- 四 現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ氏名及診療所ノ所在地
- 五 保險醫ノ變更ヲ必要トスル事由

第三十三條

被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ令第十八條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券ニ依リテ診療ヲ受クル者ニ在リテハ第二十七條第一項第二號乃至第四號ニ掲クル事項

第三十四條

(申請ノ際療養ノ給付開始前ナルトキハ現ニ診療ヲ受クル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所ノ所在地) 當該疾病又ハ負傷ニ付第二十三條第一項又ハ第二十六條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券ニ依リテ受クル者ニ在リテハ第二十七條第一項第二號乃至第四號ニ掲クル事項 前項ノ申請書又ハ届書ニハ令第十八條第一項第三號乃至第五號ノ給付ヲ必要トスル事由、給付ノ内容及給付ニ要スヘキ費用ノ見積額ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書ヲ添附スヘシ 令第十八條第一項第三號又ハ第四號ノ給付ヲ診療所ニ入院シタル上受ケントスル者ニ在リテハ本條ノ申請ハ之ヲ診療所ニ入院ノ承認ヲ受ケントスル申請ニ併セテ爲スコトヲ得第一項但書ノ規定ニ依ル届出ニ付亦同シ

第三十五條

被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ診療所ニ入院ノ承認ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所ノ所在地(申請ノ際療養ノ給付開始前ナルトキハ又ハ療養ノ給付開始後ト雖モ其ノ療養費ノ支給ナルトキハ入院セントスル診療所ノ所在地)ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ遞信局長

ニ提出スヘシ但シ已ムヲ得サル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後運滞ナク第一號ノ事項及入院シタル診療所ノ名稱、所在地並ニ已ムヲ得サリシ事由ヲ管海官廳ヲ經由シ逓信局長ニ届出ツヘシ

一 前條第一項各號ニ掲クル事項
二 入院豫定ノ診療所ノ名稱及所在地
前項ノ申請書又ハ届書ニハ診療所ニ入院ヲ必要トスル事由及期間ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書ヲ添附スヘシ

逓信局長診療所ニ入院ノ承認ヲ爲シタルトキハ様式第七號ニ依ル承認書ヲ交付スヘシ

第三十六條 逓信局長カ被保險者タリシ者ニ對シ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所以外ノ診療所ニ入院ノ承認ヲ爲シタルトキハ保險醫變更ノ承認ヲ爲シタルモノト看做ス

第三十七條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ診療所ニ入院セントスルトキハ逓信局長ヨリ交付ヲ受ケタル診療所入院承認書ヲ其ノ診療所ニ提出スヘシ此ノ場合ニ於テ被保險者タリシ者ノ入院スヘキ診療所カ現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所以外ノ診療所ナルトキハ其ノ提出スル診

療所入院承認書ハ第二十八條第一項ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ診療券ト看做ス

第三十八條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ診療所ニ入院ノ承認ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ承認申請書ニ記載シタル入院豫定ノ診療所ニ入院スルコト能ハサルニ至リタルトキハ他ノ保險醫ノ診療所ニ入院スルコトヲ得

被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ前項ノ規定ニ依リ他ノ保險醫ノ診療所ニ入院スルニ至リタルトキハ運滞ナク左ニ掲クル事項ヲ入院シタル診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ逓信局長ニ届出ツヘシ

一 氏名及生年月日並ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所
二 診療所入院ノ承認アリタル年月日
三 診療所入院ノ承認申請書ニ記載シタル入院豫定ノ診療所ノ名稱及所在地

第三十九條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ令第二十三條第二號ノ規定ニ依ル承認ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ診療ヲ受ケントスル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ逓信局長ヨリ發セラレヘキ書類ノ送付先

由シ逓信局長ニ提出スヘシ
一 氏名及生年月日並ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所

二 乗組ム船舶ハ被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

三 職務及標準報酬ノ等級（被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者タリシ當時ノ職務及標準報酬ノ等級）

四 被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日

五 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
六 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務アルトキハ其ノ義務終了ノ年月日、其ノ扶助ヲ爲ス義務ナキトキハ其ノ旨

七 疾病又ハ負傷ノ經過
八 診療ヲ受ケントスル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所ノ所在地並ニ其ノ診療ヲ受ケントスル事由
九 當該疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ノ開始アリタル者

朝鮮船員保險法施行規則

ニ在リテハ其ノ開始ノ年月日及其ノ際診療ヲ受ケタル保險醫ノ氏名及診療所ノ所在地

十 船員法第十七條又ハ第三十條ノ規定ニ依リ送還セラレル場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ令第二十一條第一號又ハ第二號ノ期間經過後承認ヲ受ケントスル被保險者タリシ者ニ在リテハ其ノ期間ヲ經過シタル事由

十一 當該疾病又ハ負傷カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタルモノナルトキハ其ノ事實並ニ第三者ノ住所及氏名（第三者ノ住所又ハ氏名カ不詳ナルトキハ其ノ旨）

十二 被保險者ニ在リテハ本條ノ申請ニ係ル療養費ニ關シ逓信局長ヨリ發セラレヘキ書類ノ送付先

前項ノ申請書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ但シ當該疾病又ハ負傷ニ付保險醫ニ就キ診療ヲ受ケタルコトアルトキ又ハ療養費ノ支給ノ申請ヲ爲シタルコトアルトキハ此ノ限ニ在ラス

一 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲナス義務アルトキハ其ノ義務終了ノ年月日ニ關スル當該船舶所有者ノ證明書

二 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務ナキトキハ其ノ義務ナキコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書但シ當該疾病又ハ負傷ニ付第二十三條第一項又ハ第二十六條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ交付ヲ受ケタルコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書

第二十三條第二項ノ規定ハ前項第二號(但書ヲ除ク)ニ掲クル證明書ヲ船舶所有者ニ於テ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ交付スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ療養費ノ支給ヲ受ケントスルトキハ申請書ヲ診療其ノ他ノ手當ヲ受ケタル醫師若ハ齒科醫師ノ診療所ノ所在地又ハ其ノ他ノ者ノ住所地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ逓信局長ニ届出ツヘシ

第四十一條 今第二十三條第一號ノ療養費ノ支給ノ申請書

- ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ
- 一 第三十九條第一項第一號乃至第七號及第九號乃至第十二號ニ掲クル事項
- 二 療養ノ給付ヲ受クルコト困難ナル事由

掲クル證明書ヲ船舶所有者ニ於テ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ交付スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十二條 今第二十三條第二號ノ療養費ノ支給ノ申請書

- ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ
 - 一 氏名及年月日並ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所
 - 二 受ケタル診療ノ内容、期間及之ニ要シタル費用ノ額
 - 三 被保險者ニ在リテハ本條ノ申請ニ依ル療養費ニ關シ逓信局長ヨリ發セラレヘキ書類ノ送付先
- 前項ノ申請書ニハ前項第二號ニ掲クル費用ノ額ニ關スル證據書類ヲ添附スヘシ

第四十三條 今第二十三條第三號ノ療養費ノ支給ノ申請書

- ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ
 - 一 第三十九條第一項第一號乃至第七號及第九號乃至第十二號ニ掲クル事項
 - 二 緊急ナリシコトノ事由
 - 三 手當ヲ受ケタル醫師若ハ齒科醫師ノ氏名及診療所ノ所在地又ハ其ノ他ノ者ノ住所及氏名
 - 四 受ケタル手當ノ内容、期間及之ニ要シタル費用ノ額
- 第四十一條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ場合ハ之ヲ準用ス

三 診療ヲ受ケタル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所ノ所在地

四 受ケタル診療ノ内容、期間及之ニ要シタル費用ノ額前項ノ申請書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ但シ當該疾病又ハ負傷ニ付保險醫ニ就キ診療ヲ受ケタルコトアルトキ又ハ療養費ノ支給ノ申請ヲ爲シタルコトアルトキハ第二號又ハ第三號ノ書類ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

一 前項第四號ニ掲クル費用ノ額ニ關スル證據書類

二 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務アルトキハ其ノ義務終了ノ年月日ニ關スル當該船舶所有者ノ證明者

三 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務ナキトキハ其ノ義務ナキコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書但シ當該疾病又ハ負傷ニ付第二十三條第一項又ハ第二十六條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ交付ヲ受ケタルコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書

第二十三條第二項ノ規定ハ前項第三號(但書ヲ除ク)ニ

第四十四條 被保險者タリシ者ハ傷病手當金ノ支給ヲ受ケ

ントスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ第十一號ニ掲クル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ逓信局長ニ提出スヘシ

- 一 住所、氏名及生年月日
- 二 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日
- 三 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
- 四 最後ニ被保險者タリシ當時ノ職務及標準報酬ノ等級
- 五 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
- 六 療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサリシ期間
- 七 當該疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ヲ受クルトキハ療養ノ給付開始ノ年月日
- 八 當該疾病又ハ負傷ニ付船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ受クルトキハ船舶所有者ノ扶助開始ノ年月日及之ニ要シタル費用ノ額
- 九 當該疾病又ハ負傷ニ付キ船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十五條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル手當ノ支給ヲ爲ス義務アルトキハ其ノ義務終了ノ年月日、其ノ支

- 給ヲ爲ス義務ナキトキハ其ノ理由
- 十 診療所ニ收容セラレタル被保険者ニ在リテハ其ノ診療所ノ名稱、所在地及之ニ收容セラレタル期間並ニ専ラ被保険者タリシ者ニ依リ生計ヲ維持スル者アルトキハ其ノ者ノ氏名、生年月日及被保険者タリシ者トノ續柄又ハ關係
- 十一 第六號ニ掲クル期間内ニ於テ當該疾病又ハ負傷ニ付最後ニ診療ヲ受ケタル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所ノ所在地
- 前項ノ請求書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ但シ當該疾病又ハ負傷ニ付第二回目以後ノ分ノ傷病手當金ノ支給ノ請求書ニ付テハ第二號ニ掲クル書類ヲ添附スルコトヲ要セス
- 一 前項第六號ニ掲クル期間ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書
- 二 當該疾病又ハ負傷ニ付船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ受クルトキハ前項第四號、第八號及第九號ニ掲クル事項ニ關スル當該船舶所有者ノ證明書
- 第二十三條第二項ノ規定ハ第一項第九號後段ニ掲クル事

- 項ニ關スル證明書ヲ船舶所有者ニ於テ被保険者タリシ者ニ交付スル場合ニ之ヲ準用ス
 - 第四十五條 被保険者又ハ被保險者タリシ者ノ法施行地外ノ地ニシテ別ニ指定スル地ニ在ル期間ニ係ル疾病又ハ負傷ニ關シテハ法第五十三條第一項但書ノ規定ニ依リ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲ス
 - 前項ノ規定ニ依リ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲ス場合ニ於テ必要ナル規定ハ別ニ之ヲ定ム
 - 第四十六條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ内地又ハ臺灣ニ在ル期間ニ係ル疾病又ハ負傷ニ關シ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲ス場合ニ於テ必要ナル規定ハ別ニ之ヲ定ム
- 第二節 養 老 年 金
- 第四十七條 養老年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ニハ養老年金證書ヲ交付ス
 - 養老年金證書ノ交付ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ逓信局長ニ提出スヘシ
 - 一 住所、氏名及生年月日
 - 二 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日
 - 三 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ於テモ之ヲ支給ス

- ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
 - 四 養老年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタル當時第五十一條ノ規定ニ該當スルトキハ傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
 - 五 第六十七條第二項ノ規定ニ依リ養老年金ノ支給ヲ受ケントスル者ニ在リテハ其ノ旨
 - 前項ノ請求書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ
 - 一 戶籍ノ抄本
 - 二 印鑑票
 - 三 前項第五號ニ掲クル者ニシテ癡疾年金證書ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其證書
- 第四十八條 養老年金證書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載ス
- 一 證書ノ記號番號
 - 二 養老年金受給者ノ氏名、生年月日及男女ノ別
 - 三 養老年金ノ額
 - 四 養老年金ノ支給開始ノ年月
- 第四十九條 養老年金ハ毎年一月、四月、七月及十月ノ四期ニ於テ各其ノ前月分迄ヲ支給ス但シ前支給期月ニ支給スヘカリシ養老年金又ハ養老年金受給者カ死亡シタル場合ニ於テノ其ノ期ノ養老年金ハ支給期月ニ非サル時期ニ

- 於テモ之ヲ支給ス
- 第五十條 養老年金受給者ハ養老年金ノ支給ヲ受ケントスルトキハ別ニ指定スル官署ニ就キ養老年金證書ヲ呈示シテ其ノ支給ヲ受クヘシ
- 前項ノ場合ニ於テ使用スヘキ印章ハ第四十七條第二項ノ請求書ニ添附シタル印鑑票ニ捺捺シタル印章タルコトヲ要ス
- 第五十一條 傷病手當金又ハ船員法施行令第十五條若ハ第二十六條ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ手當ヲ支給ヲ受クル者ニハ法第三十八條ノ規定ニ依リ其ノ支給ヲ受クルコトヲ得ヘキ期間ニ係ル養老年金ノ支給ヲ停止ス
- 第五十二條 養老年金受給者ハ前條ノ規定ニ該當スルニ至リタルトキハ左ニ掲クル事項ヲ十日以内ニ逓信局長ニ届出ツヘシ但シ第五十五條第一項ノ請求書ヲ提出シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス
- 一 住所及氏名
- 二 養老年金證書ノ記號番號
- 三 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
- 四 傷病手當金又ハ船員法施行令第十五條若ハ第二十六條ノ規定ニ依ル手當ノ支給開始ノ年月日

第五十三條 養老年金受給者ハ第五十一條ノ規定ニ該當セサルニ至リタルトキハ左ニ掲クル事項ヲ十日以内ニ逓信局長ニ届出ツヘシ

- 一 住所及氏名
- 二 養老年金證書ノ記號番號
- 三 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
- 四 傷病手當金又ハ船員法施行令第十五條若ハ第二十六條ノ規定ニ依ル手當ノ支給終了ノ年月日

第五十四條 養老年金受給者ハ被保險者ト爲リタルトキハ左ニ掲クル事項ヲ十日以内ニ逓信局長ニ届出ツヘシ

- 一 住所及氏名
- 二 養老年金證書ノ記號番號
- 三 被保險者資格取得ノ年月日
- 四 乗組ム船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

前項ノ規定ハ養老年金受給者カ内地、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十五條 法第三十九條第二項ノ規定ニ依ル養老年金ノ額ノ改正ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ逓信局長ニ提出スヘシ

- 一 住所及氏名
- 二 養老年金證書ノ記號番號
- 三 變更前ノ住所及變更ノ年月日

第五十八條 養老年金受給者ハ第四十七條第二項ノ請求書ニ添附シタル印鑑票ニ捺捺シタル印章ヲ變更セントスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル届書ニ新印鑑票ヲ添ヘ之ヲ逓信局長ニ提出スヘシ

- 一 住所及氏名
- 二 養老年金證書ノ記號番號

第五十九條 養老年金受給者ハ毎年二月末日迄ニ戶籍ノ抄本ヲ逓信局長ニ提出スヘシ但シ其ノ年ニ於テ養老年金受給者ト爲リタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依ル戶籍ノ抄本ハ提出ノ日前一月以内ニ作成セラレタルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依ル戶籍ノ抄本ノ提出ヲ爲ササル者ニ對シテハ其ノ提出アル迄法第五十七條第二項ノ規定ニ依リ養老年金ノ支給ヲ一時差止ムコトアルヘシ

第六十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ養老年金受給者ハ養老年金證書ノ再交付ヲ請求スルコトヲ得

朝鮮船員保險法施行規則

- 一 住所及氏名
- 二 養老年金證書ノ記號番號
- 三 被保險者資格喪失ノ年月日
- 四 被保險者資格喪失ノ際乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
- 五 被保險者ノ資格喪失當時第五十一條ノ規定ニ該當スルトキハ傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

前項ノ請求書ニハ養老年金證書ヲ添附スヘシ

第五十六條 養老年金受給者ハ其ノ氏名ヲ變更シタルトキハ左ニ掲クル事項ヲ十日以内ニ逓信局長ニ届出ツヘシ

- 一 住所及氏名
- 二 養老年金證書ノ記號番號
- 三 變更ノ氏名及變更ノ年月日
- 前項ノ届書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ
- 一 養老年金證書
- 二 戶籍ノ抄本又ハ氏名ノ變更ニ關スル府尹邑面長ノ證明書

逓信局長ハ前項ノ届出アリタルトキハ養老年金證書ヲ訂正ノ上之ヲ養老年金受給者ニ交付スヘシ

第五十七條 養老年金受給者ハ其ノ住所ヲ變更シタルトキ

- 一 養老年金證書ヲ亡失シタルトキ
- 二 養老年金證書カ毀損汚斑シテ不判明トナリタルトキ
- 前項ノ規定ニ依リ請求ヲ爲サントスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ逓信局長ニ提出スヘシ
- 一 住所及氏名
- 二 養老年金證書ノ記號番號
- 三 亡失シタルトキハ其ノ事實

第一項第二號ノ場合ニ於テハ前項ノ請求書ニ養老年金證書ヲ添附スヘシ

第六十一條 養老年金證書ノ再交付トリタルトキハ從前ノ養老年金證書ハ其ノ効力ヲ失フ

第六十二條 養老年金受給者カ死亡シタルトキハ其ノ遺族ハ遲滞ナク左ニ掲クル事項ヲ逓信局長ニ届出ツヘシ但シ其ノ者ニ於テ法第三十六條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ノ請求ヲ爲サントスル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

- 一 届出者ノ住所及氏名
- 二 養老年金受給者ノ氏名及養老年金證書ノ記號番號
- 三 養老年金受給者ノ死亡ノ年月日
- 前項ノ届書ニハ養老年金證書ヲ添附スヘシ但シ之ヲ添付スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ附記スヘシ

第六十三條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ令第十七條但書ノ規定ニ依リ一時金ノ支給ヲ受クヘキ者ヲ豫告ニ依リ指定セントスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル豫告書ヲ逓信局長ニ提出スヘシ其ノ指定ヲ變更セントスルトキ亦同シ

- 一 豫告者ノ住所、氏名及生年月日
 - 二 豫告者カ養老年金受給者ナルトキハ養老年金證書ノ記號番號
 - 三 豫告者カ養老年金受給者ニ非サルトキハ被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日、最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱、現ニ被保險者タル者ニ在リテハ其ノ乗組ム船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
 - 四 指定セラルル者ノ住所、氏名及生年月日並ニ豫告者トノ續柄又ハ關係
- 前項ノ豫告書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ
- 一 指定セラルル者ト豫告者トノ續柄ヲ證スヘキ書類
 - 二 豫告者ニ捺捺シタル印章ニ付テノ府尹邑面長ノ印鑑證明書

第六十四條 前條ノ指定ヲ取消サントスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル豫告取消書ヲ逓信局長ニ提出スヘシ

- 一 前條第一項第一號乃至第三號ニ掲クル事項
 - 二 指定セラルル者ノ氏名
- 前項ノ届書ニハ之ニ捺捺シタル印章ニ付テノ府尹邑面長ノ印鑑證明書ヲ添附スヘシ
- 第六十五條** 法第三十六條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ逓信局長ニ提出スヘシ

- 一 請求者ノ住所、氏名及生年月日
- 二 養老年金受給者ノ氏名及死亡ノ年月日
- 三 養老年金證書ノ記號番號
- 四 養老年金受給者ト請求者トノ續柄又ハ關係及請求者カ令第十七條但書ノ規定ニ依リ指定セラレタル者ナルトキハ其ノ旨
- 五 請求者カ令第十七條各號ニ掲クル者ナルトキハ他ニ同條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナシト認ムル旨
- 六 請求者カ令第十七條第三號ニ掲クル者ナルトキハ前號ニ掲クル事項ノ外自己ノ外ニ之ニ該當スル者ナシト

認ムル旨

- 前項ノ請求書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ
- 一 養老年金受給者ノ死亡當時其ノ家ニ在ル者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ル戸籍ノ謄本又ハ除カレタル戸籍ノ謄本
 - 二 養老年金受給者ノ死亡ニ關シ府尹邑面長ニ提出シタル死亡診斷書、死體檢案書若ハ檢視調書ニ記載シタル事項ノ府尹邑面長ノ證明書又ハ之ニ代ハルヘキ書類
 - 三 請求者カ養老年金受給者ノ死亡當時其ノ者ニ依リ生計ヲ維持シタル者ナルトキハ其ノ事實ヲ認メ得ヘキ書類
 - 四 請求者カ令第十七條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナルトキハ其ノ遺言書ノ寫
 - 五 養老年金證書

第六十六條

法第三十七條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ逓信局長ニ提出スヘシ

- 一 請求者ノ住所、氏名及生年月日
- 二 被保險者タリシ者ノ氏名及生年月日並ニ死亡ノ年月日
- 三 被保險者タリシ者カ最後ニ被保險者タリシ當時乗組朝鮮船員保險法施行規則

ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱（不詳ノ事項アルトキハ其ノ旨）

- 四 被保險者タリシ者ト請求者トノ續柄又ハ關係及請求者カ令第十七條但書ノ規定ニ依リ指定セラレタル者ナルトキハ其ノ旨
 - 五 請求者カ令第十七條各號ニ掲クル者ナルトキハ他ニ同條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナシト認ムル旨
 - 六 請求者カ令第十七條第三號ニ掲クル者ナルトキハ前號ニ掲クル事項ノ外自己ノ外ニ之ニ該當スル者ナシト認ムル旨
- 前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十七條

養老年金ヲ受クル權利ヲ有スル者カ廢疾年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタルトキハ其ノ廢疾年金ハ之ヲ支給セス養老年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタル者カ同時ニ廢疾年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタルトキ亦同シ

廢疾年金ヲ受クル權利ヲ有スル者カ養老年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタルトキハ其ノ權利ヲ有スル者ノ選擇

ニ依リ一ノ年金ヲ支給ス

第六十八條 癱疾年金又ハ癱疾手當金ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ令第二十七條ニ規定スル期間經過ノ日(其ノ期間内ニ癱疾ノ原因タル疾病又ハ負傷カ治癒シタルトキハ其ノ治癒シタル日)ヨリ十日以内ニ逓信局長ニ提出スヘシ

- 一 住所、氏名及生年月日
- 二 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日
- 三 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
- 四 癱疾ノ原因タル疾病又ハ負傷ノ傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日並ニ治癒シタルリヤ否ヤ及治癒シタルトキハ其ノ年月日
- 五 癱疾ノ状態ノ程度
- 六 癱疾ノ原因タル疾病又ハ負傷ニ付最後ニ診療ヲ受ケタル醫師又ハ醫科醫師ノ氏名及診療所ノ所在地
- 七 癱疾ノ原因タル疾病又ハ負傷カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタルモノナルトキハ其ノ事實並ニ第三者ノ住所及氏名(第三者ノ住所又ハ氏名カ不詳ナルトキハ其ノ旨)

月末日迄ニ逓信局長ニ提出スヘシ但シ其ノ年ニ於テ癱疾年金受給者ト爲リタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

一 住所及氏名

二 癱疾年金證書ノ記號番號

三 癱疾ノ状態ノ程度

前項ノ届書ニハ同項第三號ニ掲クル事項ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ

第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲ササル者ニ對シテハ其ノ届出アル迄法第五十七條第二項ノ規定ニ依リ癱疾年金ノ支給ヲ一時差止ムルコトアルヘシ

第七十二條 癱疾年金受給者ハ其ノ癱疾カ癱疾年金ヲ受クル程度ノ状態ニ該當セサルニ至リタルトキハ左ニ掲クル事項ヲ十日以内ニ逓信局長ニ届出ツヘシ

一 住所及氏名

二 癱疾年金證書ノ記號番號

三 癱疾カ癱疾年金ヲ受クル程度ノ状態ニ該當セサルニ至リタル年月日(年月日カ不詳ナルトキハ其ノ推定ノ年月日)

前項ノ届書ニハ癱疾年金證書ヲ添附スヘシ

第一項ノ規定ニ依ル届出アリタル場合ニ於テノ其ノ期ノ

朝鮮船員保險法施行規則

前項ノ請求書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ

一 癱疾ノ状態ノ程度及疾病又ハ負傷ノ經過ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ診斷書

二 印鑑票

第一項ノ請求書ハ同項第六號ニ掲クル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ逓信局長ニ之ヲ提出スヘシ

第六十九條 前條第一項ノ請求書ノ提出アリタルトキハ逓信局長ハ其ノ給付ニ關スル決定ヲ爲シ之ヲ請求者ニ通知スヘシ

前項ノ場合ニ於テ癱疾年金ヲ受クル權利ヲ有スルモノト決定シタルトキハ逓信局長ハ請求者ニ癱疾年金證書ヲ交付スヘシ

第七十條 癱疾年金證書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載ス

一 證書ノ記號番號

二 癱疾年金受給者ノ氏名、生年月日及男女ノ別

三 癱疾年金ノ額

四 癱疾年金ノ支給開始ノ年月

第七十一條 癱疾年金受給者ハ毎年二月一日ノ現在ニ於ケル癱疾ノ状態ニ付左ニ掲クル事項ヲ記載シタル届書ヲ同

癱疾年金ハ支給期月ニ拘ラス之ヲ支給ス

第七十三條 第四十九條、第五十條、第五十六條乃至第五十八條及第六十條乃至第六十二條ノ規定ハ癱疾年金ノ支給ニ關シ之ヲ準用ス

第七十四條 第六十三條乃至第六十五條ノ規定ハ法第四十二條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ニ關シ之ヲ準用ス

第四節 脱退手當金

第七十五條 被保險者又ハ被保險者タリシ者カ死亡シタル場合ニ於ケル脱退手當金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ逓信局長ニ提出スヘシ

一 請求者ノ住所、氏名及生年月日

二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ氏名及生年月日並ニ死亡ノ年月日

三 被保險者又ハ被保險者タリシ者カ死亡當時又ハ最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱(不詳ノ事項アルトキハ其ノ旨)

四 被保險者又ハ被保險者タリシ者ト請求者トノ續柄

前項ノ請求書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ

一 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡ニ關シ府尹邑

面長ノ證明書又ハ之ニ代ハルヘキ書類

二 請求者カ請求權ヲ有スルコトヲ證スヘキ書類

第七十六條 被保險者タリシ者ハ脱退手當金ノ支給ヲ受ケ

ントスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ遞
信局長ニ提出スヘシ

一 住所、氏名及生年月日

二 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日

三 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並

ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

四 第六十八條第一項ノ規定ニ依ル請求ヲ爲シタル者ニ
在リテハ其ノ旨

第七十七條 第七十五條又ハ前條ノ規定ニ依リ脱退手當金

ノ支給ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ脱退手當金カ法附則

第二項ノ規定ニ依ルモノナルトキハ其ノ請求書ニ昭和十

五年六月一日前十五年間ニ於テ法第十七條ノ規定ニ依ル

被保險者ト爲ルヘキ資格ヲ有スル船員トシテ船舶ニ乗組

ミタル期間(昭和十五年六月一日前十五年間ニ於テ内地

臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者ト爲ルヘキ資格ヲ

有スル船員トシテ船舶ニ乗組ミタル期間ヲ含ム以下之ニ
同シ)ヲ記載シ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ

一 被保險者タリシ者ノ戶籍ノ抄本又ハ除カレタル戶籍

ノ抄本

二 昭和十五年六月一日前十五年間ニ於テ法第十七條ノ

規定ニ依ル被保險者ト爲ルヘキ資格ヲ有スル船員トシ

テ船舶ニ乗組ミタル期間ニ關スル當該船舶所有者ノ證

明書又ハ其ノ期間ヲ證スヘキ書類

第七十八條 法第四十九條ノ規定ニ依ル支給金ノ支給ヲ受

ケントスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ遞

信局長ニ提出スヘシ

一 住所及氏名

二 癈疾年金證書ノ記號番號

三 第七十二條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタル年月日

第五節 死亡手當金

第七十九條 死亡手當金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲

クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ遞信局長ニ提出スヘシ

一 請求者ノ住所及氏名

二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ氏名及生年月日並

ニ死亡ノ年月日

三 被保險者又ハ被保險者タリシ者カ死亡當時又ハ最後

ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶

亡シタル場合ノ死亡手當金ノ支給ノ請求書ハ第一項第四

號ニ掲クル醫師若ハ齒科醫師ノ診療所ノ所在地又ハ其ノ

他ノ者ノ住所地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ遞信局長ニ

之ヲ提出スヘシ

第八十條 第六十三條及第六十四條ノ規定ハ死亡手當金ノ

支給ニ關シ之ヲ準用ス

第六節 雜 則

第八十一條 本章ノ規定ニ依リ保險給付ニ關スル申請書、

請求書又ハ届書ニ船舶所有者若ハ府尹邑面長ノ證明書又

ハ醫師若ハ齒科醫師ノ意見書ヲ添附スヘキ場合ニ於テ其

ノ申請書、請求書又ハ届書ニ相當ノ記載ヲ受ケタルトキ

ハ證明書又ハ意見書ノ添附ヲ省略スルコトヲ得

第八十二條 船舶所有者ハ保險給付ヲ受ケントスル者ヨリ

本章ノ規定ニ依リ保險給付ニ關スル申請書、請求書又ハ

届書ニ添附スヘキ證明書ノ交付ヲ求メラレタルトキ又ハ

前條ノ規定ニ依リ證明書ノ添附ヲ省略スルコトヲ得ヘキ

記載ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由アルニ非サレハ之

ヲ拒ムコトヲ得ス

第八十三條 保險醫ハ保險給付ヲ受ケントスル者ヨリ本章

ノ規定ニ依リ保險給付ニ關スル申請書、請求書又ハ届書

所有者ノ住所及氏名又ハ名稱(不詳ノ事項アルトキハ

其ノ旨)

四 被保險者ノ資格ヲ喪失シ三月ヲ經過シタル後死亡シ

タル者ニ在リテハ死亡當時診療其ノ他ノ手當ヲ受ケタ

ル醫師若ハ齒科醫師ノ氏名及診療所ノ所在地又ハ其ノ

他ノ者ノ住所及氏名

五 死亡カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタルモノナルトキ

ハ其ノ事實並ニ第三者ノ住所及氏名(第三者ノ住所又

ハ氏名カ不詳ナルトキハ其ノ旨)

六 被保險者又ハ被保險者タリシ者ト請求者トノ續柄又

ハ關係及請求者カ令第十七條但書ノ規定ニ依リ指定セ

ラレタル者ナルトキハ其ノ旨

七 請求者カ令第十七條各號ニ掲クル者ナルトキハ他ニ

同條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナ

シト認ムル旨

八 請求者カ令第十七條第三號ニ掲クル者ナキトキハ前

號ニ掲クル事項ノ外自己ノ外ニ之ニ該當スル者ナシト

認ムル旨

第六十五條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

被保險者タリシ者ニシテ療養ノ給付ヲ受ケタルモノカ死

朝鮮船員保險法施行規則

ニ添附スヘキ意見書ノ交付ヲ求メラレタルトキ又ハ第八十一條ノ規定ニ依リ意見書ノ添附ヲ省略スルコトヲ得ヘキ記載ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ拍ムコトヲ得ス

第八十四條 遞信局長ハ保險醫又ハ保險藥劑師ニ就キ保險給付ニ關シ師簿書類ヲ閱覽シ、説明ヲ求メ又ハ報告ヲ徵スルコトヲ得

第八十五條 被保險者又ハ被保險者タリシ者カ保險給付ニ關シ遞信局長ニ對シ申請、請求又ハ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ申請書、請求書又ハ届書ニ添附スヘキ書類ハ申請、請求又ハ届出ノ際之ヲ提出スヘシ但シ遞信局長ニ於テ其ノ必要ナシト認ムル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

口頭ヲ以テ申請、請求又ハ届出ヲ爲シタル者アル場合ニ於テ遞信局長ハ必要アリト認ムルトキハ其ノ申請、請求又ハ届出ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ作成シ讀ミ聞カセタル上之ニ記名捺印セシムヘシ

第八十六條 被保險者、被保險者タリシ者又ハ其ノ他ノ者ヨリ遞信局長ニ提出スル保險給付ニ關スル申請書、請求

第八十八條 審査會ハ審査ノ請求ヲ受ケタルトキハ遞信局長ニ審査請求書ヲ寫テ送付スヘシ

遞信局長ハ前項ノ審査請求書ヲ寫テ送付ヲ受ケタルトキハ十日以内ニ答辯書及證據書類ヲ審査會ニ提出スヘシ

第八十九條 審査會ハ必要アリト認ムルトキハ期間ヲ指定シテ當事者交互ニ辯駁書及答辯書ヲ提出セシムルコトヲ得

第九十條 審査ノ決定書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

- 一 審査請求人ノ住所、氏名及生年月日
- 二 決定主文
- 三 決定ノ理由
- 四 年月日

前項ノ決定書ノ原本ニハ會長ハ署名捺印スヘシ

第九十一條 審査會ハ前條第一項ノ決定書ノ原本ニ基キ正本及副本各一通ヲ作成シ審査會ノ印ヲ押捺シテ遲滞ナク正本ハ之ヲ審査請求人ニ交付シ副本ハ之ヲ遞信局長ニ送付スヘシ

審査請求人ニ對シ決定書ヲ交付スルコトヲ得サルトキハ審査會ハ其ノ決定書ヲ揭示板ニ揭示スヘシ

前項ノ揭示アリタル後七日ヲ經過シタルトキハ決定書ノ

書又ハ届書ハ本章ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ住所地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ之ヲ提出スヘシ

第三章 朝鮮船員保險審査會ノ審査手續

第八十七條 審査ノ請求ヲ爲サントスル者ハ審査請求書ニ記名捺印シ證據書類アルトキハ之ヲ添附シ朝鮮船員保險

審査會(以下單ニ審査會ト稱ス)ニ提出スヘシ
審査會ニ對スル審査請求書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

- 一 審査請求人ノ住所、氏名及生年月日並ニ審査請求人カ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ非サルトキハ其ノ職業及被保險者又ハ被保險者タリシ者トノ續柄又ハ關係
- 二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ氏名及生年月日並ニ乗組ム船舶(被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶)ノ名稱並ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
- 三 保險給付ニ關スル處分ノ通知ヲ受ケタル年月日
- 四 請求ノ事件及一定ノ申立
- 五 請求ノ理由
- 六 證據方法

七年 月 日

交付アリタルモノト看做ス

第九十二條 審査請求人ハ審査會ニ對シ決定書ノ謄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第四章 雜 則

第九十三條 令第六條第一項ノ規定ニ依リ發スル督促狀ハ様式第八號ニ依ル

第九十四條 道ノ官吏カ保險料滯納處分ノ爲財産ノ差押ヲ爲ス場合ニ於テハ様式第九號ニ依ル證票ヲ携帯スヘシ

第九十五條 法第十四條ノ規定ニ依ル公告ハ保險料其ノ他法ニ依ル徵收金納入ノ告知及督促ニ關スル書類ニ付テハ朝鮮總督府遞信局(以下單ニ遞信局ト稱ス)ニ於テ滯納處分ニ關スル書類ニ付テハ道又ハ府邑面ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第九十六條 令第三十五條ノ規定ニ依ル保險料ノ控除ニ關スル計算書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ船舶毎ニ之ヲ備フヘシ

- 一 被保險者ノ氏名
- 二 控除シタル保險料ノ所屬月分及金額
- 三 控除シタル年月日

第九十七條 法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ毎月ノ保

險料ヲ其ノ月ノ十日迄ニ納付スヘシ

第九十八條 船舶所有者ハ船員保險ニ關スル書類ヲ其ノ完結ノ日ヨリ二年間保存スヘシ

第九十九條 本令ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ爲スヘキ事項ニシテ左ニ掲クルモノニ付テハ船舶所有者ハ船長又ハ船長ノ職務ヲ行フ者ヲシテ其ノ代理人トシテ之ヲ處理セシムルコトヲ得

一 第八條第一項、第九條、第十條及第十二條ノ規定ニ依ル届出(船長タル被保險者ニ關スルモノヲ除ク)ヲ爲スコト

二 第十八條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ標準報酬ノ決定ヲ爲スコト

三 第十九條第一項ノ規定ニ依リ標準報酬ノ變更ヲ爲スコト

四 第二十條ノ規定ニ依リ船員手帳ニ標準報酬ノ等級ノ記載ヲ爲スコト

五 第二十三條第一項ノ規定ニ依リ診療券ノ交付ヲ爲スコト

六 第二十三條第六項ノ規定ニ依リ診療券ノ提出ヲ爲スコト

リ準用セララルル第二十三條第四項ノ規定ニ違反シタル者

八 第二十三條第六項ノ規定ニ依リ診療券ノ提出ヲ怠リタル者

九 第八十二條ノ規定ニ違反シ又ハ同條ノ請求ニ對シ虚偽ノ證明ヲ爲シタル者

十 保險料ノ控除ニ關スル計算書ノ備付若ハ記載ヲ怠リ虚偽ノ記載ヲ爲シ又ハ故ナク被保險者ニ對シ其ノ閱覽ヲ拒ミタル者

十一 第九十八條ノ規定ニ違反シタル者

第一百條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第十四條、第二十九條、第三十八條第二項、第五十條、第五十四條又ハ第七十二條第一項ノ規定ニ依リ届出ヲ怠リ又ハ其ノ届書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

二 第七條又ハ第十一條ノ規定ニ依リ申出ヲ怠リ又ハ虚偽ノ申出ヲ爲シタル者

三 第二十三條第五項ノ規定ニ依リ診療券ノ返納ヲ怠リタル者

第一百二條 遞信局ノ職員又ハ其ノ職ニ在リタル者ハ第八十

朝鮮船員保險法施行規則

七 第三十九條第二項、第四十一條第二項及第四十三條第二項ノ規定ニ依リ證明書ノ交付(被保險者タリシ者ニ對スルモノヲ除ク)ヲ爲シ又ハ其ノ交付ニ代フル記載ヲ爲スコト

第五章 罰 則

第一百條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第一條乃至第四條ノ規定ニ依リ届書ヲ怠リ又ハ其ノ届書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

二 第十八條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ標準報酬ノ決定ヲ怠リ又ハ不當ノ決定ヲ爲シタル者

三 第十九條第一項ノ規定ニ依リ標準報酬ノ變更ヲ怠リ又ハ不當ノ變更ヲ爲シタル者

四 第二十條ノ規定ニ依リ標準報酬ノ等級ノ記載ヲ怠リ又ハ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

五 第二十三條第三項ノ規定ニ依リ記載ヲ怠リ又ハ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

六 故ナク診療券ノ交付ヲ爲シ又ハ診療券ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

七 第二十三條第四項又ハ第二十六條第三項ノ規定ニ依

四條ノ規定ニ依リ閱覽、説明又ハ報告ニ依リ知得シタル他人ノ秘密ヲ故ナク漏洩シタルトキハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

第一百三條 第一條乃至第七條、第十一條、第九十八條、第一百條及第一百一條ノ規定ハ昭和十五年三月一日ヨリ、第八條乃至第十條、第十二條乃至第二十一條及第九十九條ノ規定ハ昭和十五年五月一日ヨリ、第二十二條乃至第九十七條及第一百二條ノ規定ハ昭和十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一百四條 本令發布ノ際現ニ被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有スル船舶所有者ハ其ノ所有スル船舶ニ付第一條第一號乃至第九號ニ掲クル事項ヲ其ノ住所地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シテ昭和十五年三月三十一日迄ニ遞信局長ニ届出ツヘシ

第一百五條 昭和十五年五月一日ニ於テ現ニ被保險者タル船員ヲ雇傭スル船舶所有者ハ其ノ雇傭スル船員タル被保險者ニ付同日現在ニ依リ様式第一號ニ準スル届書ヲ昭和十五年五月三十一日迄ニ遞信局長ニ提出スヘシ
昭和十五年五月一日ニ於テ施行地外ニ在ル船舶ニ乗組ム

被保險者ニ關シ前項ニ定ムル期日迄ニ届書ヲ提出シ得サル場合ニ於テハ届書提出ノ手續ヲ爲スコトヲ得ルニ至リタルトキ直ニ之ヲ提出スヘシ

第六六條 船舶所有者ハ前條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタルトキハ直ニ其被保險者ノ標準報酬ヲ決定シタル上遲滯ナク之ヲ遞信局長ニ届出ツヘシ

前項ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ爲シタル標準報酬ノ決定カ不當ナルトキハ遞信局長ハ之ヲ取消シ其ノ標準報酬ノ決定ヲ爲シタル上之ヲ船舶所有者ニ通知スヘシ

船舶所有者ハ第一項ノ決定ヲ爲シタルトキハ被保險者ノ受有スル船員手帳ニ其ノ標準報酬ノ等級ヲ記載スヘシ前項ノ通知ヲ受ケタルトキ亦同シ

第六七條 第五五條ノ規定ニ依ル届出竝ニ前條第一項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ決定及同條第三項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ニ付テハ船舶所有者ハ船長又ハ船長ノ職務ヲ行フ者ヲシテ其ノ代理人トシテ之ヲ處理セシムルコトヲ得

第六八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
一 第四百四條又ハ第四百五條ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ

其ノ届書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者
二 第六六條第一項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ決定ヲ怠リ又ハ不當ノ決定ヲ爲シタル者
三 第六六條第三項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ヲ怠リ又ハ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者
別記様式省略

臺灣船員保險法施行規則

(昭和十五年三月)
臺灣總督府令第二十六號

第一章 被保險者

第一節 被保險者ノ乗組ム船舶

第一條 被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有(共有及借入ヲ含ム以下之ニ同シ)スルニ至リタルトキ又ハ所有スル船舶カ被保險者ノ乗組ム船舶ト爲リタルトキハ船舶所有者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ交通局總長ニ提出スヘシ但シ第三條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス
一 船舶所有者ノ氏名及住所(船舶所有者カ法人ナルト

キハ名稱及主タル事務所ノ所在地以下之ニ同シ)

二 船舶ノ名稱及種類

三 船舶番號

四 船籍港

五 船舶ノ用途

六 船舶ノ總噸數

七 船舶ノ航行區域(漁船ニ在リテハ業務ノ種類)

八 當時ニ於ケル乗組員ノ概數

九 當該船舶ニ乗組ム被保險者ニ關スル保險料納入告知書ノ送付先ニ關スル希望

十 被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有スルニ至リタル年月日及事由又ハ所有スル船舶カ被保險者ノ乗組ム船舶ト爲

リタル年月日及事由

第二條 被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有セサルニ至リタルト

キハ船舶所有者タリシ者、所有スル船舶カ被保險者ノ乗

組ム船舶ニ非サル船舶ト爲リタルトキハ船舶所有者ハ左

ニ掲クル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ交通局總長

ニ提出スヘシ但シ第三條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スヘキ者

アル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス
一 船舶所有者タリシ者又ハ船舶所有者ノ氏名及住所

臺灣船員保險法施行規則

二 船舶ノ名稱及種類

三 船舶番號

四 被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有セサルニ至リタル年月日及事由又ハ所有スル船舶カ被保險者ノ乗組ム船舶ニ

非サル船舶ト爲リタル年月日及事由

第三條 相續其ノ他ノ包括承繼ニ因リ被保險者ノ乗組ム船

舶ヲ所有スルニ至リタル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタ

ル届書ヲ十日以内ニ交通局總長ニ提出スヘシ

一 新舊船舶所有者ノ氏名及住所

二 船舶ノ名稱及種類

三 船舶番號

四 船籍港

五 當該船舶ニ乗組ム被保險者ニ關スル保險料納入告知

書ノ送付先ニ關スル希望

六 相續其ノ他ノ包括承繼ニ因リ被保險者ノ乗組ム船舶

ヲ所有スルニ至リタル年月日及事由

第四條 船舶所有者ハ被保險者ノ乗組ム船舶ノ名稱、種類、

船籍港、用途、總噸數若ハ航行區域(漁船ニ在リテハ業

務ノ種類)又ハ船舶所有者ノ氏名若ハ住所ニ變更アリタ

ルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ

交通局總長ニ提出スヘシ但シ前條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一 船舶所有者ノ氏名及住所

二 船舶ノ名稱

三 變更前ノ事項及變更後ノ事項並ニ變更ノ年月日

第五條 船舶所有者又ハ保險料納入告知書ノ送付先ノ變更ヲ希望スルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル届書ヲ交通局總長ニ提出スヘシ

一 船舶所有者ノ氏名及住所

二 船舶ノ名稱

三 當該船舶ニ乗組ム被保險者ニ關スル保險料納入告知書ノ現在ノ送付先

四 保險料納入告知書ノ希望スル送付先

第六條 第一條乃至前條ノ届書ハ管海官廳ヲ經由シテ之ヲ提出スヘシ

第二節 被保險者ノ資格

第七條 被保險者ノ資格ヲ取得シタル者カ前ニ被保險者タリシ者ニシテ最後ニ被保險者タリシ當時船員保險法施行令(以下令ト稱ス)第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合(以下指定共濟組合ト稱ス)ノ組合員タル被保險者

シテ交通局總長ニ提出スヘシ
前條ノ規定ニ依ル申出ヲ爲シタル被保險者ニ付テハ船舶所有者ハ前項ノ届書ニ其ノ申出アリタル事項ヲ附記スヘシ

第九條 船舶所有者ハ被保險者ノ職務又ハ報酬月額ニ變更アリタル場合ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ別記第二號様式ニ依ル届書ヲ十日以内ニ管海官廳(管海官廳ノ事務ヲ行フ市尹又ハ街庄長ヲ含ム)ヲ經由シテ交通局總長ニ提出スヘシ

一 船舶職員以外ノ船員及第二十二條各號ニ掲クル船員

カ船舶職員又ハ令第二十二條各號ニ掲クル船員ト爲ルニ至リタルトキ

二 船舶職員又ハ令第二十二條各號ニ掲クル船員カ船舶職員以外ノ船員及令第二十二條各號ニ掲クル船員以外ノ船員ト爲ルニ至リタルトキ

三 標準報酬ノ變更ヲ要スルニ至リタルトキ

第十條 船舶所有者ハ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者アルトキハ別記第三號様式ニ依ル届書ヲ十日以内ニ管海官廳(管海官廳ノ事務ヲ行フ市尹又ハ街庄長ヲ含ム)ヲ經由シテ交通局總長ニ提出スヘシ

タリシモノナルトキハ其ノ者ハ其ノ資格取得ノ際指定共濟組合ノ名稱ヲ船舶所有者ニ申出ツヘシ

被保險者ノ資格ヲ取得シタル者カ最後ニ内地、朝鮮又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者タリシ者ナルトキハ其ノ者ハ其ノ資格取得ノ際左ニ掲クル事項ヲ船舶所有者ニ申出ツヘシ

一 内地、朝鮮又ハ關東州ノ何レノ船員保險ノ被保險者タリシ者ナリヤノ別

二 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所但シ船員保險法(關東州船員保險令ニ於テ依ルコトヲ定メタル場合ヲ含ム)第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タリシ者ナルトキハ其ノ旨

被保險者ノ資格ヲ取得シタル者カ最後ニ被保險者(内地朝鮮又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者ヲ含ム)ノ資格ヲ喪失シタル後其ノ氏名ヲ變更シタル者ナルトキハ其ノ者ハ其ノ資格取得ノ際變更前ノ氏名及變更ノ年月日ヲ船舶所有者ニ申出ツヘシ

第八條 船舶所有者ハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者アルトキハ別記第一號様式ニ依ル届書ヲ十日以内ニ管海官廳(管海官廳ノ事務ヲ行フ市尹又ハ街庄長ヲ含ム)ヲ經由

第十一條 被保險者タル海員ノ雇入契約ノ成立、終了又ハ變更ニ付船員法第十八條ノ規定ニ依リ管海官廳(管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長、市町村長ニ準スル者、市尹及街庄長並ニ帝國ノ領事官及貿易事務官ヲ含ム)ノ公認ヲ受クヘキ場合ニ於ケル被保險者ノ資格ノ取得及喪失ノ届出並ニ職務及報酬月額ノ變更ノ届出ニ關シテハ前三條ノ規定ニ拘ラス別ニ定ムル所ニ依ル

第十二條 被保險者ハ其ノ氏名ニ變更アリタルトキハ變更後ノ氏名及變更ノ年月日ヲ遲滞ナク船舶所有者ニ申出ツヘシ

第十三條 船舶所有者ハ前條ノ規定ニ依ル申出ヲ受ケタルトキハ其ノ被保險者ノ氏名ノ變更ニ付左ニ掲クル事項ヲ記載シタル届書ヲ遲滞ナク管海官廳(管海官廳ノ事務ヲ行フ市尹又ハ街庄長ヲ含ム)ヲ經由シテ交通局總長ニ提出スヘシ

一 船舶所有者ノ氏名及住所

二 被保險者ノ氏名及生年月日並ニ乗組ム船舶ノ名稱

三 變更前ノ氏名及變更ノ年月日

第十四條 船員保險法(以下法ト稱ス)第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タラントスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ